

2012年度

たかちゃんの「山々のブログ（日記）」

2012.01.01～12.31



2012. 12. 25  
富士山・ニッ塚（S撮影）

12月31日(月)晴・やや寒

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年12月31日(月)04時41分4秒

[通報](#) [返](#)  
[信](#)・[引用](#) [編](#)  
[集](#) [済](#)

昨日は

3回目のソバ打ちでした。今年はわくわく塾のソバ打ち講座に参加した。畑に種まきを行う本格的なもので面白いと思った。自分で種を蒔き、育てて収穫し、ソバを打つは、なかなか経験は出来ない。

ソバ打ちは、最初時間が掛かり大変だと思った。分量は4人前=400gで昨日は2回やった。水を打ち・こねて・伸ばして・切る、まで丁度1時間。こねるのは、1分=50回。10分こねて=500回くらいでOK。この程度なら案外楽だ。こねるのは、力任せで出来るが、伸ばしが案外難しい。

最初は丸く伸ばして行き、最終的には四角形にする。最後は四角形をたたんで切る。なかなか綺麗な四角形にならなくて難しい。でもまあ、昨日は頑張って、800g=8人分、無事打ちました。

皆さま、今年もお世話になりました。来年もよろしくお願ひ致します。冬山は当初、29日からでしたが、悪天候・参加者の都合で2~4日で西穂高登山・乗鞍岳山岳スキーです。2013年も頑張りましょう。合掌。



12月30日(日)

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月29日(土)17時15分16秒

[編集済](#)

見事、

凄い、ウワ～、とか言いようがない大根である。

今年は、11月ころ温暖で育ちが良かった。

昨年の最高重量は5kgだった。これは何と7kgあった。

スが入っているかと思ったら、このところの寒さで大丈夫だった。

それにしても、笑ってしまう大根でした。

(この日記は、29日に書きました)



12月28日(金)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月28日(金)04時59分46秒

[編集済](#)

過日

河津から下田に行ったら相模湾におびただしい船が並んでいた。よく見ると漁船でなくタンカー・貨物船だった。海は全く波がない。ハテナ、今日は「タンカー祭り」?? エエ～、そんなものがあるんかいな?? 観光客も珍しがって盛んにシャッターを切っている。不思議に思いつつ東海岸から西海岸に移動。

そこで理由が分かった。タンカーは「風待ち」だったのだ。西海岸はモーレツな風で海は荒れ放題。白い波頭がまるで生き物のようだった。

伊豆60番札所・妻良(めら)の善福寺にはその昔、勝海舟が逗留した記録が残っている。その理由が、やっぱり「風待ち」だった。

・・・妻良港は、昔は風待ち港として下田以上に栄え、歴史上の人物が立ち寄った記録も多い。安政2年(1855)9月 勝海舟が長崎に向かう途中 風待ちのために一週間滞在したと言われている・・・

・・・HPから・・・

そんなことで、昔から伊豆の冬海は通過が大変だったことが窺える。今年は厳しい冬だから、これからも「風待ち」はあるだろう。船員さんは下船して、イッパイ?? そんなことはないだろうね!!?? (笑)



12月27日(木) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月27日(木)07時01分49秒

今朝の

ニュースで、渡辺大剛（わたなべはるひさ）静岡県 冒険家がロシアの北極圏を自転車で走行中、車にはねられ死亡したとい

う。

世界七大陸最高峰登頂の日本人最年少記録保持者。2004年、22歳の若さで北米・マッキンリーの単独登頂に成功し、テレビ・新聞等各メディアでも紹介される。貴重な体験を語る講演は各地で好評を博し、純粹に夢に向かって走り続ける姿は、聴く者に希望と勇気とを与えてくれる。・・・HPから

静岡県出身とあるが、そんな凄い人がいたとは知りませんでした。七大陸最高峰登頂といえば、身近には沼津の實川さんがいますが、實川さんは、六大陸は終わっていますが、まだエベレストのみ未登頂です。渡辺さんの無事を祈るばかりです。

写真は、先日の富士山・二ツ塚（諏訪湖さん撮影）



12月26日(水) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月26日(水)06時10分36秒

[編集済](#)

先日

富士山の帰りに、御殿場のSさんに玄米をいただいた。  
集落で購入したようだ。

今、これを精米に9：1くらいで混ぜ食べている。  
味はあまり変わらないと思うが、歯ごたえがあり、  
食感がいい。

栄養も精米よりいいだろう。ちょっとクセになりそうだ。  
昔は麦を混ぜて食べたものですが、これを経験してる方は、  
少ないでしょう。(笑)



12月25日(火) 晴・0度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月25日(火)06時11分49秒

[編集済](#)

昨日は

リターン・マッチで富士山でした。天気は晴れのち曇り。参加は2名。洞門発7：00。雪はチラホラ。スキーは背負って行く。

7：44、快晴だったが突然南から雲が湧く。今日は早過ぎる。宝永を目指したが、雪が少ない。天気も良くないので、ニッ塚に変更。雪は何とかありそう。

上塚に上る。今日は風はない。頂上から滑降。雪はカチカチで膝に来る。それでもモナカより良いが、快適ではない。

沢の左の緩傾斜は快適だった。グングン下り、アッという間に2合目「ノド」着。まあまあ良かった。同行のSさんも今季初スキーで満足。やっぱりスキーは楽しい。何故、皆さんが

やらないか不思議・難理解。

「ノド」からブラブラ歩き洞門着。昼食は家で摂る時間だった。



**12月24日(月)晴・寒**

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月24日(月)05時03分47秒

昨日は

結局、赤塚登山口まで行きましたが、雨みたいな雪が降っていて中止となりました。参加は3名。

本日、再トライとなりました。

12月23日(日)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月23日(日)04時36分54秒

今日は

富士山でスキーです。雪はどうか？久しぶりに、うちの「ラブ」です。



12月22日(土)雨・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月22日(土)06時00分53秒

先日

富士市の実相寺で黄色い千両を見ました。黄色もなかなかいいものです。

千両は正月に縁起物として珍重されますね。







12月21日(木) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月21日(金)06時08分57秒

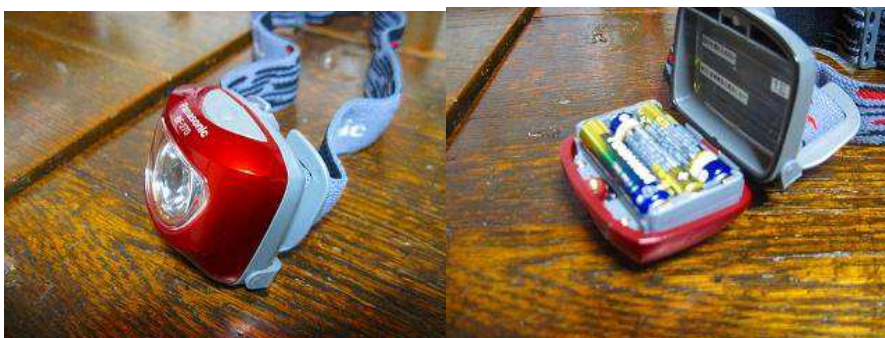
[編集済](#)

八甲田

で、積雪が2mだって。ドヒャ〜！！今年はマジ、ヤバシかも。

久しぶりに、ヘッドランプを新調した。パラソニック製。単43本。防水が施されている。いままでのものは、電池ボックスがシックリいかなかったが、これは防水加工なので、ピッチリしていて、操作性は良い。

ただ、バンドがちょっと弱そう。バンドは古くなるとすぐヨレヨレになる。でも、これは交換OKだから駄目になったら交換する。価格は4000〜程度でまあまあ。何でも新しいものは、イイものです。



12月20日(水)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月20日(木)07時07分31秒

[編集済](#)

ラジオ

で、松本市は一11度だって。う～ん、山は凄いでしょ！！

昨日は、12月度富士山一周ウォーキングでした。コースは、富士宮・浅間神社～岩本山公園～実相寺～米宮神社。天気は無風快晴。参加は26名。

イイ天気だったが、富士山は雲の中。今年はなかなか見れない。山本勘助の勘助坂を上り岩本山公園に入る。ここからも富士山が雄大だが、剣ヶ峰しか見えなかった。

長い階段を降りて実相寺に下る。ここは山門が立派。ボランティアだろうか、境内掃除の箒が忙しい。

ここから米宮神社に向かう。午後からは天母の湯で忘年会でした。



12月19日(火) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月19日(水)05時36分52秒

[編集済](#)

今月の岳書

The World's Best 10 Trails

(バックパッカーの天国を巡る旅)

シエルパ斎藤の世界10大トレイル紀行

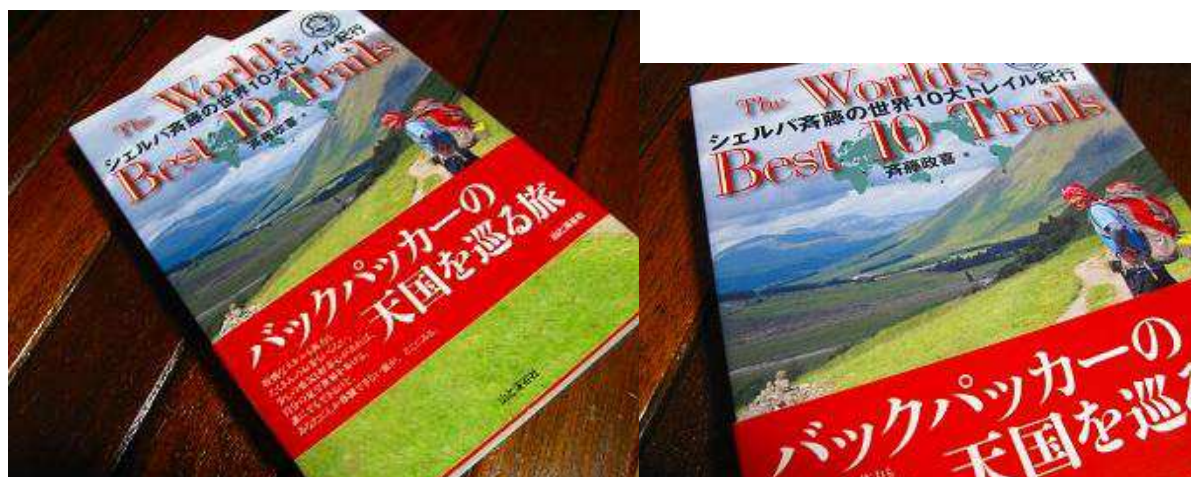
斎藤政喜著 山と溪谷社 254P 1600-

いわゆる登山の本ではない。世界の名だたる「トレイル(道)」を歩いた記録。日本ではトレッキングはそれほど盛んではないが、外国では皆さん「歩く」のが好きなようだ。まあ、一種の旅である。それは、四国お遍路にも似ているかもしれない。「歩く」ことは、何か信仰に近いものも感じる。

アメリカには、日本列島の3000Kmより長い、3500Kmのトレイルがある。毎20Km歩いても半年掛かる……。基本的にテントを背負っての歩きだから、1日20Kmがいいところだから気は長い。

面白いのは、トレイル仲間はあだ名で呼びあったり、無料の宿泊提供者が車で逆送りをしてくれて、同じ宿に2泊したり……。話題にはこと欠かない。

伊豆などももっとウォーキングの道を整備して貰いたい。西伊豆歩道はあるが可なり荒れている。テン場・トイレなど整備すれば、地元振興にもなる。いい自然が残っているだけに残念である。



12月17日(月)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月17日(月)06時18分22秒

[編集済](#)

昨日は

出鼻をくじかれましたが、結局、下土狩～鎌倉古道～別荘地～山中城跡～下土狩の一人旅でした。

標高差＝下土狩約40m～芦ノ湖カントリークラブ約840m＝約800m。

下土狩発6:50。伊豆縦貫道7:50。丁度一時間。超暑い。

鎌倉道入口8:50。丁度二時間。別荘地着。9:49。

ここまで標高差約825mを2時間59分だった。距離が長いから、まあまあだろう。ルールは、走ってはいけない。競歩はOK。

ここから芦ノ湖カントリークラブ前を通り、箱根旧街道を山中城跡に下る。11時着。ここで12時まで1時間昼食・休憩。

このコースは、下土狩発、下土狩着の「無銭トレキング」が楽しめる。もっとも昨日は何故か林道に100円硬貨が落ちていて、収入??!!がありました。(笑)

所要時間は7～8時間。荷物を背負えば、トレーニング・コースとして、丁度イイでしょう。



12月16日(日)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月16日(日)05時23分38秒

[編集済](#)

モーリス

エルゾークが亡くなった。といっても知っている方は少ないか。93歳だった。随分、長生。ご冥福を祈る。

今、伊豆で「塩(潮)カツオ」づくりが盛ん。西伊豆の名産として名高いのが鰹節とその副産物である酒盗などであるが、地元で正月用に作られる「塩鰹(潮かつお)」も忘れてはならないものだろう。これは、もどりカツオの時期に1貫目近いカツオを使って作られた。作り方は塩漬けにして樽で寝かせて、これを陰干しにする。これを神棚のそばに頭を上にしてつるす。そして、正月に切り身にして食べていくのだ。これは塩分濃度が高くて3~4ヶ月も保つのだという。

(HPから)

正月飾りの縁起ものとしても珍重されている。値段を聞いたら8000-??!!!くらいらしい。

追伸・・・

ギョエ～、久しぶりに一人で山に行こうと思ったら、何と雨が降っているではないか。弁当の作ったのに・・・。しばらく、様子見です。



12月15日(土)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月15日(土)06時32分8秒

[編集済](#)

巡礼で

松崎港を歩いて来ると魚加工所前に「サンマ」が  
沢山干してあった。何でも食欲な皆さま、そこに  
いた工場の方に声を掛けた。

そこにいた方は、この工場の専務さん。社長は写真・中  
の方で専務は息子さん。答えは「持って行ってイイよ」  
だった。大きいのが100ー、小さいのは50ーで小は  
おまけがある。

さあ皆さん、ワラワラとサンマに群がる。私もサンマ大好  
きだから、大を4匹買った。これを昨夜いただきましたが、  
まあまあ美味しかったです。

生では保存は難しいが、半干しなら可なり行ける。冬の  
保存食でしょう。



12月14日(金)晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月14日(金)12時01分30秒

昨日は

12月度・伊豆札所巡礼でした。コースは、82番・慈眼寺～83番・東福寺～84番・法眼寺～黄金崎トンネル先。天気は快晴。参加は26名。

82番・慈眼寺から出発。83番・東福寺は近い。84番・法眼寺も近い。

法眼寺近くの漁協で買い物。さらに松崎湾の漁師の半干のサンマを購入。これは美味そうだった。

ここから黄金崎トンネルまで頑張る。午後は、宇須久クリスタル・ビューホテルで忘年会でした。



12月13日(木) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月13日(木)04時54分4秒

[編集済](#)

Sさま

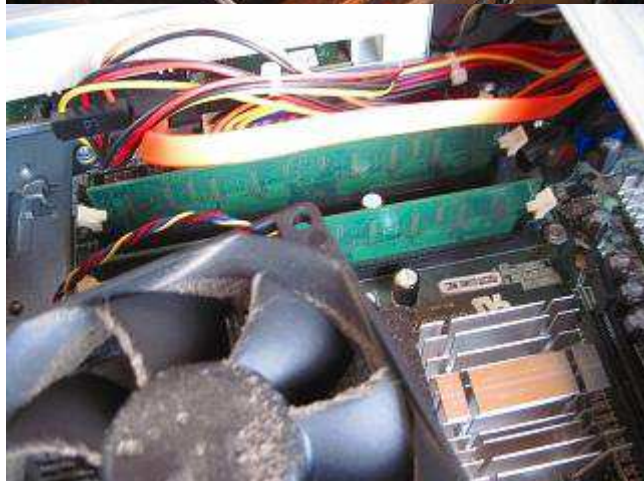
その通りでした。

以前も一回ありましたが、真ん中写真の緑のメモリー基板は、両方からラチェットで固定してあります。取り外しが出来るようになっているので、時間の経過とともに緩んで、接触不良になり、立ちあがらなくなるようです。

メーカーのDELLは昼時でしたが、懇切丁寧に教えてくれました。このような対応は最近では珍しい??!!  
そんな訳で、いたく感動した次第です。(笑)

それにしても今年は寒い。山の遭難も多い。西穂高岳の冬は調べたら、その後、もう一度行ってました。ただ、その時は風雪で敗退。独標まででした。その年は大雪で下山時、小屋からロープウェイまで、ラッセルでした。今年もそれに近いか??!!!

今日は寒いですが、12月度・伊豆巡礼です。





## 接触不良かな？

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年12月12日(水)08時05分16秒

お早うございます。

部品の故障だと致命的ですが、そうでなければホコリによる接触不良が原因であることが結構多いです。特にマザーボードに刺さっているメモリモジュールの接点です。一度中を開けてホコリを払い、メモリモジュールを抜き差ししてみてもいいでしょうか？

## 12月12日(水) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月12日(水)04時10分12秒

今朝、

突然、いつも使っているXPが異音で、上がらなくなりました。  
この日記は、サブの7でやってます。

メインスイッチを入れると「ピピピー・ピピピー」と連続音です。  
以前も一度ありましたが、何方かわかりますか??

困りましたね!!

## 12月11日(火) 晴・-3度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月11日(火)07時22分30秒

今日は

寒いです。この冬最初のマイナスでした。ラジオでは、御殿場の水道が凍ったと報じていました。

ソバ打ちは、とにかく大変。あれでは店で食べるのがベストでしょう。  
この秋の新ソバですが、う〜ん、余り感動的な味ではなかった。

こねて、伸ばして、切るが一連の流れです。切る場合は、太いのと細いのを混ぜて、ザルと煮込みと分けるとイイみたいですよ。

いずれにしても、何でも奥が深く、簡単には成就できないということです。



12月10日(月)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月10日(月)06時26分40秒

昨日は

富士山・ニッ塚で雪上訓練でした。天気は曇・しぐれ。  
参加は6名。

赤塚登山口から出発。前回と違い最初から雪があった。  
鉢巻道から幕岩着。ここで10mほどの岩場でアイゼン  
訓練を行うが、岩がツルツルの熔岩で最後が上れなく  
中止。

やむなく、幕岩上に上り小さな岩場で訓練。その後、二  
塚上塚に上るがモーレツな風・寒気で下塚に移動。ここ  
も風が強かったが、何とか滑落停止訓練を行って下山。

鉢巻道まで下ると風はピッタリの止んでいた。ここで  
昼食。とにかくお腹が減った。下山後は、久しぶりに  
S君宅を訪れ旧交を温めた。



12月9日(日)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月9日(日)04時28分26秒

昨日は

生涯、初めての「ソバ打ち」でした。春に種まきをして秋に収穫した「新ソバ」です。  
こねるのは、大汗をかいて、なかなか大変でした。

味??

ソバ音痴で困ります。(笑)

今日は富士山です。





12月8日(土) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月8日(土)05時45分6秒

今年はいささか寒く、低温が続きます。山は気をつけましょう。

下田・吉佐美川沿いに葉っぱが丸い変わった樹木があった。調べてみたら「ハマボウ」だった。「ハマボウ」は、三浦半島を北限として温暖な地域に分布し、琉球列島まで達しているらしい。

伊豆では、この吉佐美と安良里しかない貴重なものという。今度、花期の7～8月に訪れ、その黄色の華麗な花を見たいものです。



12月7日(金)晴・2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月7日(金)05時27分47秒

[編集済](#)

吉佐美川

沿いに桜が咲いていた。

ネットでは、「冬桜」などとして出ている。正確な品種は分からない。

十月桜(じゅうがつざくら)

「冬桜(ふゆざくら)」という品種とともに、  
広く「冬桜」と呼ぶこともある。

・・・・・・・・・・関連ネット



12月6日(木) 雨・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月6日(木)06時38分12秒

[編集済](#)

昨日は

12月度・第9回伊豆一周ウォーキングでした。コースは、下田・海中水族館～多々戸浜～田牛(とうじ)。天気は快晴。参加は26名。

水族館発8:30。綺麗な海を見ながら東急ホテル下着。ここからR136を通り多々戸浜着。外海で波は荒い。サーファーがチラホラ。

ここからホテル・ジャパン下の海沿いを行こうとしたが、上潮の上、波が荒く危険なので止めた。ここはイイ所だけに残念。

再びR136を歩き吉佐美着。ここの川沿いの植物はちょっと葉っぱが丸く変わった「ハマボウ」だった。夏には綺麗な黄色い花を咲かせるようだ。実をつまんでみると種が沢山入っていた。

ここから田牛(とうじ)の竜宮窟を上・下から覗いた。下は逆光でちょっと神秘的だった。昨日のウォーキングはここで終了。午後から松崎「まつぎき荘」で忘年会でした。



12月5日(水)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月5日(水)04時47分49秒

先日

忘年山行で「体験歩荷（ボッカ）」をするKさん。  
初め躊躇していましたが、結局、18Kgを体験。  
案外、楽勝だったようです。いい経験だったでしょう。（笑）

今日は、12月度・伊豆ウォーキング。午後から忘年会  
です。



12月4日(火)曇・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月4日(火)04時33分8秒

[編集済](#)

忘年会場

の一二三荘の売りは「鮎」だ。ここは、元来「釣り宿」。  
目の前が狩野川だから、鮎シーズンは、釣り客で溢れる。

で、今回「鮎の塩焼き」が出た。体の色が綺麗な鮎だった。  
女将に「落ち鮎・養殖・輸入品」とか聞いたが、全て違った。  
要するに今、川にいる鮎??!!

味はサイコー。大きさが手ごろだから、頭から全て頂ける。  
いったい何処にいた鮎でしょうか??!! (笑) いずれにしても、御馳走様でした。





12月3日(月)晴・6度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月3日(月)06時41分0秒

[編集済](#)

昨日は

2012・忘年山行でした。

沼津駅バス6:35-三津発7:10～発端丈山～葛城山9:35～城山10:40-二三  
荘着11:50参加=11名

以前もこのコースでやったが、当時はバスが三津まで行かなくて、狩野川放水路から、小一時間歩いた。

このコースを仮称・南沼津ALPS(大平山～香貫山は、北沼津ALPS)と勝手に呼んでいるが、三山が適当に纏まっていてなかなか、イイコースだ。

前回、葛城山から益山寺分岐まで戻ったが、今回は「背面登山道」を下ったので、縦走が出来てスッキリした。ただ、ここは可なり急な下りで大変。

一二三荘着12:00が目標だったので、城山は分岐から走って往復。若いIが一番、このところトレで頑張っているM弟が二番、私は三番だった。  
ここは電車・バスで行ける山でいいところです。



12月2日(日)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月2日(日)04時30分59秒

写真は

富士宮・浅間神社の特別天然記念物の湧玉池です。

今日は、

さわやかハイキング・忘年山行で、三津・発端丈山～  
葛城山～城山。

下山後、大仁・一二三荘で忘年会です。



12月1日(土) 晴・7度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年12月1日(土)06時23分59秒

[編集済](#)

おお～12月ですね～！！

先日の富士山スキー時、御殿場口2合目道が開いていた。5合目道が既に閉鎖だから、ここもと思いきやOKだった。

考えてみれば、冬期富士山登山・スキー・ボードの愛好者は多い。いつも困るのが駐車場。洞門駐車場は置けても5台ほど。以前は置けない場合、洞門中に置いたが、その後置けない措置（ポール）がされ置けなくなってしまった。

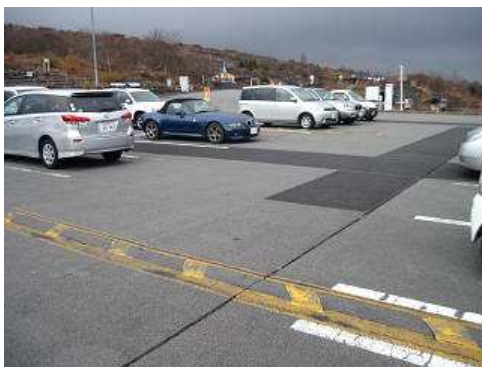
つくづく思うが、行政・警察・土木事務所は何故、もう少し住民サービスを考えないのだろうか？？確かに冬富士はリスクが多く、誰でも入れる訳ではない。しかし、一方で子供たちなど雪に親しむべく、雪遊びに来る。

雪の少ない静岡では富士山は格好の雪に親しむ環境が整っている。冬御殿場口2合目まで開けるとは言わない。せめて、太郎坊を少し入った所まで解放すれば、安全確実に50台以上の車は置ける。

雪山愛好者もだらしがない。皆、一致団結して行政なりに働きかけることも必要。駄目・ダメ・だめでお上の言いなりで、いつまでたっても発展はない。

例の「伊豆山岳競争」も自然愛好者は、何も言わない・何も動かない・何も思わないの三無・日和見主義。日向ぼっこのトカゲと変わらない。

我々はまだ元気だ。ドンドン思った考えた事をことを、行動に移そうではないか。暴走オヤジ、慎太郎の気持ちが分かる？？お前、勝手にやれって？？そうですね～。



11月30日(金)晴・6度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月30日(金)06時07分17秒

[編集済](#)

富士宮の

西山本門寺境内の公孫樹の巨木2本は見事な黄葉だった。  
晩秋の午後の柔らかい日差しが美しく輝いていた。

ただ、富士宮市の自然観察対象木らしく、サンプル名称  
が「富士宮木・イチョウA、イチョウB」になっていた。

これはちょっと頂けなかった。もう少し何か気の利いた  
名称はなかったものか??と思った次第です。

ちなみに西山周辺は、銀ナンの産地で、大きくしない公孫樹  
木が周辺に点在しています。



11月29日(木) 晴・6度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月29日(木)10時02分29秒

昨日は

11月度・富士山ウオーキングでした。天気は無風快晴。参加は27名。

白糸の滝から出発。南下し狩宿の下馬ザクラを見学し、大石寺に寄る。昨年、改修中だった本殿(本堂)は、まだ終わっていません。

更に南下して下之坊から西本門寺で昼食。二本の公孫樹の巨木紅葉が見事。落ちる葉っぱの量は半端でない。午後は、チサンゴルフ場をかすめ富士宮市に下り浅間神社で終了した。

好天に恵まれ、楽しいウオーキングでした。



11月28日(水) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月28日(水)05時01分43秒

やっぱり

一昨日の豪雨で宝永山中腹の雪は大分融けました。でも、まあこれからです。

[編集済](#)

今日は、11月度・富士山ウオーキングです。白糸の滝～大石寺～西本門寺～富士宮・浅間神社です。



11月27日(火) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月27日(火)05時38分23秒

[編集済](#)

昨日は

大雨で、富士山の雪が大分融けたでしょう??!! 残念。

一昨日、富士山を下って来ると、自転車のようなものを背負って若い衆が上って来た。聞けばそれは、「スノースカート」なるもので、ボードに自転車を乗せたような感じだった。ネットには、こんな感じで載っていました。

<http://www.geocities.jp/inngi2010/j200501051.html>

価格は14万、重量は10Kg。背負い上げるのも簡単ではない。彼はスキー・ボードはやらないらしい。まあ、気を付けて頑張っで別れました。



## 11月26日(月)雨・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月26日(月)07時10分7秒

昨日は

今季、初スキーで富士山・宝永山でした。参加は3名。

天気は午前快晴。午後ガス。

御殿場口2合目駐車場の道が開いていたので、駐車場6時発。

天気は快晴で富士山のモルゲンロート(朝焼け)が素晴らしい。

下部は雪が少ないのでスキーは背負って上る。登山者は多かったが、スキーは我々のみ。

標高約2000mの旧測候所小屋跡から雪が多くなる。宝永山北の

沢が美味しそうな斜面だった。天気が良く気温が高く暑い。  
御殿場口を標高約2700mまで上る。早くも駐車場にはあの  
忌まわしいガスが出て来た。

同行の登山のKさんはここで下る。我々もガスが上がって  
こないうちにスキーに移る。

上部の雪は十分。雪質はガリガリの雪の上にサラサラの  
パウダーが乗っている。ちょっと滑り難いが問題はない。

初スキーでガンガン飛ばす。スキー同行のI君は最初慎重  
だったが、次第に調子が上がって来る。標高約2700m  
から小屋上まで標高差約600mを滑った。雪は良くサイコー  
のスキーだった！！

小屋上からスキーを背負って歩いて下る。ちょっと下るとガス  
が飛来し山は全く見えなくなってしまった。やっぱり、富士山は  
午前中が勝負だ。今年は富士山の雪が早く大いに期待できる。

過去、12月中旬の富士山スキーは経験したが、11月の「秋  
スキー」は初体験だった。(笑)







11月25日(日) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月25日(日)03時49分10秒

今日は

富士山で遊びます。

一応、スキーを目指しますが、雪がどうでしょうか??

過去、

一回、12月に宝永山でスキーの経験はありますが・・・。





11月24日(土) 雨・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月24日(土)06時35分31秒

雑誌

[返信・引用](#)

[編集済](#)

「岳人」の「かわら版」に「伊豆山岳競争」の拙文が掲載された。ページは約3ページで写真はない。同時にやや文字数はすくないが、同じような内容で、勤労者山岳連盟機関誌「登山時報」にも掲載された。

このような記事は、投稿と依頼があるが、掲載されると図書券などの原稿料（謝礼）がある。「岳人」「登山時報」の原稿料は、図書券だが、以前、朝日新聞は「物品」もあった。

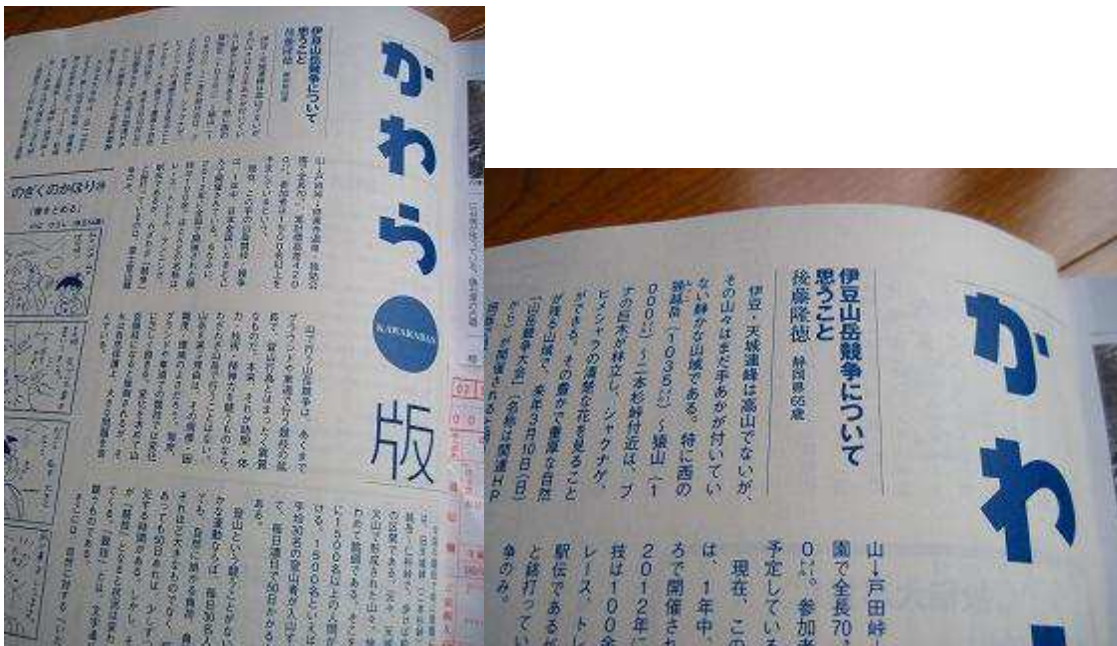
今回の「岳人」の原稿料は、1000円の図書券。「登山時報」は、500円の図書券。「登山時報」は、いわゆる営業誌でなく、1Pにも満たない、小さな扱いだから、500円はまあまあ。ところが、「岳人」は営業誌で3Pの扱いにも関わらず、原稿料が1000円とは、いささか安いと思った。

原稿料の基準は、ページ数（字数）か、一本か二本かの本数。今回、「岳人」が1000円だったのは、一本いくらの基準だろうか。

「かわら版」は、複数掲載がある。一本・1000円で、三本・3P掲載なら、経費は3000円。ところが、3Pでも一人分の掲載なら1000円で済む。

意外とセコイ（??）経営方針だが、多分赤字スレスレの雑誌では、仕方がないと思った次第。掲載して頂いただけ有り難いと思うべきか??ただ、出版社と執筆者は良好な関係で成り立つ。その辺のバランスが難しいでしょう。

「岳人」さん、いつもクレーマーで申し訳ありません。（笑）



11月23日（金）曇・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月23日(金)06時31分57秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

先日

伊豆で青少年国際野外旅行研究会の山浦正昭氏と出会った。聞けば、2003年6月4日から、日本海・新潟上越市の鳥ヶ首岬から、年2回春・秋と10年に渡って歩き。めでたく今回、石廊崎で日本縦断を完成し満願成就したという。

延べ53区間、約1000Km。よって、一回約20Km。一日の距離としては、それほど難しい距離ではない。勿論、コースにもよるが、平地なら四国お遍路は一日約30Kmだから、山でなければ、まあまあの距離だ。

むしろ、10年で40回以上を継続するのが大変だろう。我々の四国は5年10回を予定。でも、まあ、長い展望で一つのことを続けるのは、刹那的な行事が多いこの頃、いいことだろう。

氏は他に日本一周とかもやっているそう。世の中には様々な方が、頑張っていると思った次第です。

関連ブログ

[http://pub.ne.jp/dgmnwalkon/?entry\\_id=1738313](http://pub.ne.jp/dgmnwalkon/?entry_id=1738313)

<http://blog.goo.ne.jp/saikoroat/e/381a8c1f808f3d221a12b18fadcc51f7>



**11月22日(木) 晴・9度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月22日(木)08時44分3秒

家の

庭が昨夜の雨で「京都状態」でした。  
ただ、今年は春先の台風の塩害で、モミジの紅葉は全く駄目でした。

「ツタウルシ」みたいな、ツタは綺麗な紅葉です。  
落葉樹は掃除が大変ですが、味わいはありますね。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)



**11月21日(水) 晴・やや寒**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月21日(水)04時47分31秒

Tちゃん、投稿ありがとう。

Tちゃんも誕生日が11月でしたか??!!  
まだまだ、老けこむ齡ではないですね。  
剣岳を思い出し、また遊びましょう。

この時期、静岡県東部の岳人にとって富士山は格好の  
雪山訓練の場となる。  
昔の話で恐縮だが、以前は5合の道路が閉鎖になると、  
御殿場口2合目から山頂往復をしたものだ。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

御殿場口2合は標高約1400mだから、頂上まで標高差は、約2400m弱。当時、朝6時に出て帰着は18時。往復丁度12時間掛かった。

富士山は5合までが長い。裾野の上りがダラダラと続く辛い上りだ。5合からやっと本格的な上りで気合いが入る。当時、御殿場口は測候所の方も利用していたので、上部は手摺があって安全に上り下りが出来る好ルートだった。

このルートは、モンブランの上りに似ていると思う。富士山は日本のモンブランだ。

この歳になると残念だが、もうここをやる気力はない。体力はまだあるかも。要は機会ですか。

若い方は、元気なうちに是非一度は上って貰いたいルートですね。



**11月20日(火) 晴・9度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月20日(火)07時11分45秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

## 新しい発見

宝永山を二ツ塚コルに向かって下って来た。雪は少なくなったが、それでも辺り一面に広がる小さな砂盛りの左に（注＝下って来て左）尖がって規則正しく残っていた。

その残雪の尖がりが、余りに規則正しく同一方向を向いているので、フッとあることに気がついた。磁石を出してみると、その尖がりは、正に全部真北を向いていたのだ！！

極めて特殊な条件・限られた条件・季節的な条件があるかもしれないが、新しい発見だった。  
皆にその件をクイズで出したが、結局、誰も分からなかった。

ほか、宝永山の肩で、構造土（知らない方は自分で調べて下さい）のようなものも見た。  
山もボ～と歩いてはいけません。注意していると、いろいろ発見もあるものですね。

構造土=<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%A7%8B%E9%80%A0%E5%9C%9F>



11月19日(月)晴・9度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月19日(月)06時54分15秒

[編集済](#)

昨日は

富士山で雪山訓練でした。コースは、赤塚～2352m峰～宝永山第一火口～宝永山2770m～赤塚。天気は曇り。参加は9名。標高差＝1420m

前夜の雨で雪が心配だったが、十分あった。赤塚登山口(1350m)から6時スタート。ニッ塚下に出て宝永第三火口を目指す。2000m付近から雪が出る。今期、初雪だった。

8時ころから早くもガスが湧く。第一火口・第二火口コルで全装備を纏う。落後者なしで第一火口に降りて、宝永山に上る。雪は次第に硬くなって、風が強くなる。稜線では、耐風姿勢を取る場面もあった。I君の新品の毛帽子とサングラスが彼方に飛んで行ったと報告を受ける。

御殿場口下るが、上部はカチカチで危険。初級者は確保した。結果的にこれは良かった。しばし下って昼食。とにかく腹が減った。ここで、先日誕生日だった、Mさんのお祝いをSさんが、スパーリングワインを開け祝う。美味しかった！！

下山は結構長い。雪は硬かった。雪紋は南西だった。この下りで面白い現象を発見した。赤塚着14:40。予定通りだった。今日は訓練と言うより、本番の山でした。雪山初参加のK君も頑張った。





11月18日(日)晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月18日(日)03時46分23秒

今日は

富士山・宝永山で冬山訓練です。

ちょっと、暖かく雪があるか心配です。

写真は、伊豆81番札所・宝蔵院のお地藏さまです。



11月17日(土)曇・9度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月17日(土)06時46分5秒

昨夜は

ボジョレをやってしまいました。

まあ、美味しかったです。

先日の「伊豆山岳競争について」が、雑誌「岳人」12月号  
(11/15発行)の「かわら版」に3P掲載されました。  
ご覧ください。

本の写真は、まだ届いていないので、後日です。



11月16日(金)晴・8度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月16日(金)08時06分9秒

[編集済](#)

昨日は

11月度・伊豆巡礼で、77番・円通寺～82番・慈眼寺でした。天気は無風・快晴。参加は25名。

松崎・円通寺から出発。78番・禅海寺から79番・建久寺に向かう。2年前、健在だった建久寺管理の建久寺酒店のご主人は今年10月に亡くなったとのこと。ご朱印は奥さまに頂いた。

80番・帰一寺では、若奥さんと話した。2年前来た時は、丁度二人目の出産で帰省中だった。その時生まれた男の子は現在、元気に保育園に通っているそうです。

81番・宝蔵院までは、例によって2時間の山道でなかなか手応えがあった。寺では、白川の梅田さんが待っていてくれた。山の仲間に桃郷の梅田さんがいるが、どうも親戚らしい。梅田さんは、多忙にも係わらず、昼食も付き合っていた。ありがたいことです。

午後は、82番・慈眼寺(じげんじ)に下って、今日は終了。温泉は、宇久須の湯に寄ったが、ここは既に閉館だった。ここにも伊豆の衰退が窺えた。



11月15日(木) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月15日(木)04時30分36秒

[編集済](#)

四国

お遍路は一週間と長い。  
楽しみは山と同じで「食べること」「寝ること」  
です。(笑)

6000-くらいの安い民宿が多いが、温かい  
心のこもった料理をそれなりに楽しめます。

今日は、11月度・伊豆巡礼です。久しぶりに80番・  
帰一寺、田中住職にお会いします。



11月14日(水)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月14日(水)08時16分31秒

[編集済](#)

今朝の

富士山は素晴らしかったです。宝永山まで雪が来ました。  
今年は下界は暖かく野菜が育ち過ぎて困っていますが、  
上界の冬は早いようです。

今週末計画の富士山頂上は、16日正午でスカイライン閉鎖で、  
5合まで行きなくなるので、訓練は宝永山付近に変更です。

昨日は、久しぶりにヤマイモ掘りでした。大きいのはなかった  
ですが、まあまあのを3本でした。

夕方、さっそく頂きましたが、やっぱり美味しいです。

あの、独特の「匂い」が大好きですね～！！（笑）



11月13日(火)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月13日(火)06時30分1秒

[編集済](#)

一昨日は

不思議な一日だった。

まず、旭ヶ丘を上っていくと、勤めていた会社の方に会った。  
退職以来だった。その下では、同行のKさんが、同級生??に  
会った。

鎌倉古道を終えて、山中城址を一号線を下って行くと、さわやか  
ハイキングメンバーのN君がBMWで箱根峠から下って来た。彼  
とは以前、伊豆巡礼時、下田でも会ったことがある。この先で  
旧街道に入るので、ほんの数分違ったら会えなかった。

一号線を更に松並木付近まで下って行くと、今度は葦山の「諏訪湖」  
さんが下って来た。聞けば、日本山岳会の山行で四尾連湖から蛾ヶ岳  
に上った帰りと言う。

鎌倉古道一般参加者のU・Mさんは、東大場在住。さわやか  
のメンバーでピアノの教師のM・Mさんも東大場。それを仲間が聞いたら  
何と娘さんがM・Mさんにピアノを習ったと言う。そんなことで、仲間が  
携帯して、久しぶりにM・Mさんの威勢のよい声を聞いた。  
何でも今は87歳のご母堂の介護で山はなかなか行けないとのこと。

先日の四国お遍路でも宿の主人が日大三島の母校で下土狩に下宿していた  
には驚いたが、最近・一昨日は何かと「ご縁」を感じる一日でした。ちょっと  
これはヤバイ前兆かも！！?? (笑)





11月12日(月)曇・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月12日(月)06時41分40秒

[編集済](#)

昨日は

11月度・さわやかハイキング兼秋のバスハイクでした。  
コースは、三嶋大社～鎌倉古道～別荘地～芦ノ湖CC～箱根旧街道  
～山中城址～箱根松並木。天気は曇り～午後雨。参加は15名。

大社でお参りをして出発。旭ヶ丘から元山中・関所跡を辿り別荘地  
着。計画はここから芦ノ湖～温泉でしたが、今にも降りそうな空模様  
と寒さで、温泉は中止し、旧街道を山中城址に下って昼食でした。

結果的にはこのコースがベストでした。三島市もこの三島駅～鎌倉古道  
～旧街道～山中城址～三島駅をもう少し整備して売り出せば良い。周遊  
コースでなかなか良いルートだと思います。

雨は昼食後だったので、いいタイミングでした。ブラブラ旧道を下り  
伊豆二十二番札所・宗福寺を経て松並木まで下った。本当は三島駅～  
下土狩まで歩きたかったが、反省会の時間もないので??!!ここで  
バスに乗りました。バス代は三島駅まで280円。「無銭ハイク」の予定  
でしたが残念!!

今度は三嶋大社経由でなく、下土狩から直接、旭ヶ丘経由で行けば  
もう少し時短縮でしょう。好天なら靴もズックでOK。荷物を背負  
えば、丁度いいトレーニングコースです。ちなみに標高差は、下土狩  
～芦ノ湖CC＝約800m。上りは約4Hです。



11月11日(日)晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月11日(日)04時33分5秒

今回の

お遍路で何人かの仲間に出会った。

多くは「逆打ち」の方で、反対方向から来るのですぐ分かる。

[返信・引用](#)

[編集済](#)



写真・上＝地元、高松の若い方だった。地元だが「逆打ち」を知らなかった。若い方だったので「仕事は？何故？今日で行く日？」とか質問が多い。以後「訳あり」が流行語となる。

写真・中、下＝特に話はしなかった。いずれにしても一人で何日も歩くのは、正に「修行」ですね。



**11月10日(土) 晴・寒**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月10日(土)06時35分23秒

四国で  
世話になった宿の方々です。

写真・上＝土佐清水市、旅館「南粋」の主人夫婦と従業員。  
宿は港のすぐそば。部屋・風呂・料理・応対とも

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

良かった。宿泊費は、お遍路7000円、ドライ  
ーは、半額の3500円。

写真・中＝大洲市、旅館「ふるさと」ご一家。後ろの方は息子さん。  
部屋・風呂は大きい。料理は6000円だから、贅沢は  
言えない。対応はいい。驚いたことに、ここのご主人の  
大学は日大三島で何と下土狩に下宿していたとのこと！！  
ご縁があったんですね～。30余年前ですが、長泉周辺を  
良く知っていました。世の中は狭いです。

写真・下＝宇和島市、民宿「とうべや」の主人と裏のパパさま。  
この民宿は、43番札所・明石寺の近くだが、周りには  
宿泊設備はなくここが独占状態。主人は一人住まいで、  
客が来た時のみ近くの、まかないさんが手伝う。従って、  
部屋はやや汚く、二つある風呂の一つは最悪だったとか。  
対応・料理はまあまあ。料金は6500円。

ほかにもいろいろありますが、別途報告致します。



11月09日(金)晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月9日(金)05時03分20秒

[編集済](#)

昨夜

18:30、四国お遍路から帰りました。大洲市(おおずし)からマイクロバスで12時間掛かりました。

今回のお遍路は、02日~09日。土佐清水市から大洲市まで約150Km歩きました。その中の、土佐清水市から宿毛市(すくもし)間は、標高約650m峠もあり、なかなか手ごわい遍路です。

寺数は五ヶ寺で、前回の二ヶ寺より多く、少し張り合いはありました。四国お遍路は、前回・今回辺りが寺数が一番少なく、「修行の道場」(四国四県には、徳島=発心・高知=修行・愛媛=菩提・香川=涅槃の道場と名称がある)たる所以です。

全体的には、天候に恵まれ、温かい「お接待」も多く受けて、楽しく充実したお遍路でした。今回でお遍路は合計25日になった。四国お遍路は約50日だから、丁度半分。あと年2回で5年・25回となりました。



11月2日(金)晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月2日(金)03時09分7秒

[編集済](#)

時間が

あったので、書きました。

一昨日の下田港遊覧船は、つまらなかったが、カモメは可愛かったです。



11月1日(木)晴・12度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年11月1日(木)09時32分25秒

[編集済](#)

昨日は

11月度・伊豆ウオーキングでした。

コースは、須崎～恵比寿島～ハリスの小径～下田港遊覧船～玉泉寺～下田海中公園。天気は快晴・無風。参加は28名。

須崎から恵比寿島の遊歩道は快適だった。

ただ、一ヶ所4年前通れた部分が土砂崩れで迂回路だったので残念。

下田港遊覧船は、思ったほどでなかった。が、カモメが船尻に沢山餌をねだりに来て楽しかった。昼食は、玉泉寺でいただいた。ここは相変わらず、優しい。

午後は市内を見学し、下田海中公園まで歩いて終了。いい1日でした。

明日から四国お遍路のため、一週間日記休みます。



**10月31日(水) 晴・やや暖**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月31日(水)03時36分45秒

富士山

秋色・2

今日は、11月度・伊豆ウオーキングです。  
須崎を歩き、皆さんは初めて40番札所・玉泉寺で

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

体験お勤めし、下田港で遊覧船に乗ります。（笑）



**10月30日（火）晴・13度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月30日(火)06時20分50秒

写真

は、富士山・ニッ塚秋色。

マイクロソフトの8が発売された！！？？。私のパソコンはXPと7。メインはXPで、7はサブ。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

で、7は殆ど把握していません。なのに8は、ちと早すぎませんか??  
まだまだXPで十分なのですが・・・。困ったものですね。

8はタッチパネル??が出来るといい。画面を外して使う場合は  
便利かも。文字入力用のキーボードは、あると思いますが・・・。

まあ、8でも9でもいいですが、オジサン達のことも考えてやって  
いただければ、有り難いですね。(笑)



**10月29日(月) 晴・13度**

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年10月29日(月)06時30分24秒

今朝の

富士山は素晴らしい。6合まで雪が来ました。まあ、この辺の雪はすぐ消えますが、上部は  
少しずつ増えて行きます。

土日は、悪天候・参加者なしで秋山Bは中止。土曜日は結局、一人でニッ塚でした。

標高約1350mの赤塚から入山。この道はニッ塚コルまで一直線に上れる快適な登山道。

ニッ塚・上塚頂上まで、標高差約579mを約1時間半で上る。唐松の紅葉はまあまあだが、良くはない。時々突然、鹿が走りビックリする。先日、須走の方で熊に襲われたので注意。

風が冷たい頂上に立つ。富士山上部は雲の中。箱根は見える。気温は7度位。南にちょっと下って風を避け昼食。オニギリ2ヶ放り込み、ビアで一人乾杯。それでも、パラパラと御殿場口から鉢巻道を登山者が上下する。

富士山は近くて静かで、ちょっとしたトレーニングにイイ山です。



**10月27日(土) 晴・12度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月27日(土)06時37分3秒

24日は、

10月度・富士山ウオーキング。コースは、朝霧・道の駅  
～富士養鱒場～田貫湖～白糸の滝。天気は晴。参加は23名。

[返信・引用](#)



お目当ての富士山は、朝スッキリだったが、次第に雲が上がって来て、お昼には見えなくなってしまった。

田貫湖からサイコーのロケーションだっただけに残念。また、次回に期待です。



Re: 10月26日(金)晴・11度

[返信・引用](#)

投稿者: 鈴木@下田市 投稿日: 2012年10月27日(土)06時07分36秒

> [No. 1877\[元記事へ\]](#)

おはようございます。  
たかちゃんさんへのお返事です。

>その仏像は、蛇を体に巻いたものだった。  
>一体、誰がどのような目的で置いたかは不明

私が聞いた話では、これは龍を身体に巻いた弁財天さまです。  
ここにこの像がある理由ですが、かつてこの森で華族が行った狩りによって命を落とした獣の霊を慰めるため、  
当時のガイドや猟師達の篤志家が立てた、ということです。  
池の反対側には、岩に線彫りされた弁財天の像があります。  
そちらの弁財天は、琵琶を手にしています。  
2尊の弁財天が八丁池を見守っているんですね。  
(昔聞いた話なので、誤りがあったら後ほど訂正します)

またいつか山をご一緒させてくださいね。

10月26日(金)晴・11度

[返信・引用](#)

投稿者: たかちゃん 投稿日: 2012年10月26日(金)06時47分56秒

[編集済](#)

昨日の

訂正です。  
Sさんの「論文」は、「日本山岳会機関誌」でなく、「日本山岳文化学会」の「論集」でした。訂正致します。

先日、久しぶりに八丁池に行った。「天城の瞳」と言われるだけあって相変わらず、静かな佇まいで美しかった。

時間があつたので一周してみた。東端にいったら、何と仏像というかお地蔵様というか、が一体池を見つめていた。(写真・下) その仏像は、蛇を体に巻いたものだった。今まで、巡礼では蛇を巻いた仏像は見たことがないが、他ではあるようだ。

ただ、一体、誰がどのような目的で置いたかは不明。最近、遭難碑なども山の廃棄物として扱われ、取り除かれる例がある。そんな意味では、ちょっと反自然的かもしれない。山に人工的なものは、極力少なくしたい

ものです。



10月25日(木) 晴・13度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月25日(木)06時51分42秒

[編集済](#)

先日、

天城の帰りに、山仲間のS氏宅に寄った。S氏は言わずと知れた有名なピッケルコレクター。二階のコレクションルームに案内され驚いた。8畳程の部屋に数々のピッケルが所狭しと並んでいた。

その数、約200本。全てピカピカに光っている。素手で鋼鉄部分を触ってはいけない。触ると錆の原因になる。これだけ収集するには、30年位かかったのだろうか。

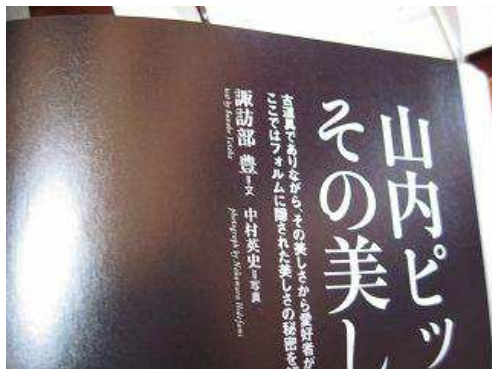
兎に角、ピッケルに関しては、情熱的でスイスに赴き、ベントの工房を訪ねたり、ピッケルに関する論文も多い。その論文は、日本山岳会の機関誌に数々掲載されている。従って氏は、只のコレクターでなく、ピッケルの全てを知り尽くした「研究家」「博士」なのである。

中でも一番の自慢は、山内（やまのうち）の刻印がNO. 1ピッケルで、もし今これを購入するなら、数百万円する。（ここでは強いて値段は書きません）

他にも何本か山内ピッケルを拝見したが、確かに山内ピッケルは、あたかも日本刀を彷彿させる、最高に美しいピッケルだった。私も一本欲しくなった次第です。

詳しくは、下記URLで検索出来ます。興味ある方は、是非訪ねてください。歓待されるでしょう。

<http://www.nirayama.com/~suwabe/>



10月24日(水) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月24日(水)04時29分31秒

[編集済](#)

先日

上った青スズ台付近は、天城独特の見事な「タコブナ」が  
沢山あった。

このタコ足みたいに枝分かれしたブナは、ブナに詳しい、某  
自然保護団体の方の話では、他の地方では見られないものら  
しい。

これを見たその方は、非常に驚いていた。確かに北アルプス  
や東北にはこのようなブナは見られない。天城連峰の独特な  
気候がそのようにさせているのだろう。それにしても、見事  
なブナです。

今日は、10月度・富士山ウオーキングです。



10月23日(火)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月23日(火)05時24分4秒

[編集済](#)

一昨日

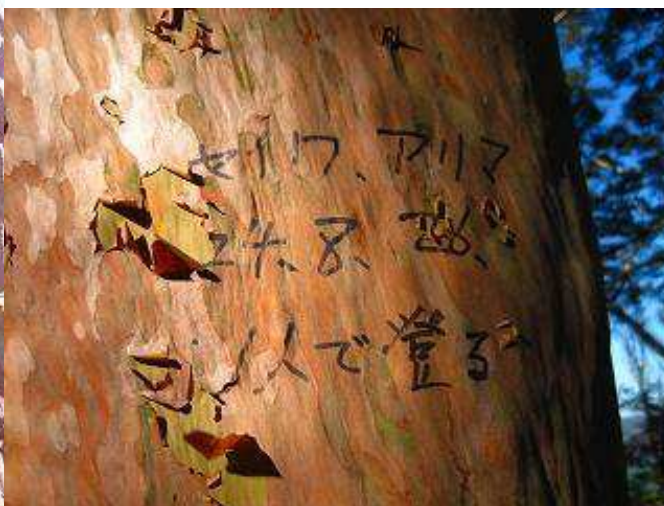
青スズ台に上る途中で、写真の落書きが、ヒメシャラの木にあった。

このような落書きは、一昔前流行ったものだが、最近は少なくなったと思っていたが、さにあらずだった。そもそも人間は、訪れた場所に証拠を残したい動物なのか。

数年前、イタリアだかの遺跡に日本の大学生だかが、落書きをして、賠償命令??だかが下った記憶があるが、その気持ちはよくわからない。

まあ、今回はマジックだから、いずれ消えるだろうが、我々の記憶は消えない。もし当事者がこの日記をよんだら、今度はやめましょう。

古の格言で山に残してイイのは、「足跡と写真」(注=足跡も場所によってですが)と言ったものですが、よろしくお願い致します。(笑)



10月22日(月)晴・12度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月22日(月)07時07分46秒

[編集済](#)

昨日は

10月度・さわやかハイキングで、旧天城峠～八丁池～青スズ台。天気は快晴無風。参加は15名でした。

天城峠下の駐車場（標高約600m）から出発。旧天城峠で大ブナに再会。このブナは元気で良かった。鉢巻道は行かないで、ずっと尾根を上る。

953m峰から素晴らしいブナの森が続く。ここに来るのは久しぶりだったが、このブナは、猫越岳以上ではないか。紅葉には少し早いのが、残念だった。大きなタコブナで記念撮影。

八丁池に着き、一周して青スズ台（1237m）に上る。ここもいつ来てもイイところ。天気が良く相模湾が広がっていた。ここで恒例の「トン汁大会」。持ち寄りの具がドンドン入って鍋が出来る。鍋奉行は大忙し。

仲間が上げた「磯自慢」でイッパイ。これまた良し。最後はトン汁にうどんを放り込み頂く。うどんはお腹にスルスル入って美味しい。全体的に充実のハイキングでした。



10月20日(土)晴・14度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月20日(土)06時57分47秒

[編集済](#)

伊豆

巡礼で、石部(いしぶ)に行った。ここは「全国棚田100選」になっているところ。先日、新聞で稲の刈り入れの様子が掲載された。ここのキャッチ・コピーは、

石部棚田では、農作業体験をとおして、すべての人が笑顔になれる「百笑(ひやくしょう)の里」づくりをめざし、平成12年から保全活動を行なっています。平成14年には、交流棟や水車小屋・農道などの整備も行なわれ、「棚田オーナー制度」が開始しました。それらの日常管理は、「松崎町石部地区棚田保全推進委員会」を中心に石部地区の有志によって行なわれています。なかには、米作り名人、野菜づくり名人、茅葺名人、郷土料理名人などがいて、オーナーに助言や指導を行います。(関連HP)

「百笑の里(百姓)」はイイね。ここの72番札所・禅宗院でお勤めを終えて、仁科に向かう途中、地元の元気なジジ・ババ達に会った。

早朝から元気イッパイで、野良仕事(この野良って言葉はステキだ。さしずめ我々は、山良仕事??!!)に励んでいる。前回、ここで会ったジジは、何とバッテリー・カーで畑回りをしていた。

写真・中のババに朝の挨拶をしたら「何方じゃっけ」と、トボケだかボケだか、されてしまった。皆さん元気です。車は少なく、空気は美味しい。野菜を沢山食べて、新鮮な魚をいただく。ただ、まあ、ここで遊ぶにはイイですが、暮らすのはチョットでしょうか。

明日、山行きのため日記は休みます。





10月19日(金)晴・13度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月19日(金)06時05分45秒

[編集済](#)

今年も

いただきました。銀ナンです。これは、本当に美味しいです。私は某所で拾っていますが、銀ナンは、少なくとも親指の頭大がないと、食用に向きません。

日大通りなど、銀ナンは沢山拾えますが、何処も小さくていけません。

特に大きな木は、沢山結実するので、実は小さいのです。

台風などで、枝が飛ばされた木がいいのです。本当は剪定が出来れば理想ですが、イチョウの木は大きくて、なかなか出来ないですね。

季節のモノをいただくのは、サイコーの幸せですね。

今朝は、寒いです。富士山は白いでしょね！！



(昨日の続き)

今回、この大会競技規則を読むと、「ストック禁止」「登山道以外(競争)禁止」「自然保護上必要箇所追い越し禁止」「ショートカット禁止」「指定場所以外用便禁止」「止むを得ない時は携帯トイレ使用」と多くの禁止事項が並ぶ。しかし、こんな美味しい美辞麗句を並べて、果たして参加者は実行出来るだろうか。

例えば、「自然保護上必要箇所追い越し禁止」と謳っている。「追い越し禁止」とは、抜く時コースをはみ出て、自然を害する恐れがあるからだろう。そうなると、この区間を参加者が「歩くようなゆっくりした走り」でも、抜いてはいけない、安心な場所となる。私たちが考える「自然保護上必要箇所」区間は、百歩譲っても二本杉峠から仁科峠の全区間である。思い切って、この区間を「自然保護上必要箇所追い越し禁止」場所に指定し、全員が「歩くようなゆっくりした走り」をしたら如何か。「競争」を謳った大会で、果たしてそんな設定が出来る訳はない。また、「止むを得ない時は携帯トイレ使用」とあるが、「競争」をしている1500名の参加者が、そんな「面倒なこと」を実行すると思えない。

実行するなら、いつ使用するか分からないので、出発時全員に配らなければ意味がない。仮に使ったにしても、廃棄ポストまで持って走るのか。「ショートカット禁止」も、無我夢で「競争」していれば、「競技者本能」で、眼前の急激に曲がったルートを真っすぐ走るのが当たり前でないか。禁止事項を誰が監視するのか、はたまた参加者任せなのか。本音と建前を使い分けているとしたら、絵にかいた餅である。

山岳競技は、目的と手段が間違っている。何年前か、私たちが丹沢・犬越路から檜洞丸で歩荷(ボッカ)訓練中、北丹沢山岳耐久レースに遭遇したことがある。20Kg背負って歩荷訓練する私たちは、言ってみればカタツムリ。そこに後から100余名のレーサーが押し掛けた。現場は修羅場化した。怒鳴りあい、奴付き合いが始まった。所詮、登山者とレーサーが同じ土俵に上がるのは無理がある。結局、この北丹沢山岳耐久レースは、問題が多く様々な反対運動が起きて、他山域に移された。

私に言わせれば、そんなに「かったるいこと」を希望するなら、山岳でなく車道で10Kgの荷物を背負って走ればよい。コースは何処でも自由に設定出来る。何故、様々な問題を起こす山岳で、わざわざ行うのか、私には分からない。新聞報道では、「伊豆は観光客が減っており、集客につながるよう大会を盛り上げていきたい」とあった。しかし、一年一回の短期間の開催で果たして本当に伊豆振興に繋がるだろうか。元々、昔からある伝統的な伊豆独特の文化を掘り下げ、地元の年配の方たちも巻き込み、一年間を通じて行える行事(イベント)を興すことが本来の伊豆振興に繋がるのではないか。例えば、伊豆八十八札所巡礼・伊豆一周ウォーキング・伊豆ジオパーク・天城連峰ハイキング、などである。

大会関係の一部の人間が少数の特定の参加者のために、伊豆の貴重な自然を利用・破壊することは、断固反対である。



10月17日(水) 晴・16度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月17日(水)06時05分16秒

[編集済](#)

諏訪湖さま（勝手に付けたニック・ネームです）

投稿、ありがとうございます。結構、同じ時期に上っていますね。また、あそこは海が近いので、いつも天気不安定ですね。

チンネ・・・イイ名称です。もう、上れないでしょう。（笑）それでも数年前、北方稜線の際、再登すべく装備は持参しました。

伊豆山岳競争について（その・1）

裾野麗峰山の会  
後藤隆徳

伊豆・天城連峰は高山でないが、その山々はまだ手あかが付いていない静かな山域である。特に西の猫越岳（ねっこだけ・1035m）～猿山（1000m）～二本杉峠付近は、ブナの巨木が林立し、シャクナゲ・ヒメシャラの清楚な花を見ることが出来る。その豊かで重厚な自

然が残る山域で、来年3月10日「山岳競争大会」（関連HPから）が開催される報道があった。

大会名称は、IZU TRAIL Journey 第1回伊豆松崎・修善寺間山岳競争大会。コースは、松崎新港→宝蔵院→八瀬峠→諸坪峠→萩ノ入林道→旧天城峠（二本杉峠）→猫越岳→仁科峠→船原峠→達磨山→戸田峠→修善寺温泉・独鈷公園で全長70Km、累計標高差4200m。参加者は、1500名以上を予定している。

現在、この手の山岳競技（以下競争を含む）は、毎月一年中、日本全国いたるところで開催されている。気候がよい5・10月は、同じ日にいくつも行われる。そしてどこも参加者が多く盛況である。ちなみに、2012年に全国で開催された競技は100余。ほとんどの名称は、レース・トレイル・ランニング・駅伝であるが、わざわざ「競争」と銘打っているのは、富士登山競争のみ。今回、この大会がそれを謳っているのは、他意があるのだろうか。

山で行う山岳競技は、あくまでグラウンドや車道で行う競技の延長で、登山行為とは全く異質なものだ。本来、それが時間・体力・技術・精神力を競うものなら、わざわざ山岳で行うことはない。わざわざ山岳を選ぶ理由は、その規模・困難度・環境の良さだろう。毎度、グラウンドや車道での競技では変化に乏しく飽きる。変化を求めて山岳の競技になると推定されるが、そこには大きな問題を含んでいる。

今回の競技で特に問題になる区間は、旧天城峠（二本杉峠）から猫越岳～仁科峠間である。元々、天城連峰は火山で形成された山々。地盤は極めて脆弱である。そこに短時間で1500名以上の人間が駆け抜ける。1500名といえば、例えば多く見て一日平均30名の登山者が入山してとすれば、50日掛かる人数である。

競うことがない登山で穏やかな運動ならば、30名入山しても自然に掛かる負荷・負担は、それほど大きなものでなく、あっても50日あれば、少しずつ復元する時間がある。しかし、それが「競技」となると状況は変わってくる。「競技」とは、人間が時間・体力・技術・精神力を競うものである。そこには、自然に対する「いたわり・やさしさ・おもいやり」が入る余地はない。他人を押しつけ、登山道を踏み外し、トイレは至るところで行い、短時間で1500名が駆け抜けた場合、自然への負荷・負担は、再び復元されることがない痕跡を残すことは明白である。某山岳レースの場合、ある特定の場所でトイレが集中し相当「汚され匂った」と報告がある。

(つづく)

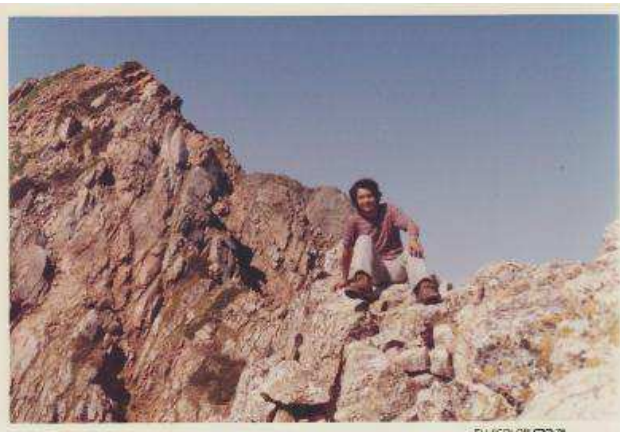
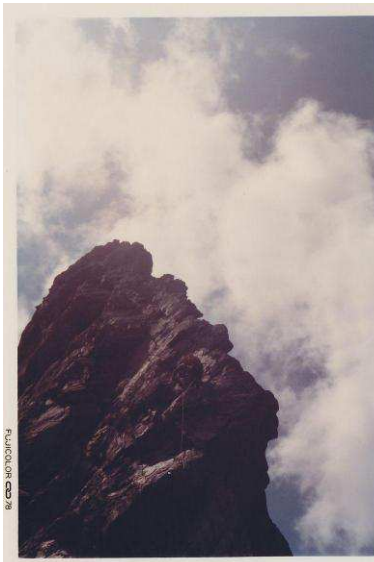
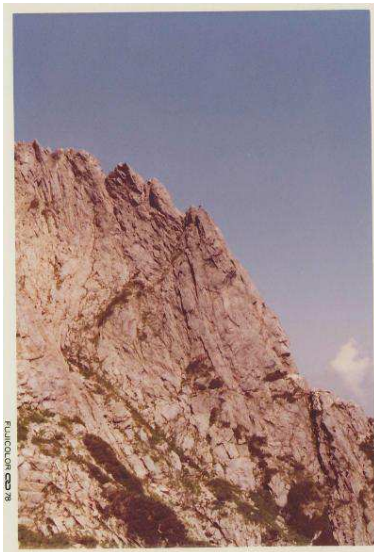
投稿者：S 投稿日：2012年10月16日(火)22時11分24秒

チンネ左稜線、何という魅力的な響きでしょうか。私は1978年7月28日にザイルパートナーのWと登りました。もうじき24才になる夏でした。

私たちが重荷に喘ぎながら内蔵助出合、ハシゴ段乗越しを通過して真砂沢にテントを張りました。2日目は6峰C、Aフェースを攀じ、3日目に長次郎雪渓を詰めてチンネに向かいました。日帰りではもったいないので左稜線を登って三ノ窓でツェルト泊し、翌日に中央チムニー～aバンド～bクラックを登りました。

左稜線は10:25に取り付いて15:15にチンネの頭に着きました。順番待ちも含めて4時間50分掛かりました。登攀後、三ノ窓でのんびりしていたら猛烈な夕立が襲ってきました。目の前のチンネ方面で雷鳴が何度も轟きました。まだ何組か取り付いていたので他人事ながら大いに気をもみました。岩場のあちこちで「おーい、大丈夫かあ？」という声が聞こえました。幸い事故はなかったようです。

最後は本峰南壁A2稜を登って剣の山頂に出ました。若き日の良き思い出です。そう言えばそれっきり剣には行っていません。既に34年も経ってしまいました。



10月16日(火)晴・17度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月16日(火)04時44分17秒

[編集済](#)

我が悠久なる山々・1

その年の夏は天気が悪かった。1976年8月、O(オー)と私は重荷に喘ぎ、黒四から内蔵助谷(くらのすけだに)を上っていた。真砂沢小屋でテン泊し、翌日、長次郎谷に行くが、相変わらず雨だった。結局、その日はハッ峰・Ⅲ峰付近の岩小屋に泊まった。真砂沢でSBSラジオが聞けたとある。富山県地方は集中豪雨で、毛勝山で遭難事故の報道。

翌日もハッキリしない天気。岩小屋を5:37出発。池ノ谷で下から上って来た登山者に「何か食べるものはありますか？」でリンゴをあげた。悪天候でマッチが駄目になり炊事が出来なかったと言う。三ノ窓9:15。チンネ左稜線取付11:00。BC15:30。三ノ窓で何処かの大学生にタバコを譲った。こちらも悪天候で、タバコが「湿気てしまった」そうだ。

翌日もハッキリしない天気。本峰南壁をやって、チンネに戻り北条・新村ルートを上った。まあまあ快適だったが、ルートがハッキリしない。翌日、記録には天気の記述がない。ハッ峰Cフェース取付6:30、BC着9:10。剣岳を越えて雷鳥沢着16:30。翌日、大町経由で帰静した。

ちなみに、当時のアルペンルートの料金は、黒部湖～黒部平＝600ー、黒部平～大観峰＝900ー、大観峰～室堂＝1500ーだった。現在は、合計11200ーである。

苦しくも、記憶に残る山だった。





10月15日(月)晴・18度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月15日(月)04時36分42秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

以前も

書いたが、毎月仲間から紙の会報が沢山届く。最近、我が会は電子版に移行し、紙の印刷は発行していない。紙の発行物は手に取った感触が温かいし、電気が無くても見れる利点がある。

富士宮の「あさぎり山の会」から、最新版の10月号が届いた。山行記録は、キリマンジャロ・鳥甲山ほかと賑やか。中にちょっと気になる記録があった。

北アルプス・剣岳チンネ左稜線・・・懐かしい山だった。ここをS氏とM嬢が8月4日～7日に上った。丁度、我々が南アルプスに行った時だ。左稜線自体、特別な記録ではないが、今回は「荷物を全て持ったの登攀」(記録から)が、目についた。

普通、岩登りは厳しい登攀を強いられるから、なるべく荷物は減らして軽量で臨む。しかし、チンネは遠く長いから日帰りは出来ない。従って最低の宿泊装備は持って行く。小型テント・シュラフカバー。コンロ・コッヘルは不携帯で、食料は全て乾き物だったとのこと。従って、M嬢の荷物は12Kgくらいだった。

6日、7時間掛かり左稜線を上り切り、チンネの頭が14:20。ここから本峰・剣岳着が18:10。これを越えて剣沢に着いたのが、21:50!!だった。この頃、南アルプスは好天だったが、剣岳は雨模様が続いたようだ。

最近若い方は、いわゆる「アルパイン・クライミング」(アルプス的・場所での登攀)をやらなくなった。理由はやっぱり3Kだろうか。キツイ・カッターイ・(本来、キタナイ)・キビシイ。重い荷物を背負って長い行程をこなす、厳しい環境での登攀は、苦勞・困難の連続でイヤ・キライな訳だ。そんな中、今回の記録は、「記憶に残る山」だったのではないだ

ろうか。

私もアルプスでは、数々の登攀を行った。やっぱり全て「記憶に残る」記録だ。チンネ左稜線は、1976年8月16日に上っている。記録では4時間掛かっていた。S氏は、私と年齢がそれほど変わらない。しかし、まだまだ岩登りの情熱で溢れている。これからも頑張って「記憶に残る」記録を残して頂きたい。



10月14日(日)晴・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月14日(日)14時17分20秒

先日

西沢溪谷を歩いた帰り、キノコ取りの地元のオジさんに声を掛けたら、「持ってケ」といってキノコをくれました。上がシメジダケ・下がヤナギダケだそうです。

さっそく翌朝いただきました。シメジダケは美味しかったです。ほか、名前を忘れたキノコも、シコシコで美味しかったです。

キノコの選別は、難しいですが、シメジは分かりそうですね。







10月12日(金)・13日(土)

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月12日(金)14時16分23秒

[編集済](#)

昨日は

10月度・伊豆巡礼でした。コースは、伊浜～石部～岩科～松崎。天気は晴れ。参加は26名。朝は、富士山に笠雲がかかり、天気が心配されたが、結果的に問題なかった。

伊浜上の県道から出発。県道を辿り、棚田で有名な石部の72番・禅宗院着。ここは無住職だが、女性の寺番さんがいる。ここから裏山を越えて73番・常在寺着。

ここは以前、寺番がいたが現在は不在で無住職。寺は少し高台にあり、眼下には黄金色の田んぼが広がる。お勤めを済まし、蛇石峠北下の永禅寺に向かう。この辺りは「サギの町」で、なるほどサギが数匹飛んでいる。

永禅寺は静かでいいお寺だ。寺を守る御母さんは、品が良い方。2年に一回会うが、膝が痛いといいつつ、今年も元気だった。下の仁科の法眼寺の住職は、御母さんの長男だ。昼食・休憩はここで済ませた。

午後は、天然寺～浄泉寺～円通寺を回って終了した。涼しくて天気に恵まれ、充実した巡礼でした。





10月11日(木) 晴・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月10日(水)19時01分40秒

[編集済](#)

伊豆

よ、お前もか〜、である。

昨日の朝日新聞・静岡版に「伊豆トレイル」なるものが掲載された。

要するに昨今、流行りの「山岳マラソン」である。先日は、日本アルプス横断をNHKでもやったばかりだ。コースは、

<http://www.izustrailjourney.com/outline.html>

に詳しいが、問題箇所は、仁科峠〜猫越岳〜二本杉峠〜大川端の山岳箇所だ。ここは、天城でも有数のブナ原生林が残る箇所だ。

古くは丹沢でもやって、丁度、我々が「20Kg歩荷訓練」で犬越路に差し掛かった時、100人位のランナーが後から押しかけ、カタツムリのような、我々の歩荷隊と「怒鳴りあい」の一触即発の場面があった。この模様は、雑誌「岳人」のかわら版に私の拙文が掲載された。

その後、丹沢ブナ党などの反対運動が功を奏し、それ程問題のない別の山域でやられるようになった。反対の理由は、登山道を踏み外し走るの、植生が荒らされる」「登山道を我武者羅に走るの、登山道自体が荒らされる」「本来、登山道は、走るところではない」「一般の登山者とトラブルが避けられない」などなど。

そもそも、何で山を走るのか??新聞では、「伊豆の観光客が減っており、集客につながるよう大会を盛り上げて行きたい」だって。バカヤロ〜である。そんな一過性なイベントで、長期的な集客なんか出来ると、本当に思っているのか??

私がやっている「伊豆巡礼」のが、よっほどマシと思うが・・・(笑) (今日は、10月度・

伊豆巡礼ですが・・・) 四国を見れば、一目瞭然だ。四国お遍路で地域は盛り上がり潤っている。伊豆八十八札所は、物凄い貴重な文化とを感じるが。

いずれにしても、私は大いに反対である。山を競技の場とするな。山は走るところでない。伊豆の自然を守れ。伊豆の自然を商売道具とするな・・・と叫びたい。

(この日記は、10日夜書きました)



10月10日(水) 晴・17度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月10日(水)06時12分33秒

[編集済](#)

先日の

朝日新聞に和歌山県那智勝浦町の「那智の滝」を上ったクライマーが「軽犯罪法違反」で「現行犯逮捕」の記事があった。

その時は、「おやおや、こんなことをすれば仕方がないか」と思ったが、実はそうでもないらしい。

逮捕理由は、信仰の対象になっている、神聖なる滝を上った、信仰を冒瀆する行為だったらしい。私も以前、長泉町・桃沢川源流の水神様で立ち入り禁止の滝を上ったことがあるので、この対象になるだろうか。(笑)

で、今月の「岳人」10月号の「続・山の法理学」を見たら、実は「軽犯罪法違反事件」は、原則「現行犯逮捕」は出来ないとあった。現行犯逮捕は、あくまで「住所不明・氏名不詳」の場合のみとある。

つまり、朝日新聞の記事は、氏名も掲載され「現行犯逮捕」されてはいけない事案が、「現行犯逮捕」されたので、記事にしたようだ。たまには、朝日もイイことをする。(笑)「軽犯罪法」を読むと結構面白く、例えば・・・

二十二 こじきをし、又はこじきをさせた者

二十五 川、みぞその他の水路の流通を妨げるような行為をした者

二十六 街路又は公園その他公衆の集合する場所で、たんづばを吐き、

又は大小便をし、若しくはこれをさせた者  
三十 人畜に対して犬その他の動物をけしかけ、又は馬若しくは  
牛を驚かせて逃げ走らせた者

などがある。「こじき」が、軽犯罪法違反とは、知りませんでした。長泉にいる女乞食は、  
逮捕されないのかな～??



10月8日(月)・9日(火)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月8日(月)15時46分30秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

連休は

大菩薩嶺・両神山でしたが、両神山は、雨中止。替わりに西沢溪谷で遊びました。久しぶりのテント泊で、久しぶりに「山の歌」を唄いました。

昔は、テントで山の歌を必ず唄ったものです。それが当たり前だったのですが、最近ではメッキリ唄わなくなったようです。何年か前、瀬沢でテント泊でしたが、歌声は全く聞こえませんでした。昔は、労音とか行くと、ダー久・ダックス、ポニー・ジャックスなど、必ず「歌唱指導」をしたものです。20代で覚えた歌は今も唄えます。バス・ハイクの往復でも、皆で唄ったものですが、最近では、メールなどやっけていて、唄は迷惑なのではないでしょうか??

以前、山梨のS君の依頼で、芦安で登山教室を開催後、最後に「岳人の歌」を歌唱指導しましたが、100名中、知っているのは5～6名でした。昔から伝統的な山岳会でやって来た人は良く知っていますが、最近の中高年登山者は、学ぶ機会が無かったと思います。

そんな訳で、皆で数曲唄いましたが、まあ、簡単には覚えられないでしょう。機会あるごとに、やっていけば、すぐ覚えられますでしょう。



## 10月6日(土) 晴・涼?

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月5日(金)17時47分42秒

[編集済](#)

伊豆

ウォーキングで、白浜海岸の手前から浜に降り、プリンスホテルの下を歩いた。

ここは、一応歩道があるが、当日は中潮で、一部波を被り10回に1回くらい大きな波が来るので、歩けない場合もある。

女性軍は大いにスリルがあったようだが、何とか無難にこなした。何処もそうだが、「歩くと」新しい発見が沢山ある。今後も楽しみです。7・8日は、秋山合宿(大げさ??!!)のため、日記は休みます。

(この日記は、5日に書きました)



10月5日(金) 晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月5日(金)06時46分51秒

[編集済](#)

一昨日は

第7回、10月度・伊豆ウオーキングでした。コースは河津～白浜～須崎でした。天気は小雨～曇～晴。参加は31名。

河津・踊り子会館から出発。3つの大＝大ソテツ・大噴湯・大クスの木を見て、白浜に向かう。白浜は台風がらみの風が吹いて、海は大荒れ。しかし！！その荒海でウインドサーフンの輩が数名。命知らずでしょうか。遊泳ではないですが、入海禁止(?)には、ならないのか??

外浦に出て民宿「廣和荘」昼食。この日は、奮発して主に「金目定食」をいただいた。1500ーですから、やや小さかったですが、味は良かったです。特に目の周りのゼラチン(?)サイコーでした。

午後は下田在住の方も知らない、裏道から須崎に出て御用邸先の駐車場で終了。温泉は、踊り子会館でした。まあ、ストレスの天気でしたが、楽しめた一日でした。



10月4日(木) 晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月4日(木)07時22分42秒

[編集済](#)

昨日の

事故報告の当事者年齢を加えました。

1. は、最近の転倒事故で多い例です。転倒すれば概ね思わず手をつくものです。手を着けば、かなりの体重がかかり骨折に繋がります。

私も先日、富士山の硬い斜面の下りで、ザ〜と滑りました。富士山は、砂走りのザックザックしたところは、問題ありませんがブルが頻繁に通過する斜面は、カチカチでザックザックから、突然変わると、体が対応出来ず、滑る訳です。

結構、硬い斜面で骨折は十分考えられます。2. も骨折箇所は違いますが、同じような例でしょう。



10月3日(水) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年10月3日(水)03時52分34秒

[編集済](#)

労山

静岡県連の4月～9月の事故。

1. 伊豆HC 女性 63歳 6月24日＝白馬樺池自然公園・・・転倒、左手骨折
2. 伊豆HC 女性 63歳 7月10日＝富士山・・・転倒、右足踵付近骨折
3. NMC 女性 56歳 7月25日＝御岳山・・・転倒、左脛骨骨折
4. 浜松 47歳 9月1日＝北遠・壇山・・・滑落、上唇2針縫合
5. 浜松 26歳 9月15日＝南ア・戸台川・・・滑落、顎・けいつい捻挫

今日は、10月度・伊豆ウォーキングです。





10月2日(火) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月2日(火)05時01分26秒

[編集済](#)

前回

富士宮口～大沢崩れの時、新6合登山口に「例の看板」が「また」あった。5合に無く新6合と言うところがおかしいが、観光客で溢れる5合は、さすがに「配慮」「遠慮」したのか。

今回も須走口にあった。看板の主は、「沼津土木事務所」。内容は、「2012年9月10日から2013年7月上旬まで」「5合目から山頂まで」「通行禁止」というもの。

しかし、この9月10日以降通行禁止は、一体どういうことだろうか??看板は、「現在の登山道は通行禁止です。冬山登山の経験と十分な装備が無い安易な登山は、遭難に直結します。登山を強行して遭難しても、登山道の管理者(静岡県)は一切責任を負いません」とある。

内容は氷雪が出て来る、11月以降の冬山登山禁止を謳っているのに、何故9月10日以降なのだろうか？？そもそも遭難して、静岡県に責任を問う輩がいるのだろうか？？この件は、沼津土木事務所に正す必要がありますね。

今日は、ドックで朝食が摂れません。う～ん、腹が減りました。



10月1日(月)晴・やや暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年10月1日(月)08時46分30秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

今日

から10月です。今年も少なくなりました。80000カウント達成です。皆さま、有難うございます。

台風一過で気持ち良い晴天です。風雨は思ったほどなく、被害は無かったです。ただ、畑の「塩害」が心配で、朝一番「真水」を掛けて「洗浄」しました。ソバの風害は、分かりません。

昨日は台風前の「朝駆け」で、須走口～吉田口、お中道調査でした。須走口～吉田口は、お中道でないが、「コノスジ中途道」がある。おかしい名称だが、意味を須走・東富士山荘の

米山さんに聞いてみた。

「コノ」=この、「スジ」=筋道、「中途」=中途半端な、「道」=道、だそうです。雪解けなどで滑沢が渡れない、中途半端な道の意だそうです。ただ、無雪期は問題なく、通行は出来る。車の無い時代須走口～吉田口の交流道路として発展したのでしょう。

これで、あと須走～御殿場を調べれば、富士山一周のめどがつかます。近々、予定です。



**9月30日(日) 晴・涼**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月30日(日)04時30分52秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

昨日は

先般、種蒔きしたソバの「花見」「台風対策」でした。ソバの成長は早く、種蒔きしたのが、8月25日。花は普通、白だが赤もある。そして今、花盛りで、これから結実する。その間、1ヶ月ちょっとだから成長は早いのだ。ただ、ソバは風に弱くすぐ倒れてしまう。

今一番大事な時なのに、明日、台風が来て大風が吹くとマズイ。しかし、これはどうにもならない。幸運を祈るばかりだ。しかし、日本の台風も困りますね。



9月29日(土) 晴・21度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月29日(土)06時31分17秒

先日の

朝日新聞夕刊「ひとえきがたり」に、伊豆・片瀬白田、東泉院の女性副住職の金田祥道（しょうどう＝僧侶名）さんの活動が掲載された。

祥道さんは、10年前、東京の短大を出て伊豆急行電車の運転手をしていたそうだ。その後、横須賀の米軍人と結婚したが、娘ばかりだった実家の寺を継ごうと、お坊さんになったとのこと。

僧侶として寺に戻って4年。地元活性化のため、走り回り。オモシロ駅長で、時々、この姿を披露しているようだ。巡礼で彼女に初めて会ったのは5年前でまだ独身??だった。

3年前行った時は、九州に行ったと奥さんに聞いた。今年1月訪ねたら、二世の子供と一緒に在宅だった。いろいろあったかも知れません。また、聞いてみたいですね。



9月28日(金)晴・23度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月28日(金)07時15分38秒

[編集済](#)

仲間が

黒部川・下の廊下(しものろうか)に行きました。好天に恵まれ、いい山行だったそうです。

今回、仲間は黒部ダム～阿曾原～樺平を歩きました。溪流美は、なかなかのモノです。

私も以前、阿曾原小屋の露天風呂に入りましたが、野趣満天でした。

ただ、ここは車の回送・トロッコ電車など、ちょっとお金が掛かるとのことです。

これから紅葉シーズンは、サイコーで混みあいます。



9月27日(木) 晴・19度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月27日(木)08時24分5秒

[編集済](#)

昨日は

9月度・富士山ウォーキングでした。コースは、富岳風穴～樹海～本栖湖～割石峠～朝霧「道の駅」。天気は快晴。参加は26名。

天気は快晴。渡る風は超快適。シットリした樹海を進む。精進湖民宿村でトイレを借りる。ここは、昨年秋、バスハイク時、昼食休憩したところ。女将は気持ち良い方。仲間のズックの底が剥がれたので、ガムテープを借りて修理。

ここから更に樹海を進み、城山下を辿り、本栖湖着。昨年は、大雨が続き自然歩道が冠水しハダシで歩いたが、今年は少雨で、水位は昨年より2mほど低かった。少雨は天然キノコにも影響があって、今年は全く不作だそうです。

本栖湖で昼食。風が涼しいを通り越して、寒いくらいだった。1時間半休み、午後のウォーキング。本栖湖から再び自然歩道を辿り、静岡・山梨県境の割石峠着。ここから富士山が大きい。

先週行った大沢崩れがよく観察出来た。なるほど大沢は、上部はかなり幅広いが、下部は極めて狭い。ここから、朝霧「道の駅」に下り今日は終了。富士宮・天母の湯で疲れた体を癒した。



9月26日(水)晴・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月26日(水)04時43分46秒

[編集済](#)

富士山

お中道の途中に「主杖流し」と呼ばれる沢があります。この沢は、溶岩が剥きだして、蛇のように下部から上部に延々と続いています。いわゆる、スラブ状態です。ここを私は未登ですが話によると、剣ヶ峰まで続いているそうです。

一度、上ってみたいような、魅力（魔力??）が、感じられます。

9月度・富士山ウォーキングです。





9月25日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月25日(火)06時19分27秒

[編集済](#)

NHK 山プロジェクト

やっほー！日本アルプス」4回シリーズの最終回！日本海・富山湾からスタートし、3000m峰が並ぶ「日本の屋根」、北アルプスから中央アルプスそして南アルプスを次々と縦断、太平洋・駿河湾までのおよそ400kmを自分の脚だけで踏破する、超人的な山岳レース「トランス・ジャパン・アルプス・レース」。

番組では、8日間にわたり、大自然の中で昼夜を問わず走り続ける超人達の熱い戦いに完全密着。自分自身の限界に挑む姿を見つめます。(NHK・HPから)

先日、上記のTV観ました。率直な感想は、「凄い」「大変」「よくやる」「異常だ」「意外と有名な山屋はいない(結果が怖い??)」「若ければやるかな～」「8日ならなんとかなる??」だった。

天気が良ければイイが、悪天候では最悪だ。嵐の中の夜間行動は、いささか引ける。怖いもの知らずだから出来るのか??途中、荒川小屋で「肺水腫」になってしまった方が出たり。最後に畑薙ダムから太平洋・大浜公園まで80Kmの道路行程は、流石にキツそうだった。

一番は、静岡県の望月さんで、5日と6時間だった。フルマラソンが、2時間35分!!というから、もともと体力はあるのだろう。それにしても、同じ山屋として、皆さんの奮闘に感動しました。

最後にレースの欲を言えば、最後に「富士山」を上って、田子の浦にゴールが、サイコーだと思いましたが・・・。(笑い)



9月24日(月)晴・18度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月24日(月)06時53分11秒

[編集済](#)

カウント

が、もうじき80000です。100000まで頑張りましょうか！！

今朝は気温が初めて10度台でした。昨夕も低かったので、富士山は雪かと思いましたが、雪はなかったです。ただ、8合付近に「雪田(せつでん)」がまだ健在です。このまま越年かもです。また、昨夕は夕焼けが綺麗でした。

富士山のお中道を、いろいろ調べてみたら、結構面白いことが分かって来ました。

今年は厳しいので、いずれ来年、通しで一周したいと思いますが、まだ、不明な部分があるので、下見の必要があります。

日本で最も偉大な山が最も近くにあり、研究課題が豊富は、嬉しいことです。



9月23日(日)雨・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月23日(日)06時58分4秒

[編集済](#)

昨日は

富士山お中道・富士宮口～大沢崩れでした。天気は晴れ。

参加は3名。

お中道入口は、新6合の少し上と認識していたが、同行者が6合上の意見で、とりあえず見に行ったが、結局新6合のすぐ上だった。

あるネット記事が、「六合目の少し上からお中道に・・・」の記述。正確には、この記述は間違いで、「新六合の少し上から・・・」が正しい。ネット記事の「信憑性」が難しいところだ。

1時間ロスでお中道に入る。入口には立派な「立ち入り禁止・危険・通行止め」の看板がある。しかし、なんのことはない、普通の歩き易い道が続いている。写真のように、まだペンキも新しい「お中道」の大書もあった。(笑い)

途中で、どこかのオジさんに会った。昨年に続き2回目とのこと。盛んに「昨年より歩き易くなった」を連発。オジさんは、すぐ先の沢が渡れず引き返して来た。「大沢崩れは、もっと先」と言っていたが、資料ではこの辺が大沢。GPSで確認したら、ここが大沢だった。大沢は確かに上部は「大崩れ」で幅は広いが、下部は狭く案外小さく見える。

ペイント・赤布が、ここでパツタリなくなるが、ここで皆さん、引き返す証。大沢休泊所は、ここから大下りして対岸に渡り、少し上るとのこと。本来、ここから富士宮に引き返すより、スバルラインに行った方が早い、予定通り引き返すことにした。一応、これで今回の目的は達した。全体的には、いいコース・いい山です。もう一回、逆コースで今回のコースと結んでみたい。





9月22日(土) 晴・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月21日(金)19時41分51秒

[編集済](#)

秋

です。オハギです。いただきました。美味しかったです。  
余り、大きくないのが、食べやすいです。

ただオハギは、ちょっと思い出があります。  
結婚して間もないころ、義母がオハギを作ってくれました。  
ただ、この時期、まだ気温が高く、オハギはいたみ易く、  
食中毒は要注意です。

義母のオハギを食べた時、瞬間「ちょっと、おかしい」  
(いたんでいる)と思った。  
ただ、まだ遠慮もあったし、「ま、いいか」で食べてしまった。

それが16時ころ。家に帰って20時ころ寝た。が、23時  
ころ寝ていて天井がグルグル回り始め、急激に気持ちが悪く  
なった。激しい吐き気と不快感。  
急ぎ沼津の救急病院に駆け込んで、総て吐いて、注射を打って  
貰い帰宅。気分は良くなり何とか寝れた。それでも若かったか、  
翌日はしっかり仕事に行きました。  
その義母は昨年秋、94歳で亡くなりました。亡くなった時も  
丁度、四国巡礼に当たってしまったり……。と、いろいろ  
忘れられない思い出があります。

まあ、何もないより、いいでしょうかね??!! (笑い)

(注=この日記は、21日に書きました)



9月21日(金) 晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月21日(金)06時25分17秒

先日

わくわく塾・ソバ講座で、種蒔き後、1ヶ月でウネの土寄せを行いました。

これは、ソバが台風などの強風で倒れないように、根元の土を寄せて、茎がシッカリ立つように手助けするものです。

1ヶ月前、自分が蒔いたソバは、すでに花がチラホラ咲いていて、元気イッパイ。自分の受け持ちの、ふたウネを鍬で丁寧に土を寄せます。

炎天下、大汗を掻いて力仕事なので、なかなかのものでした。ちなみに、ソバの茎は中が空洞で、風に弱いそうです。これで元気になって、いいソバを実らせて貰いたいですね。

ちなみに、来週はこのソバの花見行事があります。ソバの花は、紅白があります。



9月20日(木)曇・涼

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月20日(木)05時37分26秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

先日

巡礼で伊浜方面に差しかけたら、田んぼは、既に「稲刈り」が終わっていました。

四国も早いですが、伊豆も早いですね。

今年は夏以降、大きな台風が来なかったので、農家の方は良かったでしょう。

もっとも、春先の台風で、塩害が大きく、私の畑のツクネ・ユズが、全滅でした。農業は、天候が一番のポイントです。



9月19日(水) 雨・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月19日(水)04時32分16秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

久しぶりに

絵手紙を描きました。私の場合は白黒で色はありません。ちょっと、腕が落ちました??!!



9月18日(火)曇・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月18日(火)05時33分35秒

一昨日は

青森・むつ市に単身赴任の仲間が、連休で一時帰着で交流会が行われました。

単身赴任は、すでに2年半。少しは慣れたようですが、やはり冬は厳しいようです。

私が青森労山を知っていて、紹介し青森労山に入って山に上っています。

八甲田のスキーはいいと、盛んにPRしていました。

私も5月に岩木山・八甲田で滑ったことはありますが、彼が在地中に再訪したいと思っていまが、なかなか実現しないですね。

ともあれ、また頑張ってください。と、最後は皆で「一本締め」でした。





9月17日(月)晴・23度

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年9月17日(月)07時03分5秒

[編集済](#)

昨日は

伊豆・猿山(1000m)で地図読み山行でした。  
天気は晴れ。参加は6名。

河津七滝・萩ノ入川、標高約330mゲートから出発。  
天気はいい。日陰は涼しいが、日向は暑い。若手に地図  
を読ませ先導してもらう。

7:00出発。東南尾根を上る。下部は、何かに使った150m  
ほど広い道があった。尾根はブッシュもなく快適。若手は最初  
のピーク・630mは良く理解した様子。

快適に上り、ピーク・788m着。ここは大きなピークなので、  
北東尾根に入ってはいけない。北西に猿山が遠望出来るので、  
それを目指して、イイ感じの尾根を下る。この下で鉢巻道に  
出る。

更に急登をこなし、なだらかになれば頂上は近い。見事な大  
ブナがあったが、5月の台風だろうか、太い枝がボツボツ折れて  
いたのは、痛ましかった。(写真・中)森は全体的に折れて、落下  
した小枝が多く、台風被害は大きい印象だった。

頂上着9:10と時間は早かったが、今日はこれでお終い。朝食と  
いうか昼食というか、食事を済ませ下山。南のコルで鉢巻道を進む。  
ピーク・788m下で直進か沢下降か迷ったが、鉢巻道に行く。が、  
崩壊が激しい。Kのみ突っ込んで、東の尾根を下る。他は引き返し  
沢を下る。結果、こちらが正解だった。Kは苦戦した模様だが、無事  
下山。

後は、七滝温泉に入り帰着。全体的にイイ学習が出来ました。



9月16日(日)晴・やや暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月16日(日)03時29分22秒

[編集済](#)

写真は

先日、お世話になったお寺の住職です。

上＝蛇石・常石寺住職、中＝伊浜・普照寺住職、下＝妻良・善福寺住職。皆さま、いいお顔です。

今日は、伊豆・猿山登山です。



9月15日(土)晴・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月15日(土)03時25分28秒

一昨日

は、9月度・伊豆札所巡礼でした。天気は、高温でモーレツに暑かったです。参加は27名。

前回、最終地の妻良トンネルから出発。妻良集落に降りて、60番・善福寺着。この寺は、真言宗。5年前、入口の家で美味しいイワシを分けて貰ったが、3年前は、高温でイワシが取れなく、駄目だった。今年も駄目の様子でした。

ここから近くの金泉寺に寄り、峠を越えて蛇石峠下の常石寺に着く。ここの鈴木住職は80歳だが健在。いつも、もてなしを受ける。話の中で、学生時代は静大に通ったという。当時としては、凄い事でしょう。

再び峠を越えて伊浜の普照寺着。この寺も真言宗。丁度、この日は近くの方の葬儀だった。2年振りに住職に会って会話。これで3回目だが、よく覚えていてくれた。

ここから最後の行程で、県道まで20分上り終了。西日がギンギンでバッチリ暑かったです。温泉は今回から西海岸に回り、松崎の三聖苑で入る。厳しい一日でした。



9月14日(金)晴・23度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月14日(金)06時29分7秒

[返信・引用](#)

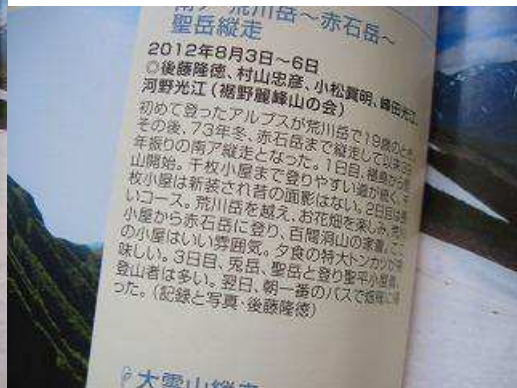
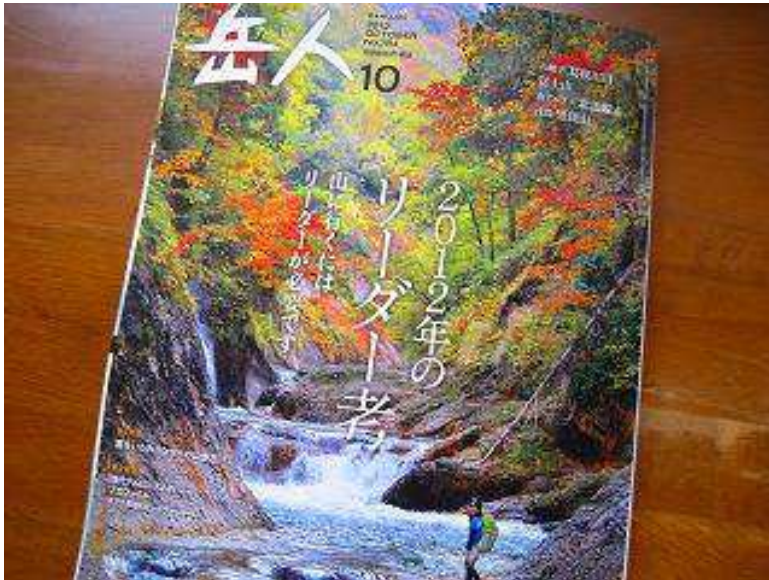
[編集済](#)

ジャ〜ン、

久しぶりに、山の雑誌「岳人」10月号に、夏山合宿の写真・文が掲載されました。

P133の「新・岳人写真倶楽部」です。兎岳を下り聖岳に向かう4名の写真がシッカリ載っています。

「岳人」の発売は、明日15日です。価格は800ーです。皆さん、買ってね！！



9月13日(木) 晴・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月13日(木)03時12分49秒

今日

日記、休みます。

本日は、

9月度・伊豆巡礼で妻良（めら）～伊浜方面です。



9月12日(水)晴・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月12日(水)05時17分54秒

[編集済](#)

昨日の

新聞記事で気になったのは、7大大陸最高峰・最速登頂記録  
= 136日の記録更新だった。

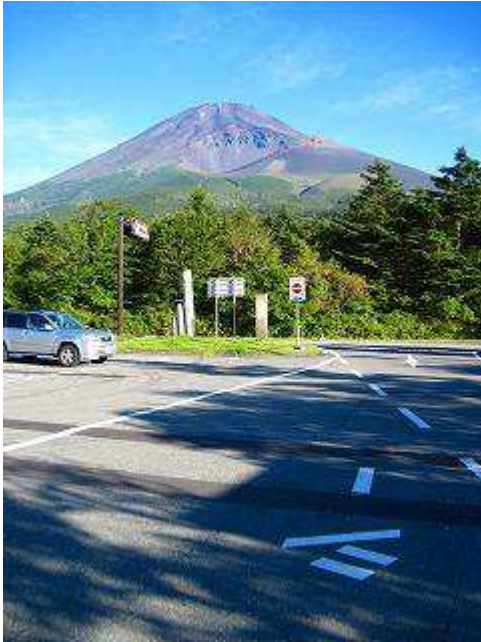
そもそも、この7大大陸は、アメリカの富豪、ディック・バス  
(当時50歳)と、ワーナー・ブラザーズの社長であったフランク  
・ウェルズ(当時51歳)が1980年代に初めて行った。

エベレストを上るだけでも、3ヶ月近くかかるこのミッションを、  
136日以下で上るのは、神業か天狗かである。8000mの実績が  
ない場合は、さらに厳しい現実が待っている。

最も困難なのは、その資金だろう。實川さんが、南極のビンソン・  
・マシフに上った時、「毎日10万円くらい掛かった」と話して  
いた。断腸の思いでしょうね。

しかし、「怖いもの知らず」は、時として驚異的結果を残す場合  
もない訳ではない。その勇気には、敬意を表します。ここでは、  
「頑張って」と応援するしか、ないでしょう。





### 肉なしヤキノバ

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年9月11日(火)23時47分1秒

先日はお疲れ様でした。富士山中腹って良いハイキングコースがあることを初めて知りました。

ヤキノバが好評だったようなので次回は気合いを入れて臨みます。「肉なしヤキノバ」の汚名もそそがねば・・・

「山の歌」は名曲揃いですが格調高い歌詞が多くて（例えば『坊がつる讃歌』や『エーデルワイスの歌』）歌いながら解説が必要です。



9月11日(火)晴・23度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月11日(火)06時25分1秒

[編集済](#)

仲間に

富士山4登山口・連続登頂「一筆書き」の新聞記事を頂いた。  
御殿場の「登山家」鈴木裕久さん(34)で、23時間54分  
28秒かかったそうだ。

なんでも、富士登山は、昨年7月が初めてだったそうだ。今年  
7月、「登山家になったばかり」とあるが、夏前に大手  
コーヒーチェーンの御殿場店を辞めて「プロ」になったとか。

合計約24時間は、富士宮口から上り、御殿場口を下り・上り、  
須走口を下り・上り、吉田口を下り・上り、お鉢を巡って、  
富士宮を下って完了。大体の時間を計算すると下記でピッタリ  
24時間になった。

富士宮口＝上り3H・・・・上り標高差＝約1386m  
御殿場口＝下り3H、上り4H・・・・下り・上り標高差＝約2336m  
須走口＝下り2.5H、上り3.5H・・・・下り・上り標高差＝約1806m  
吉田口＝下り2H、上り3H・・・・下り・上り標高差＝約1476m  
お鉢巡り＝1H  
富士宮口＝下り2H・・・・下り標高差＝約1386m

果たして、皆さん、これで出来ますかね??!!





9月10日(月)晴・23度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月10日(月)08時45分26秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

昨日は

9月度・さわやかハイキングで富士山でした。当所、青  
スズ台の予定でしたが、またしても暑かったので、富士山  
宝永山に変更。

天気は終日無風快晴。参加は10名。今回は、高鉢登山口  
から出発でした。

このコースは、久しぶりですが、下部は静かな森林帯でなかなか  
快適。

宝永山2352峰に出て、時間があるので6合分岐まで上る。  
ここは約2500m。車で1時間の近場で、標高2500m  
まで上れるのは、いい山です。

第一火口に降りて、第二火口を下って、御殿庭で昼食にした。  
日差しは強かったですが、唐松の木陰は、涼しかったです。  
ここで焼きもの大会。手羽・ハンペン・チクワ・干物・イカ  
が美味しかったです。

中でもS氏調理の「肉なし」の焼きそばは、意外とイケました。

下山は、いつもの幕岩東の標高1350mに下る。ここは  
なかなか、いいルートです。歩きながら仲間の「山の歌」が  
コダマしました。



9月9日(日)晴・

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月9日(日)04時32分17秒

写真は

稲取の愛恋岬の灯台です。ここまで足を伸ばすことは、あまりありません。

鳥羽一郎の「愛恋岬」の歌碑があります。

仲間のメールに先日、越後駒で「初雪」がありました。富士山では、積もりませんが真夏でも降ります。越後駒では、珍しいとのことでした。

秋は近いですね。



9月8日(土) 晴・23度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月8日(土)06時07分22秒

[編集済](#)

稲取

漁港奥の正定寺(しょうじょうじ)は、古いお寺で墓地の石像は味わい深いものがある。

また、大きな黒い阿弥陀如来の大仏が港を背に鎮座している。その大仏は、港の入口からも遠望出来るくらい大きい。

近くには、徳造丸の店があって、足湯にも入れる。車では簡単に通過してしましますが、歩くと色々面白い発見があります。



9月7日(金)曇・22度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月7日(金)06時29分4秒

[通報](#) [返](#)  
[信](#)・[引用](#) [編](#)  
[集](#) [済](#)

昨夜の

雨・カミナリは、強烈でした。シイタケに電流を通すと出来がいいは本当のようです。組織が破壊され、それを補うように、活性化するのです。何でも一度壊すのも必要かもですね。

稲取の町に「うそつき通り」があると、TVでやっていた。店の商売内容と「屋号」が違うらしい。例えば、魚屋で金物屋、八百屋で豆腐屋とか。途中で商売替えてこんな事になるようだ。

浜に行くと、江戸城築城の大きな「畳石」がある。家の話では、まだ江戸城に持って行く途中で、「預かっている」とのこと。そのうち誰かが取りに来るんでしょうか??!!

で、ここの家の屋号が、「畳石」だった。この家は、春になると、つるし雛の店になる。つるし雛と陶器製の雛人形などが並んで、賑やかになります。



9月6日(木) 晴・暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月6日(木)07時02分1秒

[編集済](#)

昨日は

9月度・伊豆ウォーキングで、新白田トンネル手前～稲取～徳造丸～河津旧道～河津でした。

モーレツな暑さで皆さんバテ気味だったので、12:30で終了し、踊り子会館でゆっくりしました。

仲間が、最近では珍しい「タマムシ」を拾いました。  
死んでいましたが、その色は綺麗でした。

・・・日本では「タマムシを箆筒に入れておくと着物が増える」という俗信がある。

日差しの強いときに飛翔、よく活動する・・・(関連HPから)

なるほど、昨日は暑かった訳です。(笑い)



9月5日(水) 晴・やや蒸

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月5日(水)03時52分1秒

[編集済](#)

今日は

日記休みます。

写真は、富士山御殿庭の天然唐松。

本日は、9月度・伊豆ウオーキングです。





9月4日(火)晴・24度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月4日(火)06時27分16秒

[編集済](#)

旧聞

で恐縮ですが、先日、グリンデルワルトのロートホルンSL  
鉄道で、ロートホルンに上った。

途中、一回下りて散策をし花を観察した。上り切ったところに  
人工の池があった。(写真・上)  
灌漑用でなく、スキー場の人工雪用とのこと。こんなところにも  
温暖化の影響がある。

で、その池はアイガー(写真・中)から切り出した岩で出来ていた。  
青っぽい綺麗な岩だった。  
そして、その岩には、様々な「氏名」が刻んであった。

もうお分かりですね。アイガー北壁で遭難した方の氏名を刻んで  
あるのです。  
その中に、「1965年 ツネアキ ワタベ 日本」があった。

古い登山家ならよく知っていると思います。  
1965年8月、高田光政・渡部恒明でアイガー北壁日本人初登攀  
を狙った。  
しかし、頂上まで300m下で遭難。渡部は壁に残り、高田は  
単独で登頂し、救助を求めた。

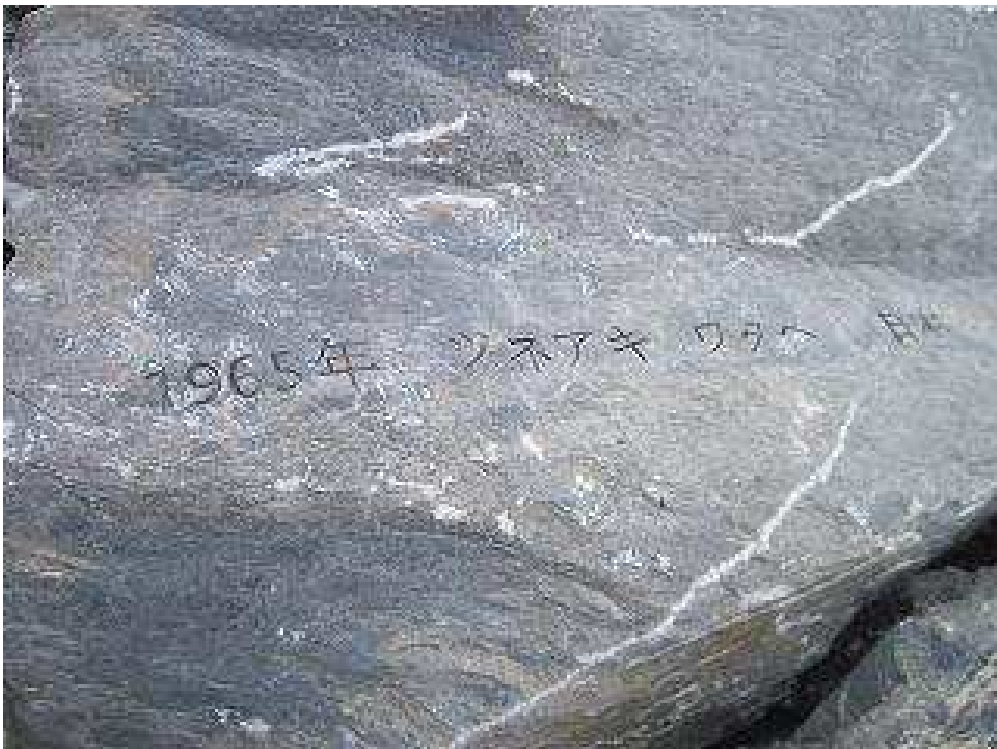
余談だが、高田はその後、ドイツ女性と結婚し、LOWAで  
有名な「タカダ貿易」興した。

しかし、渡部はザイルを外し、墜落死した。自殺の可能性も  
とりざたされた。詳しくは、その年に発刊された、高田光政  
著「登頂あと300」に詳しい。

<http://lv1uni.blog.shinobi.jp/Entry/4/>

ほかに、アメリカン・ダイレクトでロープが切れて墜死  
した、ジョン・ハーリンの名前もありました。

(合掌)



9月3日(月)晴・21度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月3日(月)07時00分16秒

[編集済](#)

今年も

落花生を収穫しました。

収穫量は、まあまあ。味は、サイコー。甘くて美味しいです。

落花生は、生を購入することは、殆ど出来ません。購入するものは、加工品が多いです。

入手出来たら、生の落花生をいただくのが、美味しい食べ方です。



9月2日(日)曇雨・涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月2日(日)03時16分6秒

[編集済](#)

昨夜

長泉ベルフォーレ小ホールで、三島どんぐり合唱団主催の「うたごえ喫茶」がありました。知り合いに頼まれての動員だったのですが、行って来ました。

小ホールは満席でしたが、やっぱり年配の方が多く、歌声も懐古調が主流でした。私も山の歌を一曲リクエストしました。ちょっと渋い曲で・・・でした。

まあ、こんなものもたまにはいいでしょう。ただ、アルコールが無くて、ちょっと寂しかったです。(笑い)



9月1日(土)晴・24度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年9月1日(土)06時49分3秒

[編集済](#)

朝は

涼しかったです。昨夜の雨は良かったです。

昨日、不在時、NHKの山番組のビラが大量に玄関に置いてあったが、何方が持って来てくれたのか??

内容で、表紙は「やっほー、日本アルプス～NHK山プロジェクト」

中は、8月31日～9月21日までの山番組紹介。

昨夜は、「もうひとつの立山～カルデラ・女子ふたり旅～」  
をやっていたが、観なかった。  
ほか、「本気で山ガール」「山のはなし」「登る！撮る！富士山  
トークショー」など。  
まあ、ちょっと気になるのは、9月21日（金）の「激走！日本  
アルプス大縦断」くらいなもの。

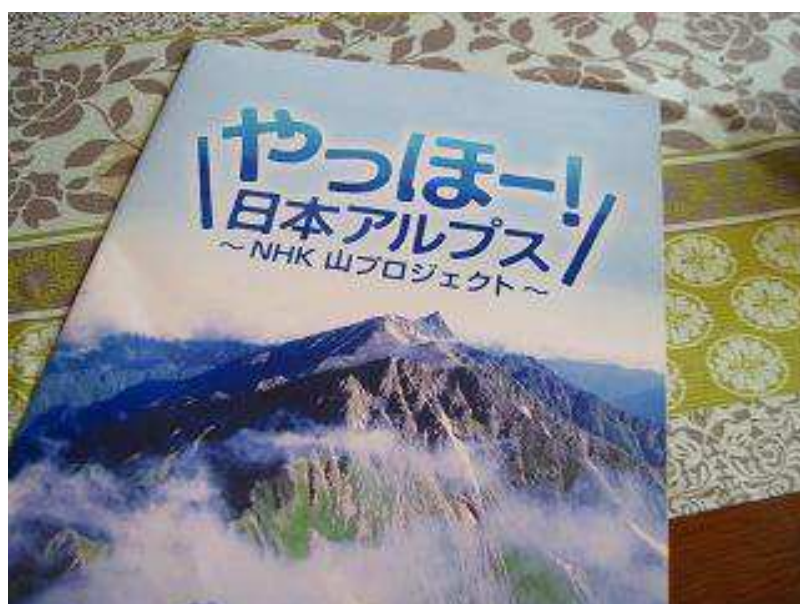
しかし、何処で誰がこんなものを作っているか知らんが、もし、  
これをNHKが作っていたとしたら、これは許せん。NHKは、  
昔、番組の「宣伝」はしないで通っていた。それが、いつの間  
にか、大々的に「宣伝」をするようになった。

これだけの物を作るのに一体、そのくらいの経費？？と考える  
しまう。

ご丁寧に最後のページは、料金値下げが「宣伝」してある。微々  
たる値下げなのに……。結局、これを言いたかったのか？？

しかし、何方が持って来てくれたか不明だが、こんなものが我が家  
に届くなど、私が「山好き」を知っているのだろうか？？！！  
いずれにしても、NHKは無駄な出費はして欲しくないですね。  
その分、受信料を下げてください！！

（私の友人で、「信念を持って」何十年も、ず～と払っていない  
方がいます。これらも何とかしたら如何ですか？？！！）





8月31日(金)曇・蒸し暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月31日(金)05時37分2秒

[編集済](#)

雨が

少ない。畑はカラカラ状態。余りの極端はよろしくない。ダイコン・ハクサイの種蒔きだが、少し延期。昨年の記録を見たら、やっぱり酷暑で9月10日だった。(情報では、先日蒔いた「ソバ」は、発芽したそうです)

今年はマクワウリが良かった。今までで一番良く、20ヶ程収穫した。近所の方・友人にも上げたが、喜ばれた。あの味は、懐かしく郷愁がある。自然の味と言うか、素朴な味です。2ヶやられたましたが・・・。(笑い)

私が借りている畑は約30平方で、全部で50区画ほどあるが、毎年、マクワウリを作っているのは私だけ。年配の方が多いのに、何故皆さん作らないのか不思議です。

今後は、落花生の収穫が始る。これもスーパーでは買えない味がする。毎年、有り難いことです。





## 8月30日(木) 曇・蒸し暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月30日(木)05時19分14秒

この

ブログ(日記)も随分長く書いているような気がする。  
調べてみたら、2010.04.16から残っていました。

いやはや、ネットの世界も凄いものです。で、このまま  
消滅は勿体ないので、CDに残すことにしました。

とりあえず、2010年度を纏めました。これが結構  
大変でした。

でも、まあ、振り返ってみると、いろいろあるものですね。  
「温故知新」。

古きを検証して、また新たにやって行きたいものです。



**8月29日(水) 晴・25度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月29日(水)06時42分44秒

今年も

恒例の「シソジュース」を作りました。我が畑のシソは、完全無農薬で安心。そのまま、バリバリ食べられる。

3倍濃縮で10リッター作ったから、1年分はOK。先日、さっそく富士山で頂きましたが、味はサイコーでした。

赤紫蘇を入れると、綺麗に仕上がりますね。

[返信・引用](#)

[編集済](#)





8月28日(火) 晴・25度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月28日(火)06時46分10秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

冬の

御殿庭は、しばしば訪れていたが、夏にじっくり行ったことは少ない。

昨年は、水ヶ塚～2352m峰～ニッ塚をやったが、御殿庭は訪れていない。

今回は、そこで「昼食」を摂ったが、予想どおり素晴らしい所だった。

ただ、近年「カラマツ」の侵入が著しく、次第に森林化していくのは残念。これは地球温暖化の影響もあるが、冬が厳しくなければ、更に加速する。

この問題は、富士山低山部に共通するものですが、環境を維持するために、まさかカラマツの幼木を抜くわけにもいかないし、悩めるところです。

現在の高気温傾向が、今後も続けば、少なくとも50年後には御殿庭は消滅すると思います。



**8月27日（月）晴・24度**

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月27日(月)08時42分36秒

昨日は

8月度、さわやかハイキングで、富士山宝永山・2352m峰でした。天気は晴れ。参加は10名。

赤塚の標高約1350mから出発。涼しい道を辿り幕岩着。ここから、御殿庭に上る。ここで写真の赤が見事な「ウマイタドリ」を見た。ちなみに、写真の下は、「オンタデ」。

ザクザクと2352m峰に上り、御殿庭に下って昼食。各自

持ち寄りの食材をコンロで焼いていただいた。それにしても富士山は涼しくてサイコーでした。



8月26日(日) 晴・やや涼

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月26日(日)04時19分41秒

昨日は

わくわく塾、「蕎麦打ち」講習会の「種蒔き」でした。  
元長窪、K氏の遊休の畑を借りて行いました。畑は約  
300坪くらい。

(もっとあるかな～。広すぎてハッキリしません)

ちなみに、K氏は5代目で、この畑は「天保」(1830年・  
182年前)から、やっていると言っていました・・・。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

そこに約40畝作り、溝に20センチ置きに、15～20粒蒔いていく。

天気はよく炎天下の作業で、暑いことこのうえない。

今、蒔いて秋に収穫し、年末に「新蕎麦」でいただく。

今年の暮れは楽しみです。



8月25日(土) 晴・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月25日(土)05時14分10秒

先日の

富士山ウォーキングは、好天で富士山が見事でした。

また、

山中湖～河口湖～本栖湖は、標高が900m前後で、涼しい。

暑い7月～9月が丁度ここを歩くのでラッキー。

某業者がやっているコースは、逆回りで、それは

かなわない。

河口湖を歩いていて、先日、エベレストに上った、  
渡辺玉枝さん（73）＝山梨県富士河口湖町を  
思い出しました。また、再会したいものです。



**8月24日（金）晴・やや涼**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月24日（金）08時07分5秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

富士山

ウォーキングで、初めて「船津胎内樹型」に潜った。

「船津胎内樹型」は、富士山スバルライン下部の途中、  
河口湖フィールドセンター内にある。入場料は200円。

熔岩樹型とは、樹木に溶岩が流れ固まり、樹木が腐り  
残った空洞の溶岩を指す。鳴沢など、富士山裾野には  
多いが、船津は最大級のもの。

入ってみると、入口の樹型内はツルツルで光っていて、刷毛でなげたような感じ。聞けば、溶岩が再溶融して綺麗な表面に変わったという。

団体様御断りの、「母の胎内」に「匍匐（ほふく）前進」??!!で進入。最奥部まで20mくらい。そこはポッカリ空いた正に神秘的な「母の胎内」で、木花咲耶姫像が祀ってあった。これで、孫が出来るかも。

なかなか素敵な熔岩樹型でした。



8月23日(木) 晴・暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月23日(木)11時40分23秒

昨日は

8月度・富士山ウォーキングで、河口湖～鳴沢道の駅～船津熔岩樹形～鳴沢道の駅～鳴沢氷穴～富岳風穴を歩きました。天気は快晴。参加は24名。

天気が良く暑い一日でしたが、割合、風があつて涼しかったです。

初めて船津熔岩樹型に行きましたが、なかなか良かったです。



**8月22日(水) 晴・蒸し暑**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月22日(水)03時39分27秒

夏山

合宿の百間洞山の家で隣に御殿場・時の栖のタオルを持っている方がいた。聞けば静岡の方でなく、北海道から来て、主な南ALPS全山を上ってる最中のYさんだった。

まず、北沢峠から甲斐駒～仙丈ヶ岳、下って両俣小屋に行き、(ここで女性管理人の星さんに会い)、上り返して北岳～間ノ岳

[返信・引用](#)

[編集済](#)

～農鳥岳、トラバースルートで間ノ岳を捲いて熊ノ平小屋。  
このトラバースルートは悪かったそうです。そして塩見岳～  
三伏峠～荒川三山～赤石岳～百間洞山ノ家という感じで、  
この後、聖をやって下山するとのこと。  
経費節減で食事は自炊。年齢は67歳。見た目よりお若い  
方でした。結局、この方とは翌日聖平小屋でも交流しました。  
いや～、やっぱりパッション（情熱）ですね。

遠路・奮闘・努力に頭が下がりました。Yさん、今後も  
頑張ってください。今度、機会がありましたら、北海道を  
お願い致します。ただ、スキーをやらないのは、ちょっと  
残念！！



8月21日（火）晴・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月21日（火）06時18分58秒

夏山

合宿の聖平小屋で元気の良い学生達20名位と会った。  
大きな荷物で20Kgは下らない様子。何処から来たか  
聞けば、南部の信濃俣方面からとのこと。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)



話をしたら、最高学府のT大ワンダーフォーゲル部の連中だった。小屋で出してくれた、フルーツを美味そうに食べていた。

女子も2名いた。よく観察すると、いわゆる「引率の先生」らしき人がいない。聞いたら、全て「自分たち」でやっているとのこと。流石といえば流石。自己責任で運営ということか。

そして、明日か明後日、荒川岳あたりで、南下して来るパーティーとドッキングするという。そんなにメンバーがいるのか?? 凄いことである。

HPを見たら、結構活動は盛ん。吉田大沢でスキーもやっている。まあ文武両道、羨ましい限りですね。いつまでも安全に頑張って、楽しんで下さい!!



8月20日(月)晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月20日(月)06時19分16秒

[編集済](#)

昨日は

河津川本流（上流部）リバー・ウオーキングでした。

天気は快晴。参加は5名。

寒天橋に駐車し、鍋失トンネル先の標高約350mまで下り入溪。ここのところ、雨が少ないので水は多くない。ただ、水はあくまで綺麗で気持ち良い。

中に外に、水と戯れガンガン進む。大きく危険な滝はないので、気持ちは楽だ。仰げば真っ青な空に白雲が流れ、セミの音が賑やか。

久しぶりに参加のIU君は嬉々として、水に遊ぶ。IWさんは、まるで水を得た魚のように元気イッパイ。初参加のHさんは、戸惑いながらも、次第に本領を発揮。M弟は、それらをニコニコしながら見守っていました。

二階滝バス停で12時前に終了し、快適な大川端に下り昼食。今日は、ソーメン・焼き物大会。涼しくて気持ち良くビアの味はサイコー！！。

リバー・ウオークは、夏だけの楽しい山歩きです。





**8月19日(日) 晴・やや涼**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月19日(日)04時08分36秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

昨夜は

涼しかったです。久しぶりに、クーラーなしの夜でした。

夏山合宿で、聖平小屋に着いたら、仲間が「早くしないとビアがなくなってしまうよ」と言っている。

エエ～、山小屋でそんなこともあり～、と思ったが、兎に角、小屋に駆けつけた。

実は、なくなってしまうビアは「訳あり」ビアだった。通常、ショート缶は500～600。その「訳あり」ビアは、250だった。賞味期限が、この3月で切れたビアだった。

その時以前、「日本海オールート」（白馬岳～親不知）をやった時、

白鳥山小屋に2年前くらいのビアがあった。誘惑に勝てず、恐る恐る飲んだが、「美味しかった」！！小屋の日影で変質が少なかったのか？

そんな事を思い出し、半年くらいはどうってことはない、2000ー＝8本、買ってしまった。

味は??、全く問題なかった。美味しかった。1本は北海道のYさんに上げて、7本頂きました??！！



**8月18日(土)曇・27度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月18日(土)06時38分5秒

Sさま

ニックネームは、「諏訪湖」で如何ですか??！！(笑い)  
そうですか、赤石岳東尾根の冬を76年ですか。当然、林道は歩いたと思いますが、あそこは半端ではないですね。行きはともかく、帰りは最悪でしょう。

当時、ここを上るのはなかなかの覚悟だったと思います。  
山岳会は、D山の会ですか??その頃の沼津の山の会は、力があつたのですね。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

夏山合宿で、印象的だったのが、「鹿柵」だった。荒川小屋東のお花畑は、標高が2800mくらいだが、鹿の食害があるという。静岡県でこの作業をしているが、なかなか大変な作業になる。そもそも、ここまで歩いて行くのが大変。何と言っても、南ALPSのド真ん中なのだ。

私も以前、仙丈岳の鹿柵補修に参加したが、雪の被害が大きかった。直系10ミリくらいのボルトが簡単に曲がって使いものにならなくなっていたし、5センチのアンクルが、根元から折れていた。

聖平でも鹿柵があり、柵内と外では顕著な違いがあった。特に柵内のイブキトラノオは、元気だった。鹿が好物なのか？小聖岳の標高約2500m付近には、写真・中の鹿の足跡がハッキリ残っていた。

しかし、大きな山の鹿柵は限度がある。抜本的な対策が必要でしょう。以前、私は「鹿ピル」を提案しましたが……。どうでしょうか？（笑い）



8月17日(金) 晴・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月17日(金)04時45分22秒

[編集済](#)

今日

日記、休みます～す。



聖東尾根

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年8月16日(木)23時28分51秒

聖東尾根は1975年(又は74年か?)のGWに計画しました。3名で車で聖平への登山口まで入山(当時は車で入れたんですね)し、待機していましたが雨が止まず、またその後の天気予報も芳しくないので諦めて帰りました。以来、私の宿題になっているのですが今となってはもう無理ですね。

私の赤石岳登頂は1976年の冬山合宿で東尾根からでした。富士見平に冬天を張ってピストンしました。小赤石岳まで東尾根の稜線を忠実に辿ったと思います(と言うかトレースを辿った)。冬のメインルートで、特に危険な個所はなかったと記憶しています。

8月16日(木) 晴・26度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月16日(木)06時46分44秒

[編集済](#)

昨日

の続きですが、写真・下の右に伸びるのが、聖岳東尾根です。これは、上河内岳から撮影したものです。

左が本峰で右のピークが奥聖岳。奥聖岳直下の急登が東尾根のポイントです。また、本峰から聖平の下りも、凍っているとイヤな所です。夏でも相当の傾斜ですからね。

で昨日、赤石岳は冬上っているが、東尾根はやっていないと書きましたが、記録調べてみたら、荒川三山を往復したようです。

ようです、とは自分のことで随分無責任ですが、兎に角上ったのが、1973年12月29日～74年1月5日と39年前のことで記録が古く、全く記憶がないのです。

当時、荒川岳から見る赤石岳が美しく、その冬の姿を撮影したいと、超重い6×6のゼンザブロニカS2（約2Kg??）を一式持って上ったものです。

荒川岳から首尾よく撮影に成功しましたが、倉庫を調べたら、赤石岳の写真は一枚もありませんでした。当時、全紙に伸ばしましたが、イイ写真は欲しい人に、上げてしまうものです。

話がそれましたが、いずれにしても、赤石岳東尾根はやっていません。何故か??

多分40年前、2人パーティーでここを下るのは難しかったのではないのでしょうか??

それと樫島から畑薙ダムまでの林道歩きは、1日掛かったことを記して置きます。長かったですね～!!これは、ハッキリ覚えています・・・。（笑い）

しかし、荒川岳からの赤石岳は美しい!!です。（写真・上）





1974. 1月撮影

**8月15日(水)曇・25度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月15日(水)08時33分59秒

Sさま

お仕事ですか??辛い人生を送っていますね??!! (笑い)

ネット、見ました。

まあ、上りは何とかかなりそうですが、下りは可なり厳しいでしょうね。

Sさんは、何回も歩いていると言っていましたから、慣れているのでしょうか。

丹沢あたりなり、いざ知らず、ALPSではアクシデントは即、遭難です。

まして、単独では・・・。考えられませんね。ある意味で「超人」で

しょうか??!! (笑い)

[返信・引用](#)

[編集済](#)



今合宿で、聖岳東尾根を見て懐かしく思った。聖岳東尾根は、冬の聖岳バリエーションとして知られる。ここはM労山時代、1978年12月30日～1月3日の冬合宿で上った。

当時の記録を見ると、出合所小屋から上っていた。記録には、タタミもあって綺麗とある。しかし、先日聖沢を下って来たら、この小屋は跡形もなかった。

結局、聖岳の冬は、東尾根・聖平・便ヶ島から、3回上った。

そして、南アルプス冬山バリエーションは、聖岳東尾根、間ノ岳弘法小屋尾根～北岳、仙丈岳地藏尾根～甲斐駒、仙丈岳～塩見岳のいわゆる仙塩尾根、鋸岳～甲斐駒、甲斐駒・坊主尾根を上った。

(甲斐駒・日向八丁尾根、塩見岳・蝙蝠尾根は未登。赤石岳は上っているが、冬の東尾根は未登)

南アルプスの3000mバリエーションは、手頃なルートが多いです。しかし、未登ルートは、今後も上れそうもありません。やり残した宿題ですが・・・(笑い)

写真・下＝正面が聖岳。左に伸びるのが東尾根。

・中＝東尾根を上ると、奥聖岳に出る。





すごい人だ！

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年 8月 14日(火)21時 48分 36秒

盆休みですが現地工事は続行していて交替で行っています。今日は私が当番でした。

いやはやこのSさんという人、すごいですね。赤石沢を単独で遡行してさらに伊奈側に下山ですか！？私は伊奈側は冬の入山口である戸台（甲斐駒、仙丈）と塩川土場（塩見）しか知りません。したがって百間洞露营地と百間平の途中から福川沿いに下るこんなルートはまったく知りませんでした。ネットで調べたら以下のサイトを見つけました。

<http://kaikom.blog61.fc2.com/blog-entry-24.html>

それにしてもこのSさん、とても私と同年配に見えないですね。年を取ることを完全に拒否していますね。私も見習ってロン毛・茶髪にしましょうか？おっとそれには毛が足りない・・・tohoho

8月14日(火) 雨・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 8月 14日(火)06時 54分 56秒

[編集済](#)

夏山合宿

で、百間洞山の家で赤石沢をやった方とあった。

東京のSさんで、50代後半の方だった。

すでに、単独で何回かやっているそうだ。格好が奮っていた。キムタク並みのロング茶髪で、とても山屋に見えない。

特に山岳会には入っていないとのこと。下山道を聞いた。赤石沢の場合、一般道を帰ると、3000mの赤石岳か聖岳を越えなければならない。これは沢屋にとって「苦痛」の他ない。

彼の下山道は、百間洞山の家すぐ上の北から、大鹿村・小渋川の広河原小屋に下る廃道を利用して、3000mを越えることなく下山するという。地図を確認すると確かに廃道だが、近年まで利用していたようだ。

この道を利用しても、百間洞山の家から伊那バスが通じる道路まで、約10時間程度。考えようによっては、3000mを越えた方が楽???かも知れませんが、とにかく、Sさんに敬意を表した次第です。

写真・中＝赤石沢源流



8月13日(月)曇・蒸し暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月13日(月)06時30分46秒

[編集済](#)

ヨーロッパ・アルプス

のまとめ

ツアー＝今回は観光旅行だったが、2回ハイキングがあった。

観光旅行だけでは飽きる。

今回はツェルマット・サンモリッツで連泊したが、連泊があると楽だ。

同じ行程のツアーでも、安いものは連泊がなかったり、トランクを部屋まで届けたり、持ち出すサービスがなかったり、食事がなかったり、電車の等級が違ったり、内容が微妙に違う。若ければ良いが、年齢を重ねたら、余り安いツアーは、止めたほうが無難ですね。

山＝登山で1回、スキーで1回。今回3回目のヨーロッパ・アルプスだった。最初の登山から20年経った。

モンブランは相変わらず、大きかった。モンテ・ローザの苦しい登山を思い出した。マッター・ホルンは、見事に秀麗。

氷河はやっぱり後退していた。ベルニナ山群で、看板の写真と実際を比べると、二割がた後退の印象だった。

アルプス最大のアレッチ氷河も薄い所が随分目立った。しかし、アルプスは素晴らしい。

残念だが、やっぱり日本の山とは違う。氷河が多少後退しても、山の素晴らしさは変わらないだろう。我が青春のアルプスよ、永遠なれ！！

写真・上＝アレッチ氷河、中＝アイガー北壁、下＝マッター・ホルン





## 8月12日(日)曇・蒸し暑

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月12日(日)08時04分53秒

Sさま

ああ、そうでした。北西稜でしたね～。自分が上ったところを間違っではいけません。(笑い)

お恥ずかしい記録です。正に「重箱の隅をつつく」って感じでしょうか??!!

そんな記録集があるのは知りませんでした。流石はSさんですね。

昨日は、Mさんと三重の方12名を連れて富士山でした。心配された天気は朝霧→午前晴れで良かったです。

全くの素人でしたが、Mさんの努力もあり、全員剣ヶ峰登頂を果たしました。

まあ、素人を富士登山に連れて行くのは、なかなか大変で辛抱がいる仕事です。

山は案外と空いていました。盛期はこれからでしょうか。



## 阿弥陀岳北西稜フランケ

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年8月10日(金)22時56分17秒

G様

こんばんは。連日仕事、仕事で汲々としています。「気の毒に・・・」なんて言われそうですね。

ところで阿弥陀岳北西稜（南陵ではないですね）フランケ冬期初登攀のことは「日本登山史年表」に載っています。この本は「山と溪谷社」が2005年に発刊した「目で見ると日本登山史」の分冊（セットでの販売）です。

私の若かりし頃、冬に八ツに行った際、岳樺同志会の先輩が阿弥陀を指差して「北嶺がああ側壁を初登攀したんだ」と言っていたのを覚えています。Gさんはその時のメンバーだったんですね。

2日掛かっているようですが一旦ベースまで下りたんですか？初登攀記録があるなんてすごいなあ…

そうですね、百名山を全て冬に登ったという人はまだいないでしょうね。でも恐らくその内に「やりました」なんて輩が出てきそうです。それはそれで褒め称えるべきことだと思います。

1999	昭和44	12.30～	八ツ岳、阿弥陀岳北西稜 フランケ・冬期ルート（初登 攀・積雪期登山）	尾瀬湖、遠山山頂、 山本山頂（山上の展望 行前）	北嶺と南嶺にABCを付けて登攀。7Pで北西稜上 部に登攀。ルートで本登山。積雪の多い人工とフリ ーのまっさらな。山と溪谷社30号に掲載の解説	山と溪谷社「目で見ると 日本登山史」分冊 （全巻10冊） 山と溪谷社
------	------	--------	--	--------------------------------	--	---

## 8月10日（金）晴・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年8月10日（金）05時29分37秒

[編集済](#)

Sさま

連日の投稿、ありがとう御座います。「山を考える」は、私も昭和41年9月10日発刊の初版本を持っています。当時の価格で450ーです。

私もそんなに自慢できる登山はやっていませんが、八ツ・阿弥陀岳南稜フランケを「冬期初登」しています。（笑）山溪にも掲載されました。ほか、北岳バットレス・八ツ大同心・甲斐駒摩利支天は、冬期上っています。南・北アルプスの頂きは、冬期殆ど上っています。槍の冬は2回上り、北鎌もやっています。

こうして考えると、今の日本で「冒険的登山」を希望するなら、「冬期登山」以外ないでしょう。冬はまだ未知的要素はあります。よく、日本百名山を総て上ったと自慢する輩がいますが、私に言わせれば、「夏」でなく「冬」上れば、本来の登山としての価値があると思います。そして、私の知る限り、冬総てやって方はいないと思いますが・・・。

まあ、諸外国の様に日本には「残すべき自然には一切手をつけない」思想がありません。人数を制限したり、車道は作らない、トイレは持ち帰るなど、徹底したエリアがヶ所くらいあっても、良さそうなのですが・・・。その辺が残念ですね。

今日午後～明日、M氏と富士山ボランティアガイドです。



### 「山は死んだ」再読しました

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年8月9日(木)23時58分11秒

こんばんは。

「山は死んだ」っていつか読んだ気がして、本棚から本多勝一著「新版・山を考える」を引っ張り出しました。「山は死んだ」は、この本の一節でしたね。本多氏はここで以下のよ



うに述べているようです。

1. 本来の登山は「誰もやらないからやる」的な内部指向型であった
2. しかしエベレスト初登頂によって山に於けるパイオニアワークは終了した
3. したがってその時点で「山は死んだ」
4. エベレスト以降は「みんなが登るから」式の他人指向型である

なるほどね。ちょっと狭量気味ですが、この過激な文章を本多氏は31才時に書いています。すごいなあ。

「山は死んだ」は大げさな言い方としても確かに日本には「秘境的山域」が殆どなくなりましたね。幸か不幸か私は、Gさんよりも少し後を歩んでいますし、そういったことに「郷愁」を覚えるような厳しい登山をやってこなかったのも「山は死んだ」という実感がありません。本多氏的に言えば初めから「死んだ山」に登っているのかも知れません。

それを自覚したのは若い頃でした。やっと憧れの穂高・剣・北岳の岩場を登れるようになって喜び勇んで行ったらそこはハーケンが連打されており、持参したハーケンを打つようなリスはまったくくないことに大いに落胆しました。遅れて生まれたことを残念に思いました。でも今考えると当時の日本にも未踏の壁はあったし、世界に目を向ければ未踏峰もまだ一杯あったわけです。本当はまだ「山は生きていた」かも知れません。単に私の世界が狭かっただけでした。

何を言いたいのか良く分からなくなりましたが、不便なら便利さに憧れ、便利だったら今度は不便さに憧れる。無い物ねだりは人間の性（さが）ですね。また教えて下さい。

8月9日（木）晴・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年8月9日(木)04時11分9秒

[編集済](#)

Sさま

ご意見、有難うございます。「山は死んだ・・・」ですか??!!

まあ、勝手な「郷愁」と受け取って下さい。

日本では、もはや「秘境的山域」は、剣岳北方、北海道日高・知床、南ア南部、かろうじて朝日・飯豊でしょうか??

でも、ビアよりも、快適な山小屋より、「何もない山」が好きですし、それが無くなっていくのは、残念です。

下界と同じで、一度そのようになると、後戻りは出来なくなりますね。

今日は、8月度・伊豆巡礼です。



## 追伸

[返信・引用](#)

投稿者 : S 投稿日 : 2012年8月8日(水)23時48分48秒

蛇足ながら、

> 「山ガールが単独」で上る山になった。本多勝一氏ではないですが、「山は死んだ」かな～

ではなくて「山は生まれ変わった」んじゃないでしょうか？そう考えないと南ア南部の小屋で浴びるほどのビアは飲めない（売ってない）ですよ。hahaha

投稿者：S 投稿日：2012年8月8日(水)23時27分23秒

こんばんは、Sです（このSって何か変ですね。いつか変えようと思います）。

デジブック上下2冊、拝見しました。山の雰囲気存分に伝わってくる素晴らしい写真ばかりだと思いました。特に荒川中岳南面のあの広大な花畑は知り合い全員に見せたいものですね。

鹿よけの柵は毎夏、ボランティアの方々が設置し、雪が降る前に撤去するらしいのです。昔は鹿はこんな高山には登ってこなかったらしいのですが明確な理由は不明ながら今はこんな高所まで来て柔らかい高山植物を食べるのだそうです。マルバダケブキ（丸葉岳蓴）は彼らの好みでないらしく生き残っているんだそうです（全て耳学問です）。

ご存じの通り、昔々南ア南部は熟達者だけの山だったそうです。小屋は全て素泊まり自炊だし、伝付峠越えや畑薙ダムからの林道歩きでアプローチが長いのがその理由ですね。私は若い頃は無雪期にこの方面に入ったことがありませんでした。雪のある時期に無人小屋泊まりか冬天泊でした。

私にとっては1999年8月に赤石岳～荒川～千枚に行ったのが初めての無雪期でした。新装なった赤石小屋に2食付きで泊まりました（旧の小屋は素泊まり用になっていました）。山ガール時代の前ですから小屋は当然中高年 only でした。

13年前のこの時点で既に南ア南部は熟達者だけの山ではなくて手軽に登れる山になっていました。これは喜ばしいことだと思いました。そして深田久弥が悪沢岳（荒川東岳）も百名山に選んでくれたことを感謝しました。なぜなら百名山であるからこそこの主稜線から離れた名山が赤石岳や聖岳と同格に扱ってもらえるからです。

ついでに言えば、赤石岳や聖岳のように長野・静岡の県境にある山ではなく、完全に静岡県側にあるこの山を長野県側の沢である荒川の名で呼ぶのを阻止したいのです。ここは由緒正しく悪沢岳（静岡県側の沢である悪沢の源頭の山）とすべきだと思います。どうでも良いことですがいかがでしょうか？

**8月8日（水）曇・やや涼**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年8月8日(水)05時31分39秒

Sさま

ご投稿、有難うございます。日程が合えば、ご一緒したかったですね。

荒川三山は、私が初めて上った3000mの山です。1966年8月、私は19歳でした。

当時は畑薙からのバスなど勿論なく、身延からバスで新倉まで行き1日かけ伝付峠（でんつくとうげ＝当時の表記・・・現在は不明）を越え二軒小屋に降りました。

（この表記の件では、現在、マンノ一沢頭になっているのは、昔は、

マンボーの頭と呼んでいた)

当時、二軒小屋は、本当に粗末な掘っ立て小屋で、山小屋というよりほとんど「飯場」状態でした。元々、林業の基地が山小屋になったので、まあ、そんなものでしょう。

千枚小屋・荒川小屋・赤石小屋・百間洞山ノ家・聖平小屋も随分立派になり驚きました。

それに何より「登山者が多過ぎる」ことが、ちょっと……。

結局、帰りのバスの中で隣の方と話しましたが、「バスサービス」が一因でしょう。

昔は南アルプスに上る輩は「変わり者か偏屈か浮浪者(??)」ぐらいでした。

それが、今は「山ガールが単独」で上る山になった。

本多勝一氏ではないですが、「山は死んだ」かな～ですね。

(笑い)



## お疲れさまでした

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年8月7日(火)23時03分35秒

素晴らしい山行だったようでご同慶の至りです。小屋泊まりも正解ですね。「百間洞山の家」は昔の古い小屋しか知りません。建て替えて（と言うか南ア南部の小屋は殆どが建て替えられた）きれいな小屋になりましたね。

## 8月7日(火) 晴・25度

[返信・引用](#)

投稿者：たか 投稿日：2012年8月7日(火)05時54分45秒

[編集済](#)

夏山合宿

8月3日(金)～6日(月)、荒川岳～赤石岳～聖岳(ひじりだけ)から帰りました。天気は全行程晴れ。参加は5名でした。

3日＝下土狩発2時半。畑薙着6:50。臨時バスですぐ出発。8時、樺島発。14時、千枚小屋着。

4日＝今日の行程が今回一番厳しい。4:30発。千枚岳のお花畑が素晴らしかった。東岳(3141m)着6:35。ここから荒川小屋を経て、赤石岳(3120m)を越えて、14:05、百間洞山の家着。夕食の特大トンカツが美味しかった。ここはステキな小屋です。

5日＝今日は昨日に比べれば楽。小屋発4:45。まず、聖岳を目指す。兎岳でバニーポーズ。(写真・下)ここの全山「タカネピランジ」は、「凄い」の一言。(写真・中)大きな聖岳を越えて(写真・上)聖平小屋着。ここでM労山のY、N労山のUさんに会った。我々とは逆コースとのこと。

6日＝小屋発4:30。4時間半のコースを3時間半で8時のバスに乗って畑薙駐車場着。白樺荘で入浴し、長い合宿を終えた。皆さんの、努力・奮闘・精進にビアで乾杯でした。



8月3日(金) 晴・暑

投稿者：たか 投稿日：2012年8月2日(木)19時42分26秒

夏山

合宿で、しばらく日記休みます。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

サン・モリッツの街には、犬のウンチを入れる（捨てる）  
「ウンチ・ボックス」があった。  
流石は、一流の観光地とおもったが、飼い主の義務は如何に。

ここまで、やりますかね～??!!（笑い）

（この日記は、2日夜書きました）



**8月1日（水）晴・やや涼**

投稿者：たか 投稿日：2012年 8月 1日(水)03時22分41秒

今日は

8月度・伊豆ウオーキングです。  
伊豆高原から稲取を歩きます。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

写真は、メンヒ（4107m）とアレッチ氷河を俯瞰





7月31日(火) 晴・やや涼

[返信・引用](#)

投稿者：たか 投稿日：2012年7月31日(火)05時26分22秒

今日、

日記、休みます。



7月30日(月) 晴・暑

[返信・引用](#)

投稿者：たか 投稿日：2012年7月30日(月)12時07分19秒

昨日は

金時山で歩荷訓練でした。コースは、御殿場線・小山駅～足柄峠～北尾根～金時山～新柴コース～足柄駅。天気は、晴。参加は6名。荷重量16Kg。

北尾根下で、早くも「アサギマダラ」を見ました。この蝶はイイ感じです。

(写真は、Hさん提供です)



**7月29日(日) 晴・暑**

投稿者：たか 投稿日：2012年 7月 29日(日)04時 28分 40秒

今日は

夏山合宿の歩荷訓練です。日記は休みます。

[返信・引用](#)



7月28日(土) 晴・27度

投稿者：たか 投稿日：2012年7月28日(土)06時34分31秒

開会式は

ちょっと冗長ですね。やや退屈です！！

[返信・引用](#)

[編集済](#)

山の花＝アルプスの花は、日本のそれとさほど変わらなかった。

キンポウゲ・白山イチゲ・トラの尾・ジャコウソウ、  
リュウキンカ・リンドウ・シオガマ・ヤナギランなど  
など。

ただ、標高が3000m以上になると、花が小さく  
よく観察しないと、実体感が乏しい。

グローブフラワー（ハイジの花とか）・オキナグサ  
（北岳草みたいなもの）・マルタゴン（紫色の車百  
合的なもの）など、前々回・前回見なかった花も  
観察出来た。

1991年に行った時は、8月中旬だったので、上部が  
花盛りだった。モンテ・ローザ氷河の岸に延々と咲いて  
いた。また、エーデルワイスも見た。8月は上部がいい。

2006年は、春5月だったので、下部のテーシュ〜ツエ  
ルマット間の登山電車脇の草原の花が凄かった。また、ツ  
エルマット〜マッターホルンのハイキング道もサイコー  
だった。

ただ今回、残念だったのは日本にある花に和名が付いていないことだ。  
図鑑を買おうかと思ったが、総て向こうの名称。これでは  
覚えても面白くない。改善を期待したいですね。

写真上＝一見、ミヤマムラサキっぽいのが、忘れな草とか。

中＝一見、北岳草っぽいのが、翁草の仲間とか。

下＝リュウキンカでよいそうです。





**7月27日(金) 晴・28度**

投稿者：たか 投稿日：2012年7月27日(金)10時02分12秒

今日は

昨夜のサッカーで「時差ボケ」です。しかし、永井は素晴らしい、イイですね～！！

鉄道(続き)＝次に乗ったのが、ツェルマット～サンモリッツ間の「氷河特急」。8時間はちょっと長いですが、車窓の風景は飽きない。昼食も美味しい。一度は乗ってみたい電車です。

最後は、世界遺産に登録されているベルニナ鉄道。今回乗った電車では、ここが一番良かった。ここの売りは、なんち言っても、標高2330mのベルニナ峠越えである。電車は、氷河に削られた

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

幅広いU字谷を右に左にゆっくり上って行く。峠越えを可能にしたのも、このU字谷だろうか。

日本で言えば、標高は大分違うが、谷川岳の上越トンネルでなく、蓬峠（1529m）を越えるような感じだろうか。

イタリア側も凄い断崖をジグザグ、またはグルグル回りながら進む。地盤がシッカリしているので、なせる技か。

しかし、それにしてもスイスの鉄道技術は驚異だ。

イタリア・ティラノ近くには、有名なブルジョオのループ橋を渡る。

これがここの鉄道のハイライトです。でも、回りの田園風景も絵葉書の様でサイコーです。（写真・下）





## 7月26日(木) 晴・暑

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月26日(木)10時31分31秒

昨日は

7月度・第4回富士山ウオーキングで、花の都公園～河口湖  
でした。参加は22名。天気は晴で暑かったです。

鉄道＝スイスの鉄道は「凄い」の一言です。まず、乗ったのが  
ロートホルン鉄道。この鉄道は、マニアのあこがれだそう  
です。

この鉄道の最大の特徴は、「蒸気機関車」です。「蒸気  
機関車が、急坂をシュシュ押して行きます。最大傾斜は  
250%。つまり1000mで250m上る！！(写真・1)  
標高差は1678m。正直怖いです。ちなみに日本最大は  
大井川鉄道で90%だそうです。

次に乗ったのが、ユングフラウ鉄道で、アイガー北壁をぶち  
抜いて、ユングフラウヨッホ駅まで上る鉄道は、日本でも  
馴染みが大きい。ヨッホ駅の標高は、3454mで富士山の  
九合目と同じ標高。ヨーロッパALPS最大のアレッチ氷河が  
みられる。上った日は快晴で、氷河に沢山の登山者が歩いて  
いました。

この項、つづく。

[返信・引用](#)

[編集済](#)





7月25日(水)晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月24日(火)20時56分29秒

[編集済](#)

いや～、

イチローの移籍は、驚きました。そして、あの「涙」に感動でした。アメリカは単純に悪くない国ですね。

夕食の追記です。

食事＝チーズポンディューを食べたが、アルコールが強くて、全く美味しくなかった。6年前、ツエルマツトからマッターホルンに向かうハイキングで、道々レストランがあった。その道は、なかなか素敵で、礼拝堂もあって、隠れた穴場だった。そのレストランで頂いたチーズポンディューは美味しかった。季節は5月だったが、あれは寒い時期、フーフー言いながら食べるのが、本来ではないだろうか??!!

飲み物＝ホテルは朝食以外、食事の際は必ず飲み物を聞きに来る。水でもジュースでアルコールでもイイらしい。有料のものを取るのが礼儀らしい。(水も有料。ヨーロッパは、過去二回行っているが、山なのでホテル生活は疎いで、昼でもビアかワインをいただいた。ビアは中ジョッキが4～6SFくらい。ワインはグラス半分でやや高い。料理の味が強く濃いので、ビアが欲しくなる??!!日本酒は1ヶ所、ツエルマツトであったが、何と100CC10SFだった。余りに高いので辞めました。

物価＝スイスの物価は概して高い。一番ビックリしたのが、オニギリで2ヶタクアン付きで8SFだった。勿論、買いませんでした。水道水は硬水なので、ミネラルウォーターを飲むが、250mlが、2.5SF～5SFとバラつきがある。駅のキヨスクは、高かった。同じものがイタリアでは、1ユーロだったりする。

スーパーは、コープが多いが、ここでもビアはロング缶が安いものは、0.7SF。発泡酒だが、味はまあまあだった。ただ、サンドイッチが、4SFとか、馬鹿高い。ランチも大体30～50SFと目が飛び出る価格だった。その分、給料も高いらしい。(街ガイドの旦那が大学の教授で、その情報)



7月24日(火) 晴・22度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月24日(火)05時02分13秒

気温は

朝4:30の気温です。今朝の体調は、全開ですね。(笑)

食事＝食事は、いつでも、どこでも海外旅行で一番の問題だ。

ヨーロッパの山の場合、特に悪い。朝はカビ臭い硬いパンとジャムと、ぬるい湯が置いてあるだけ。山小屋の人間は誰も起きてこない。寝ている！！

旅行の場合、そこまではないが、日本食に比べれば概して簡素。朝は種類が多いパンとバイキング形式が多い。サラダは、ない場合が多い。他、ソーセージ・ハム。ソーセージは、概ねショッパイがハムは美味しい。他、スクランブルエッグに牛乳・ジュース。茹で玉子は、時々ある。某ホテルは、生卵が置いてあり、自分の好みの硬さに茹でる。しばらく置いとくが、そのうち誰のものか分からなくなってしまった。(笑)

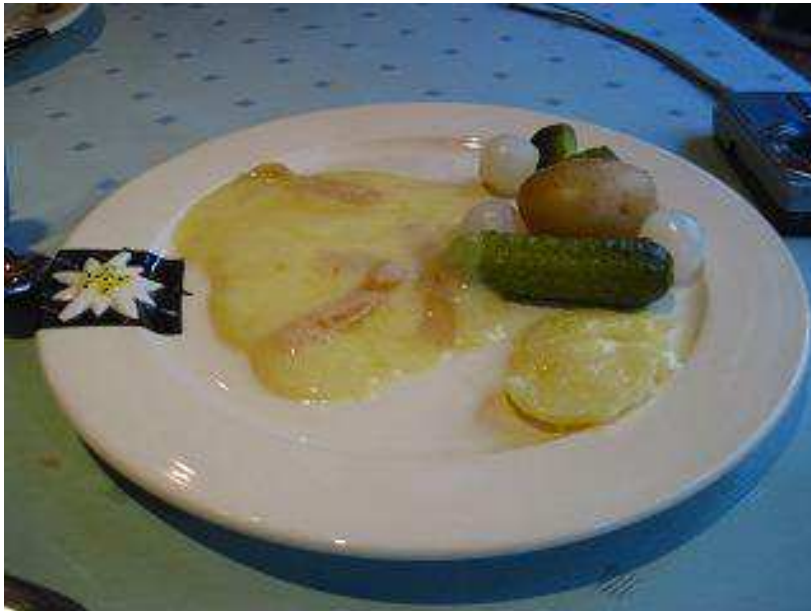
昼食＝昼食は、肉料理が多く閉口してしまった。山頂レストラン＝味がキツイ。アルペン・マカロニ＝しょっぱい。魚料理＝まあまあ。おにぎり＝ハイキング時でまあまあ。氷河特急内＝美味しかった。(写真・下)・・・これはお勧め。チキン＝イタリア・ティラノにて。ここチキンは、薄味で美味しかった。ただ、スパゲッティは、イマイチ。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

夕食＝前菜はスープが多い。その後、メイン料理だが、やっぱり肉料理が中心。これにビアかワインが加わる。デザートは、甘いアイス・クリーム的なものかあんみつ的のが多い。いずれにしても、ボリュームがあり、味が キツイので辛い。特にスイスは塩分が強い。フランス・イタリアは流石に良い。一度だけ、日本料理のリクエストがあった。ソバを食べたが、まあまあ美味しかった。もっともテンプラは、最悪でした。

海外で日本と同じ食状況を望むのは、所詮無理。そこの食文化を経験し楽しむことでしょうか。しかし、あの味・量・甘みは日本人にはツライものがあります。



時差

ボケは、今朝は大分、改善されました。

やれやれ。

昨日の追記です。

ホテル＝向こうの4ツ星ホテルで「緊急避難路」がないところがあった。

添乗員に正したら、受付から上がる普通の階段を使ってくれとの事。火災の際、出火場所もあるが、中央のメイン階段が一番煙が通る可能性がある。三階で窓下に逃げるのは無理。大手、会社でこの有様だから、安いツアーは、更に心配である。

チップ＝チップは、日本人に馴染みがない習慣で良く分からない。添乗員曰く

「本来の仕事以外の頼みごとをしたら、1スイスフラン（約90-、または1ユーロ約100-）やってくれとの事。

しかし、その説明も次第に不明確になり、例えば、食事の際の飲み物の会計事、会計が3.8スイスフランだったら、半端の2SFはチップにしてくれに変わった。

向こうの飲み物会計は、食事後、係りが大きな財布を持って各自に集めに来る。しかし、それは「本来の仕事のハズ」。だからチップはいらない、と思う。

それは最初の説明と違うを指摘すると、半強制的だったのが、任意でいいに変わった。

最初から任意なら好意的になるが、強制的だと反発するのが人情（私だけ??!!）

結局、半端が少ない時は上げたが、皆さんもマチマチだった。添乗員は今後も同じホテルを使うので、イイ顔をしたい。その辺の事情もあるようだ。

どうも、チップはスッキリしないですね。





7月22日(日)曇・21度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月22日(日)02時02分9秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

今日は

昨日以上、最悪です。要するに時差ボケは、ヨーロッパでも同じだが、向こうでは忙しいので眠くても寝れない。日本では、ヒマだから、昼間寝てしまう。すると夜、寝れない訳である。

昨日の追記です。

ホテル＝ドライヤーは持参したが、総てのホテルであった。

ただ、掃除機みたいなドライヤーだった。が、風・温度は問題なかった。(写真1・2)

ドライヤーを持参した場合、向こうのコンセントは差しこみが、日本と形が違うから、変換器を持参しないと使えない。(写真・3)

最後に泊まった、サンモリッツのホテルは、ベッドから、大きなガラス越しに、浴室がまる見えで、ラブホのようだった。

ほか、枕がフカフカのヤツで、あれではとても寝れま

せんね。(笑)

入国＝イタリアもちょっと行きました。ここも観光客は、「プ  
リーズ・スタンプ」でも、全く駄目。  
ちなみに、そもそも係官が「居ること自体が」珍しいこと  
だそうです。(本来、居て当然なのですが)  
イイね～、イタ公は、大ざっぱで！！



7月21日(土)曇・21度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月21日(土)08時03分55秒

[編集済](#)

今朝は  
時差ボケでモーレツに眠いです。

昨日の追加記事。

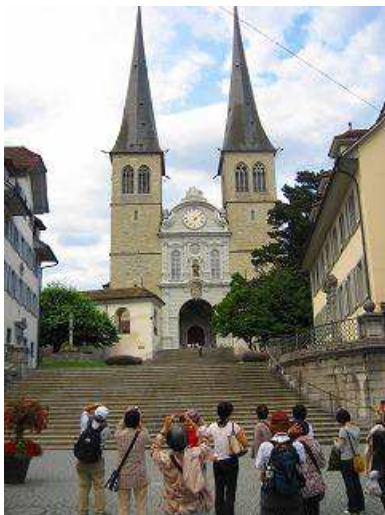
飛行機＝飲み物は、ビア（ハイネッケン）・ワイン（スイスワイン）  
ジュースなどは、飲みただけ無料で飲める。ただ、日本  
酒はなかった。（笑）しかし、興奮しているせいか、毎回全く  
酔わないのは何故??

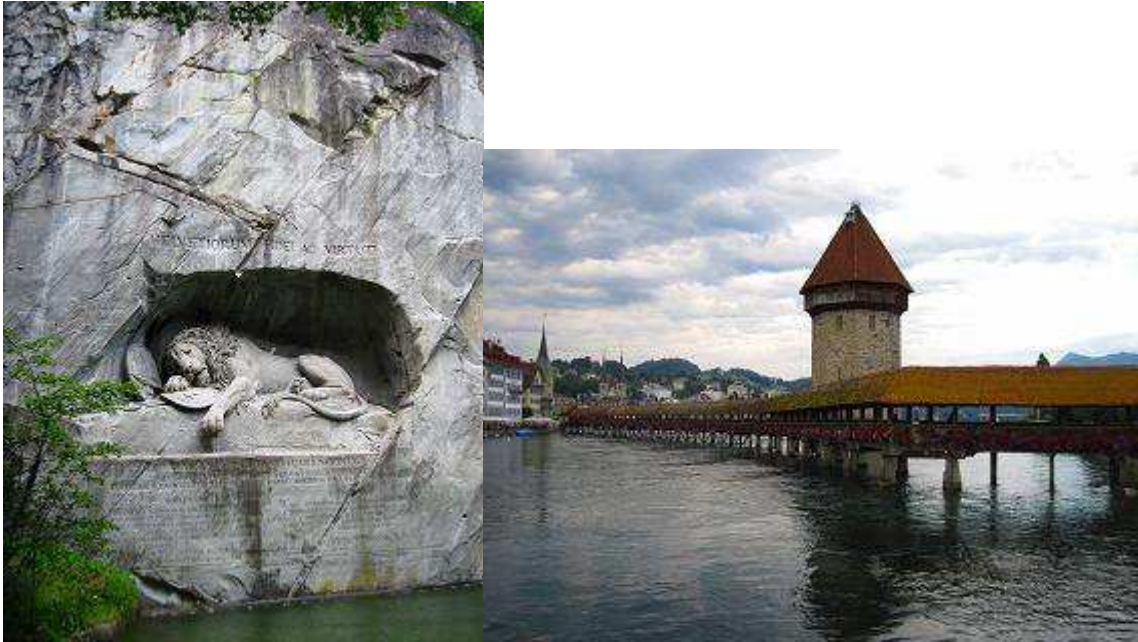
入国＝審査は五月蠅くないが、担当がいかにも素人っぽい黒人で  
何かと時間が掛かった。20年前は、全く審査なしで入国。  
スタンプも押してくれないので、「プリーズ・スタンプ」で  
捺印して貰った。これは私だけで、パスポートの記念になった。

空港＝チューリッヒ空港は、大きくなっていた。無人の地下モノレール  
で移動し外に出たが、6年前どうだったか全く記憶がない。荷物は  
簡単に出て来た。警備も穏やかだった。

街＝チューリッヒの街は美しい街の印象が強く残っている。300年前  
の大きな時計台がまだ動いているし、大きな教会も出入り自由。  
今回はすぐバスで、ルツェルンの街に移動した。（写真）  
ここも美しい街だった。ただ、今回どこでも、日本人が多くて外国的  
でなかった。しかし、不思議な事に、中国・韓国系が全くいないこと  
は意外でした。まだ、欧州はこれからだろうか??

ホテル＝ホテルは、四つ星が多く、静かで清潔だった。た。意外  
だが総てのホテルで「ウォシュレット」でなかった。四国  
の民宿も全くないが、トイレは四国並み??





7月20日(金) 雨・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月20日(金)08時24分35秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

ふ～、

10日振りの、お茶・ワカメのみそ汁・キュウリのオシンコ・納豆・ノリ・温かいご飯が美味しかった。

グリンデルワルト・シャモニ・ツエルマット・サンモリッツを旅して昨日帰国しました。

ヨーロッパは、登山で20年振り、スキーで6年振りの3回目でした。

以下、見聞記をしばらく続けます。

出国＝成田発10：25の飛行機。当日発は新幹線一番でも成田着8：40位。集合は、8：30。遅れると迷惑を掛けるので、前日発、成田泊まりとした。沼津駅北口発富士急バスは、片道4500円と安く快適。宿泊の成田東横インは、ツインで7000円と安く快適。

飛行機＝チューリッヒまで12時間は長く苦難の旅。何回行っても嫌な飛行機だ。ただ、スイス航空の機内食は、以前と違い日本人向けでよい味だった。(写真)

席は後ろだったが、後席は寒いが前席は暑く、機内温度差が大きい。



時間差=ヨーロッパとの時間差は7時間。今、日本時間8時なら、向こうは夜中の1時。毎回、時差ボケは、はなはなしく眠くて仕方がなかった。オリンピックの選手も大変ですね。



7月9日(月)晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年7月9日(月)06時05分53秒

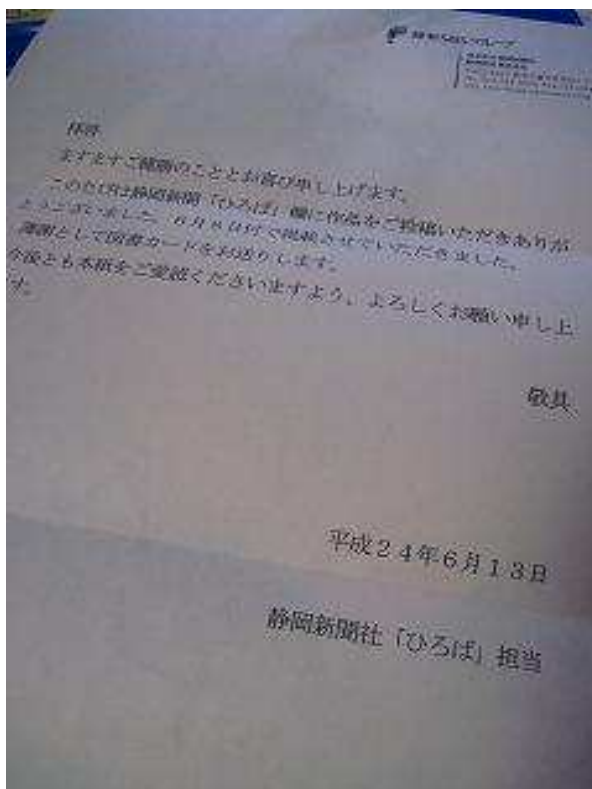
[編集済](#)

先日

の静岡新聞「ひろば」投稿掲載で静岡新聞から薄謝で  
図書券1500-が贈呈された。

朝日新聞は2000-くらい。まあ、文句を言って謝礼  
だからいいだろうか??

しばらく、留守で日記は休みます。



7月8日(日)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月8日(日)05時50分52秒

[編集済](#)

伊豆

巡礼で、南伊豆町・二条に来たら写真の綺麗な風車が回っていた。

ここにはテニス・コートがあって、来た時は休憩をする。

今回、初めて見たが聞けば、「木村松峯」さんの作品だそうです。

風車は沢山見ますが、これはなかなかのものでした。

木村さんは、書道家で店を覗いたら何と、1000万するという作品が置いてありました。しかし、この作品は余りの「傑作」で、我々凡人には、理解出来ないものでした。

ともあれ、この風車は、ちょっと飾ってみたいものだと思います。販売していて、4つで500-だそうです。全部揃えるには、少し掛かります。



7月6日(金) 晴・25度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月6日(金)07時47分3秒

[編集済](#)

伊豆

ウォーキングで、城ヶ崎・自然研究路の途中で「ゴーゴー」  
凄い音が聞こえた。

見ると伊豆高原から直線的に急な川が流れ、直接海に滝と  
なって落ちていた。川は対島川(たじま)で滝は、対島の滝。  
このような滝は知床のが有名だが、この辺りでは見たことが  
ない。

普通の川は海岸に流れる場合、台地が浸食されて滝にならない。  
城ヶ崎の場合、熔岩台地だから、台地が浸食されず、滝として  
残っているわけ。

今度は、遊覧船で海から仰ぎたい。相当の迫力でしょう。



7月5日(木) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月5日(木)03時30分8秒

[編集済](#)

昨日は

7月度・伊豆ウォーキングで、汐吹崎～城ヶ崎海岸・  
対島の滝でした。天気は小雨から晴れ。参加は34名。

城ヶ崎海岸の蓮着寺に寄りました。日蓮さんの像がリアル  
で美しかったです。

今日は、7月度・伊豆巡礼です。



7月4日(水) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月4日(水)03時34分47秒

[編集済](#)

先日

金時山で会ったサイクラー。頂上から、新柴(あらしば)ルートを降りたら、下から上って来た。

何処に行くのか聞いたら、乙女峠と言う。林道に行くのを間違えて、登山道に来てしまったようだ。では、下の林道まで一緒に行きましょうで、案内した。

しかし、自転車はマウンテン用でなく、タイヤが細い一般道のもの。舗装の林道を走りたいので、これでイイと言う。自転車は約10Kgだそうだが、ご苦労様。

下の林道に着き、意気揚々で走り去った。地図・磁石もなく(自転車にはGPS装着・・・範囲が狭く全体を把握出来ない)困ったものです。

住まいは、京浜地区らしい。毎週、林道を走っていると言う。まあ、いろいろの方がいるものですね。



7月3日(火)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月3日(火)02時04分56秒

[編集済](#)

Sさま

投稿、ありがとうございます。  
深夜、ご苦労様でした。。。。。

昨日、朝日新聞静岡総局に再び電話し「訂正文」掲載を  
お願い(要求)致しました。  
返事は、社内で検討し対応する、とのことでした。

新聞は時々、分かったようなことを平気で書きます。  
以前、5月剣で遭難した時、「アイゼンを履いていなかった」  
と書かれました。  
5月の山は、雪が腐り時として、アイゼンを脱ぐ場合があります。

しかし、事情を知らない一般読者は、遭難は「アイゼン未使用」が  
原因だと思います。  
それに、友人が抗議して「訂正文」を掲載させた事があります。  
分かったような事を書くな、と言いたくなる一幕です。

ただ、今回の場合は、事実誤認というより、ちょっと違うもの  
を感じます。  
電話でやり取りの中で、「登山届を徹底させたかった」ような  
語意を感じたが、それとこれとでは、違うのではないかと。

遭難事故報道に乗じて、性格の異なる記事掲載は、本末転倒・  
玉石混淆(ぎょくせきこんこう)である。

写真・上=先日、見た富士登山の若い衆。前夜、9合辺りで  
ビバークで寒かったと話していました。でも、  
元気イッパイでした。



## 朝日新聞の記事

[返信・引用](#)

投稿者 : S 投稿日 : 2012年 7月 2日(月)23時 11分 55秒

こんばんは。

記事、読みました。そして呆れました。そもそも「山開き」という言葉が曖昧ですね。私は「山開き」とは観光行事の一種だと思っていました。端的に言うと「山小屋開き」だと思っていました。

しかしネットで検索すると徳久球雄先生の記述が見つかりました。それによると昔々、高い山は四季を通じて山伏や僧だけが登ることができる場所だったそうです。それが江戸時代中期から「講」が盛んになったので山を一般人にも期間を決めて解放するようになったのだそうです。その期間の初日が「山開き」だそうです。

つまり「山開き」とは一種の宗教行事のようなものです。何の法的拘束力も存在しないと思います。まして我々登山愛好家は、信仰で山に登るのではなく、専ら趣味として山に登るのであって「山開き期間」などまったく意味のないことです。



また計画書未提出云々もおかしな話です。「山開き」前に山に登っていけないと言っているのにどこに計画書を提出すれば良いと言うのでしょうか？まったくの自己矛盾です。

新聞記事にはありませんでしたが想像するに、この38才の登山者（本当はこのような手合いを登山者などと言いたくない）は、恐らく残雪期の富士山がどんな様子かを知らず（知ろうともせず）、またピッケルもアイゼンも持ってなく、さらに雪山の経験も無いに等しい人物だと思います。責めるべきはこの点（計画・装備・経験）であり、「山開き前」とか「無届け」などはまったく見当違いの論調だと言えます。

我々が見知っていることが新聞記事になるとおよそ「事実とはちょっと違う」という内容になっています。それが記者の突っ込み不足なのか、あるいは何か恣意的なものなのか良く分かりません。新聞といえども面白おかしく書かなければ売れないのかも知れません。

それとも最近の富士山に関する新聞記事は世界遺産登録と何か関係があるのでしょうか？

7月2日（月）雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年7月2日（月）06時16分49秒

[編集済](#)

1日

の朝日新聞朝刊に30日の富士山遭難事故が掲載された。  
ただ、最後の部分が気になった。

・・・・・・・・富士山は7月1日が山開きで、無届けで  
登っていた・・・・・・・・

これまで朝日新聞は、このような「事実」＋「駄目押し」記事掲載はなかった。少なくとも、これまでは単に事故報告のみ掲載だった。しかし、今回わざわざ、最後に二行を割いて、「無届け登山」を強調するのは、編集方針が変わったか、記者の恣意か不明だが、そこには、これまでなかった、「悪意」「思惑」「意図」を感じる。

このような記事を登山事情を知らない一般の方が目にしたら何て思うだろうか。

一般的な読者は、「山開き以前の富士登山は、登山届が必要で、無届け事故であれば、新聞紙上で「糾弾」「非難」「制裁」されると思うに違いない。

しかし、現実的に現在の富士登山の登山届は、夏でも冬でも、強制・義務化されていない。  
登山届は、登山者の努力目標であって、「お願い・なるべく・できるだけ」提出して下さいなのだ。

しかし、このような表現で新聞に出て、あたかも無届登山が、「悪」「問題」「ルール違反」をイメージさせ、「犯罪者扱い」したのでは、当事者は堪ったものではない。

一応、沼津支局に電話で確かめた。明快な回答は無かった。いわく、例に依って、7月1日以前の登山は禁止・自粛されていて、その中で無届登山で事故を起こしたから、その事実を掲載したと言う。そして、驚くことに7月1日以降は、無届登山でも、山開き以降だから、問題はない・・・だって。

つまり、山開き以降の事故は無届でも仕方がないが、それ以前の禁止・自粛中の事故は、糾弾されてもいいと聞こえる。

天下の??朝日新聞が事実関係を正確に把握せず、偏向した記事を掲載することは、新聞そのものの信用に係わることである。



7月1日(日) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年7月1日(日)15時33分24秒

[編集済](#)

昨日は

金時山・長尾山西尾根ルート整備でした。

天気は晴。参加は2名。

足柄駅発7:00。新柴～上手～向桑木まで歩き、足柄  
森林ゴルフ場から上り始める。

標高約660mの「山神」までは、いい道が続く。モーレツ  
に暑い。

「山神」から上の林道までは、昨年ある程度、下刈りをして  
あるので楽だった。ただ、昨年、切った箱根竹の新しい竹が  
伸びていたの、なるべく丁寧にかき払って行った。

上の林道から、西に戻り、鉄塔がある西尾根を上る。従って  
ここは950mまで新ルートになる。林道に戻らなければ、  
標高857mの尾根を950mまで上って今までの西尾根に上る。

だが、下部はやっぱり道がなく、藪が続く、尾根の北側の「けもの  
道」を上った。結局、この藪は長尾山まで続くことになる。  
今回、やっとここに来れたが、時期的にはちょっと遅い。次回は、  
春前に来たいものです。

金時山は、小学生の遠足で、足の踏み場がないくらい混雑していた。  
ただ、下山の新柴コースは、誰もいないガラガラ状態でした。





6月30日(土)曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月30日(土)04時30分21秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

二日

続けて、食べ物話題で恐縮です。  
わくわく塾で「ソバ種蒔き・収穫・打つ」講座を受けていますが、  
先日、実生をいただきました。

カイワレが美味しいとのことで、さっそく蒔いたら、10日  
くらいで、食べる事が出来ました。

ソバの味はしませんが、シコシコ・コリコリの食感で、まあまあ  
美味しかったです。

ソバのカイワレを食べるのは、生まれて初めてでした。(笑い)

近く、元長窪で秋に収穫すべく、本当に畑に蒔く予定です。  
講師はこだわりの方で、「お花見」も行います。収穫し打つ  
秋が楽しみです。

今年の大晦日は、手打ちソバか??!!



6月29日(金)晴・24度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月29日(金)09時04分39秒

おまち

どうさまでした。

今年の山梨のモロコシを食べました。

先日、山中湖・花の都公園で見つけました。ただ、産地は忍野でなく、御坂方面とのこと。

味は問題なかったです。

来月はいよいよ本番です。50本購入して、一年分冷凍します。ちなみに、一本100ーです。

何故、高原のモロコシが美味しかった??

忍野は標高約1000m。昼間暑くて糖分が十分作られる。

で、夜は標高が高いからグッと冷えて、作られた糖分が実に十分蓄積される。

だから、美味しい訳。お米も標高が高い魚沼地方などが、同じ理由で美味しい。

最近では、北海道産も美味しいそうですね。来月、期待・期待です。



6月28日(木) 晴・18度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月28日(木)06時50分54秒

[編集済](#)

昨日は

第4回・富士山一周ウォーキングで、須走・浅間神社～  
籠坂峠～山中湖～花の都公園を歩きました。天気は晴。  
参加は26名。

浅間神社から出発。籠坂峠は思ったほど大変ではない。  
加古坂神社から、東大演習林を通過し、山中湖村役場に出る。  
ヤマボウシは、少し早かった。

山中湖で「スワン遊覧船」に乗る。1割引で810円。  
湖上に富士山が大きかった。一枚水上スキーがしぶきを  
上げる。

昼食後、諏訪神社に寄って、花の都公園に向かう。ビア  
が美味しかった。  
温泉は、紅富士が休みで、石割の湯に入りました。

1日中、富士山を堪能したウォーキングでした。



6月27日(水) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月27日(水)03時43分20秒

[編集済](#)

富士山

の天気は難しく、また不思議だ。通常天気予報は地上の予報だ。だから、標高約2400mの5合目の予報ではない。従って富士山などの高山では、その場に行ってみないと天気は分からない。

今回と、前回6月13日は、御殿場は雨で、標高2100mまでは濃い霧で車の運転は、ままならなかった。ところが、5合目が近くなるに従って明るくなり、上部は晴れていた。

しかし、5月5日、スキーに行った時は、下界は良かったが次第に荒れ模様になり、5合目は冬並み風と寒気で、そそくさと帰って来た。

気象庁は先般、大型の「コンピューター」を導入したと言う。是非、標高ごとの天気予報をお願いしたいと思っていますが、無理かな～。当分、「コンピューター」で行くしかないか！！?? (笑い)

山の天気は、地方ごと特徴があるもの。そこも考慮すべきで、大いに経験がモノをいう場合がある。正に「コンピューター」。

しかし、やれば科学的に判断出来るものだと思います。ただ、山屋だけのためにそれは無理でしょうが。

まあ、山小屋がやっている夏は聞くことが出来ます。

今回、新6合の宝永山荘は、前日から営業でした。いよいよ、夏山ですね。また、あの喧騒が帰って来ます・・・。

今日は、2012・富士山一周ウォーキングで、山中湖です。また、スワンに乗ろうか??!!







**6月26日(火) 快晴・17度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月26日(火)05時49分2秒

今朝は

寒かったです。

富士山で、今回は例の「登山禁止」の柵は撤去されていた。  
何で???でした。7月1日の山開きまで設置とっていましたが。  
まさか、投稿のお陰ではないでしょうか……。 (笑い)

で、例によって「無謀登山者・初心者・ノ一天気」は、相変わらず多い。米軍(??)のヤンキー数名に至っては、Gパン・ズック・半袖。勿論、ピッケル・アイゼンなどはなし。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

頂上まで行くかな??と思ったら、さすがに9合5勺上の雪溪を見て（ビビリ??）下山した。まあ、これは賢明だったでしょう。

下山中、14時過ぎ、新6合上で軽アイゼンの若い衆と会う。そんなアイゼンで大丈夫?に、「この間も大丈夫だった」でした。そして、これから頂上を往復すると言う。暗くなるぞと言うと、承知と言う。ヘッド・ランプは持っていると言うが、確かめようもない。くれぐれも無理をしないようにと言い残して別かれたが・・・。

昨日、遭難記事がなかったから、無事だったかも知れない。いずれにしても、「お気軽登山者」が多いのは事実。対策がない訳では、ありませんが・・・・。ただ、時間とお金が掛かりますね。



6月25日(月)曇・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月25日(月)07時06分11秒

[編集済](#)

富士山

8合目で1000回登山の實川さんに会った。

實川さんは一昨年、1000回登山の講演を依頼した縁で知り合った。

2010年で1000回でその後、2年で約250回上ったそうです。

登山期間は、5月～11月の7ヶ月の約200日。

毎日上って約400回。2年で250回だから、約1日以上置きに上っている勘定。

この日は2回上るとのことで、そそくさと上って行った。兎に角速い。私たちが9合5勺でモタモタしていたら、早くも下って来た。上り3時間半、下り2時間半、くらいだろうか。

合わせて約6時間。2回で12時間。6時から上って18時終了！！年齢はまだ70歳にはならない。心拍数は普通に上って「60」とのこと！！

正に超人、ウルトラ・マンだ。實川さんに栄光あれ！！時間が合えば、一緒に飲みたかったです！！

注＝下の写真で黒ヘルの若い衆は、千葉の方で85回だそうです。





6月24日(日)曇・25度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月24日(日)06時22分55秒

昨日は

富士山・剣ヶ峰でした。天気は晴れ。ただ、午前中は冷たい風が強かったです。参加は3名。

6時7分、5合目発。御殿場は雨だったが、ここはイイ天気。冷たい風が吹き、手が凍えた。新6合の宝永山荘は、昨日から営業で開いていた。今夏、利用する雲海荘はまだだった。

今日はスキーを背負っていないが、何故か重たい体を引きずる。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

このところ飲んでいないから??!!か。(笑い)

5月19日と同じ時間で9合5勺着。ここから、富士宮ルートでなく、頂上ブル道を上る。

剣ヶ峰着。11時25分。ほぼ、前回と同じ時間だった。ガスが舞ってきたのですぐ下山。帰りは富士宮ルートを下る。途中、アイゼンのトラブルがあったが、修理して、雪渓を快適に下る。この時期は、雪渓下りが楽しい。

14時45分、5合着。イイ山でした。



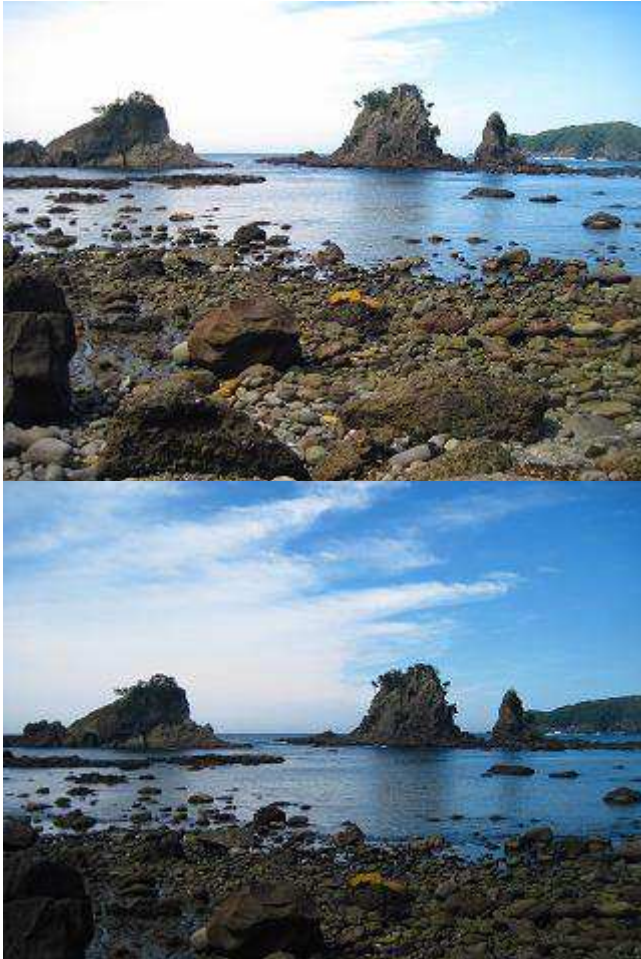
**6月23日(土) 晴・暖**

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月23日(土)03時47分30秒

今日は

富士山です。スキーでは、ありません。登山です。  
日記は、休みます。



**6月22日(金) 雨・25度**

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月22日(金)08時06分48秒

また

台風崩れです。外はなま暖かい南風で、気持ちが悪いです。  
こんなに長雨が続くと、野菜が駄目になり、この夏は、高くなるでしょう。

ネットによると、マッキンリー遭難で、英語がよく出来なくて  
救助活動が遅れたとあった。

私も過去3回、海外登山を経験しているが、カタコト英語で

[編集済](#)

苦勞はした。

特にスイスはドイツ語が80%くらいで、英語は全く通じない。モンテローザで行方不明事故の時は、小屋の女に子に通訳を頼んだことがある。スキー場のチケット購入も大変だった。

先日のナコウ山ハイキングの帰りに熱海駅でアメリカ女性と交流したが、歯がゆいものでした。

海外登山をする場合、せめて山岳英語くらいは、皆で勉強した方がいいだろう。

ちなみに「雪崩れ」は、Snow collapse です。





6月21日(木)曇・22度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月21日(木)07時10分30秒

一昨日

の風は、すさまじかった。近く美容院の大木がポッキリ折れていた。

畑は半壊状態でガッカリ。畑を始めて6年。要領も分かり、それなりの愛着はある。回りも散々たるものだ。福島農家の方の気持ちが良く分かるね。

まあ、自然現象はしょうがない。昔はやっぱり「自然が一番怖かった」各地の神社・仏閣は、基本的に「五穀豊穡」を願ったもの。

それでも、私は時間があるから、すぐ飛んでいけるが、勤め人は相当、イガイガしていることでしょう。めげずにまた、頑張りましょう！！

[返信・引用](#)  
[編集済](#)





6月20日(水)晴・

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月20日(水)09時09分39秒

昨夜の

台風は、物凄い風で参りました。庭のゴーヤは、もみくちや。畑は半壊状態です。今年は5月に台風が来ましたから、ちょっとおかしいですね。

旧聞ですが、14日は、6月度・伊豆巡礼でした。コースは、吉佐美～54番・長谷寺～タライ岬～弓ヶ岳～55番・修福寺～56番・

正善寺～56番・青龍寺～石廊崎～58番・正眼寺。天気は快晴。  
参加者は、28名でした。

吉佐美から碁石ヶ浜を通過し、田牛（とうじ）の長谷寺着。ここのご住職を初めてお会いした。タライ岬から弓ヶ浜を通過し、修福寺着。六地藏が新しかった。

青野川に沿って正善寺着。ここは無住職寺。南下し青龍寺着。ここで昼食と休憩。午後は、石廊崎目指し進み、トンネル先の正眼寺着。ご住職は82歳だが健在でした。

温泉は「銀の湯」。シダックスに民営化され700ーになり、なかった「生ビア」もありました。（笑）



6月19日(火)晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月19日(火)06時22分25秒

[編集済](#)

今朝は温度が高い割に爽やかな朝です。

新聞報道のマキンリーの雪崩事故だが、過去、80年で遭難犠牲者は116名。そのうち雪崩が原因は、8名という。

・・・もちろん、この中には植村直己なども含まれるが、植村などの場合、「どのように遭難したか」不明。一説には、北極圏の冬は風速50mの風が吹く。人間はどのようにしても風速45mで「飛ばされる」と言われる。植村は風に飛ばされて遭難と推定されている・・・

で、マキンリーの雪崩遭難が意外と少ない。あれ程の山で意外と言えば意外。ただ、まあ前述の様に不明なものも多いと思う。

マキンリー登山の厳しさは、ポーターがいないので、総て自分達で荷揚げをしなければならない。女性の場合は、特に厳しいだろう。そんな中、仙台の2女性は果敢に挑戦した。遭難をしたのは残念無念だが、その魂は敬意を表したい。



6月18日(月)晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月18日(月)04時37分58秒

[編集済](#)

山で

怖いのは、雪崩・落雷・鉄砲水・落石・・・と沢山ある。

中でも、雪崩は怖い。

極端な話、雪が積もっている以上、常にその危険はある。

長い山人生の中で、何回か雪崩に遭遇しているが、何もなかったのは、運が良かっただけだ。

日本勤労者山岳会には、有史以来、日本の山岳で起きた顕著な雪崩事故を網羅した「雪崩地図」がある。

雪崩は、自然現象だから、毎年同じ現象を繰り返す傾向がある。

だから、最近山を始めた方でも、その雪崩地図で「過去を学ぶ」ことが出来る。

今回のマッキンリーの雪崩事故は、過去に顕著に起きていた所かどうか分からない。

恐らく、マッキンリーでは、そこまでやっていないだろう。

ただ、それがあれば、今回の事故は防げたかも！！知れない。

今日のネットでは、搜索打ち切りとあるが、これは関係者にとって断腸な思いであろう。





## 6月17日(日)曇・24度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月17日(日)06時44分4秒

マッキンリーで邦人5人が雪崩に遭う…4人不明

読売新聞 6月17日(日)5時50分配信

【ロサンゼルス支局】AP通信などによると、米アラスカ州のマッキンリー山で、日本人とみられる登山者5人組が14日に雪崩に巻き込まれ、このうち4人が行方不明となっている。

現地当局者の話では、5人は「宮城県勤労者山岳連盟」に所属。同日朝、標高約3600メートルの地点で雪崩に巻き込まれ、このうち、カトウ・ヨシアキさん(64)、スダ・マサコさん(50)、スズキ・ミチコさん(56)、スズキ・タマオさん(63)(漢字表記不明)が行方不明。

残る一人はクレバスの中に転落したが、自力で脱出した。標高

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

2200メートル地点のベースキャンプまで下山し、救助を求めた。

上記、遭難があったようです。宮城労山「朋友会」の人たちです。  
中に知人がいます。無事を願っています。

先日、富士山新6合のちょっと上にこんな遭難碑？がありました。  
雪崩などでよく残っていると、妙に感心致しました。

「南無日蓮大菩薩」「南無妙法蓮華経」「天下泰平国土安隠」  
「・・・六月・・・」と読めますが、左上周辺が欠けて  
不明です。遭難碑では、ないかも知れませんね。



6月16日(土) 雨・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月16日(土)06時17分23秒

[編集済](#)

富士山

で、富士宮市消防隊4名と会った。聞けば、パトロールに来たと言う。

当方はスキーだったので、一言クレームがあるかと思いきや全くそんな雰囲気はなく、意外と好意的だった。

話の内容は、

1. やっぱり、しょっちゅう出動があると大変。
2. しかし、登山・スキーの禁止・自粛は、本来的でなく無理・反対。
3. 登山届の徹底でもチェックは、なかなか難しい。
4. 装備不足者には、本当に困っている。特に外人は問題。  
(昨日も、外人の遺体を一体降ろしたとのこと)
5. 静岡新聞の投稿は読んだ。

でした。

この日も下に、アイゼン・ピッケルなし、スニーカーの若い衆がいたので、注意したとのこと。

しかし、話の中で一番の問題は、問題発生時「注意は出来るが、登山を中止させる、権限はない」でした。

これは、難しい問題ですが、本当に危険な場合は、人命尊重・救助の観点から、権限発動は不可欠と思います。でも、まだ、まだ、そこまで世論・組織も至っていません。





6月15日(金) 晴・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月15日(金)10時19分36秒

富士山

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

富士宮口5合に行ったら、登山口バリゲードが、5月19日より更に強固になっていた。

それでも、19日は横を何とか通過出来たが、今度は完全に塞いでしまった。

仕方がないので、ちょっと東に移動し、ブル道を上った。丁度、何日か前、ブルが通ったようで、新6合まで、むしろ本来の道より楽に行けた。

まあ、これでは何のバリか分からないですね～！！（馬鹿みたい！！）

新6合に行ったら、こちらも、小屋横のバリが更に強固にしてあった。しかし、その横の物置の横には、しっかり道が出来て簡単にバリ上に上れた。これでは形だけのバリで何の意味もないですね～！！

そもそも、始めから何の意味があるバリか分からない。根本的は対策を忘れてる訳ですね。





6月14日(木)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月13日(水)19時09分55秒

昨日は

梅雨のなかばの晴天で、朝、富士山がキレイで思わず誘われ、行って来てしまいました。

まあ、先月19日に登頂して、今年は雪が多くて、あと2～3回と考えていましたが、天気・時間が合わなくて、今日まで延びていた訳です。

印象として、雪は多くスキーはバッチリですが、いかんせん、雪がベチャベチャのうえ、雪面がそろそろ、スプーン・カット状で滑り難いです。

いよいよ、今シーズンも終わりでしょうか??!!

注=この日記は、13日夜、書きました。





なかなか素敵な電車だったが、運転手は、まだ若い女性。  
見たところ20代前半だった。  
御殿場線は、若い女性の車掌はいるが、運転手は初めて  
見た。

女性の社会進出は目ざましいものがあるが、ここまで来ました。  
まあ、伊豆急行は観光路線なので、その辺りの事情（売り）が  
あるかも知れません。そんな訳で、鉄道愛好者写真撮影も  
多かったです。

ちなみに、電車を見送ったら、最後尾で顔を出した車掌は、  
年配のオジさんでした・・・・・・??!!。



6月11日(月)晴・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月11日(月)02時44分30秒

[編集済](#)

昨日は

6月度・さわやかハイキングで、宇佐美・ナコウ山でした。

天気は快晴。参加者は、14名。

宇佐美駅から出発。民宿「シー・ベアー」脇の竹やぶから上り出す。

この竹やぶには、梯子が掛けてあり、それを上る。本来、民宿の庭に道があったようだが、現在は宿の裏を捲くような感じで行く。

下部の道はハッキリしないが、離山下で道が出て来た。この下りはやはり竹やぶを下るが、旧道の脇に出てしまった。上ってみると右からいい道があった。ただ、下って来るとこの道は不明だった。

ナコウ山は凄い急登。ロープを掴んで上る。頂上直下に、「羽柴越中守」刻印の大石がある。

この後ろを少し上ると頂上だった。ここで昼食とし、恒例の「焼き物大会」を始める。

K氏持参の「霜ふり牛肉」ほか「タン」「ピーマン」「焼き鳥」などなど……。凄い昼食でした。

下山は早めに網代に降りて「大成館」で温泉三昧。いい温泉でした。





6月10日(日)曇・20度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月10日(日)05時54分48秒

そば

は大好きだが、昨日某所で「そば打ち講習会」があった。わくわく塾の一環だが、種蒔きから、一年を掛けて講習する。

まあ、そば打ちと言っても、ピンからキリの印象だった。9時から始めて、茹であがったのがお昼でいただいた。が、空腹だったが、思ったほど美味しくなかったのは、何故？

思うに、汁が美味しくなかったのか?? 普段、甘めの汁が好きだが、昨日のは余り出汁がない、サッパリ系だった。以前、金峰の帰りに山梨で頂いた、そばもそうだったが、しょっぱくて参った。

そばも大事だが、それ以上に汁が大切ですね。



6月9日(土) 小雨・17度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月9日(土)06時07分47秒

いい

雨です。このところ干ばつ状態で畑が大変な状況でした。  
有り難い雨です。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

例の静岡新聞の投稿が昨日掲載されました。スキー仲間のSさんがメールで知らせてくれました。実は我が家はA新聞で、静岡は取っていないのです。(トほほ)

でも、所詮400字程度の字数では、十分に言いたいことは伝わりません。本来、十分スペースのある紙面で、著名人などにしっかり検証して貰うべきでしょう。新聞社の一方的な記事で「弾圧」されるのは、堪ったものではありません。

また、登山者もダンマリを通すのでなく、言いたいことは「声」に出すことが大事な事です。黙っていたら、それ(新聞記事)が正当化されるでしょう。

皆で頑張っていきたいものです。



6月8日(金) 晴・19度

投稿者: たかチャン 投稿日: 2012年6月8日(金)06時27分36秒

一昨日の

伊豆ウオーキングの昼食は、伊東マリン・タウンで摂った。ハンバーク店や海鮮店や、いろいろあるが結局、伊豆高原ビールに決めた。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)



ここは、ワン・テーブル3500ー以上で、伊豆高原ビールが4杯無料になる。

980ーの昼食セットを4名食べ、ビアを頂いた。

ビアは三種類出た。大室=普通のビアで美味しく飲みやすい。

黒スタウト=黒ビア。まあまあ美味しい。

天城=大室と黒を合わせたような感じ。ちょっと酸っぱい。

大室が濃厚な感じで良かった。仲間が横に2テーブル陣取った。

特典サービスは、ビア4杯か料金1000ー引き。

その仲間はビアはやらない。ビア4杯、購入すれば1000ー以上する。

で、仲間にビア8杯取って貰って、我々がそれを2000ーで購入し頂いた。まあ、飲むことに関しては食欲ですね。(笑い)  
そんな訳で楽しい昼食でした。



6月7日(木) 晴・18度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月7日(木)09時12分9秒

[編集済](#)

昨日は

伊豆一周ウォーキングで、熱海・錦ヶ浦～網代駅～旧街道～宇佐美～伊東マリン・タウン(昼食)～汐吹崎でした。天気は、台風模様でしたが、結局一滴も降られなかった。参加は、33名。

台風接近で、実施か否か大分考えましたが、結局午後から晴れて実施でした。まあ、結果的には正解でしたが、中止しなくて良かったです。

網代から昔、吉田松陰などが通った網代～宇佐美間のいわゆる「旧街道」を歩きました。と言っても網代側の上り半分は車道を歩く。別荘地を抜けて、網代峠から旧街道に入る。いい感じの道だったが、台風がらみで、もう少し光が欲しかった。

ここを抜けて宇佐美に降りて、伊東マリン・タウンで昼食。9800円の昼セットが美味しかった。ワン・テーブル3500円以上で、伊豆高原ビール4杯のサービスがある。仲間のテーブル分を10000円で購入して、2テーブル分余分にいただいた。(笑い)

午後は、伊東市内歩行でなく、海岸線を進み、汐吹崎で終了とした。午後からは天気に恵まれ、楽しい充実したウォーキングでした。





6月6日 (水) 曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 6月 6日(水)03時49分16秒

6月

6日は、何の日でしょうか??

今日は、雨っぽいですが、6月度・伊豆ウオーキングです。

写真は、須走・浅間神社で説明をいただいた、「ごんねぎ」の石橋さまです。

やさしく、対応してくれました。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)





6月5日(火)曇・18度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月5日(火)05時21分46秒

[編集済](#)

しかし、

富士山では、お粗末な事故が多すぎる。

これでは、仕事といえ救助隊は悲鳴で、我々真面目な??!!

登山者は割を食います。

上の写真は、富士宮口頂上直下の氷面をノー・アイゼンで上る無謀オヤジ。これが現実だ!!!

<http://accident.fuji3776.net/>

静岡新聞に投稿しました。採否は不明です。

- 1 5月19日、私は富士山・剣ヶ峰頂上にいた。
- 2 これから富士宮口五合までスキーで滑降する。
- 3 私は現在65歳。雪の富士登山は45年になる。
- 4 だが、今まで特に危険を感じたことはない。
- 5 このところ、新聞紙上で春山の富士登山・スキーを非難・批判
- 6 した記事が目につく。全体的な論調は、スキー
- 7 ・登山とも軽装・装備不足者が多く、危険極ま
- 8 りないので登山を禁止・自粛をして欲しいとある。
- 9 しかし、春山登山・スキーは、富士山に限らず
- 10 北アルプス立山や槍ヶ岳、白馬岳、上越の谷川岳、
- 11 東北の鳥海山や岩木山でも盛んに行われている。
- 12 どの山も長い歴史の中で、遭難事故はあるが、
- 13 だからと言って登山禁止の措置は聞いたこと

14 がない。  
15 確かに一部の登山者にアイゼンなし、明らかな  
16 初心者はいた。しかし、私が見る限り多くの登山者、  
17 スキーヤーは完全装備である。白馬梅池は一時  
18 遭難事故が多かったが、登山計画書提出を徹底  
19 し、事故減を計った。一部の初心者の事故が多いから即、  
20 登山禁止・自粛でなく、登山計画書提出を義務化し、  
21 装備・経験を十分に点検することが先決と考える。

ただ、400字の中で主張はなかなか難しいですね。



6月4日(月)晴・17度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月4日(月)05時44分14秒

先日、

富士山ウォーキングで、須走・浅間神社に参拝したら  
本殿（ここは拝殿と本殿が一緒になっている）の屋根下  
に写真・上、中の彫刻物があった。

そして、翌日の伊豆巡礼時、49番・大梅寺の本堂に同じ  
ような象の彫り物があった。

仏教では、象は神聖な生き物とされ、奉られて来た。浅間  
神社は現在寺ではないが、明治維新の神仏分離まで神社・寺  
は一緒だったから、その名残と見える。

境内中央には大きな山門もあり、当時は仁王立像があったと  
思われる。

ちなみに、富士山浅間神社は、東西南北にあるが、同じ名称  
でも、横のつながりは全くなく、独立したものです。



6月3日(日) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月3日(日)06時57分19秒

[編集済](#)

仲間に

1500回登山記念の富士山頂上の写真をいただきました。

なかなか立派なものです。

有難うございました。感謝・多謝・深謝です。

映画情報

「ダーク・シャドウ」

シリアスものと思いきや、一転喜劇調に。

メイン・テーマが、重いな～！！





## 6月2日(土)曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月2日(土)05時44分50秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

一昨日は

5月度・伊豆巡礼でした。コースは、48番。報本寺～49番・大梅寺～二山越え～52番・曹洞院～53番・寶徳院。天気は晴れ。参加は31名。

報本寺は相変わらず優しい対応で嬉しい。住職は外のお勤めで忙しそう。

大梅寺は、前回境内が草ボウボウで、皆で草取りをやったことを思い出した。

大バアさまは、現在高齢のため、住職のお兄さん(長男)の63番・保春寺にいるそうです。保春寺の住職もイイ方です。50番・玄通寺のご朱印は、ここで貰います。

ここから過去4年・2回は、バスで下田に戻っていたが、今回は二山を山越え。これで31番・東泉院から稲取の山越えと合わせて、伊豆巡礼は、「完全歩行」が完成した。

なかなか厳しい山越えでしたが、フキ・ウド・夏ミカンに励まされて



案外楽しんで越えられた。

約2時間半の山越えで、下田に降り立ち52番・曹洞院に入る。現在、本堂を改修だったが、お勤めの時は工事の手を休めてくれた。

ここから53番・寶徳院に向かって今日の巡礼を終わった。この日は、2012期最初の巡礼で、初参加の方は大変だったようですが、まあ、頑張りました。

今日は、HP閲覧が、「77777」になりそうですね。（笑い）



6月1日(金) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年6月1日(金)11時44分37秒

一昨日は

2012・5月度、第二回・富士山一周ウォーキングで  
した。天気は晴。参加は21名。

御殿場・時の栖から出発。

駒門・風穴に寄るが、まだ開いていない。

バイパス脇を通過して神場に入っていく。ここから仁杉の  
大乘寺に向かう。辺りはノンビリした田舎町だ。  
午前中は雪が多い富士山もチラチラ見えた。

大乘寺から裏道を通って水土野(みどの)に上っていく。  
ここは車道歩きでないので、木漏れ日が気持ちが良い。  
水土野で午前は終了。バスで滝ヶ原「桜公園」に向かい、  
ここで昼食。何処かの小学生低学年が沢山来て昼食だった。

午後は、水土野から須走・浅間神社に上り、ごんねぎの  
石橋さんに神社の説明を受ける。皆さん、真剣な表情で  
聞き入る。拝殿では、石橋さんのリードでお参りを済ます。

神社を後にして須走・道の駅に寄った。去年、花の都公園で  
飲んだ、御殿場地ビールがあったので購入。お胎内温泉入浴後  
飲んだが、凄く美味しかった。

いい一日でした。





5月30日(水) j晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月30日(水)04時20分47秒

先日、

湯河原・城山頂上で会った若い衆は、いい体をしたマッチな方でした。

ハイキングが好きらしく、どこかこんな風な山はありますか??だって。近くなら、すぐお誘いするのですが・・・。

今日は、5月度・富士山ウオーキングです。



5月29日(火)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月29日(火)10時58分28秒

今年も

ニンニクを収穫した。

去年は、6月16日だったから、今年は二週間ほど早い。

去年は、非常にいいニンニクだったが、今年はまあまあ。

去年は、しばらく置いておいたらドンドン痩せてしまった。

今年はすぐ剥いて、水洗いして、軽く乾かし冷凍保存。

完全無農薬で、一年分は確保した。

採りたてのニンニクは透明で、すごくキレイです。



5月28日(月)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月28日(月)06時11分9秒

[編集済](#)

昨日は

2012年度・第1回さわやかハイキングでした。  
山域は湯河原・城山。天気は快晴。参加は12名。

湯河原駅から出発。天気はイイ。幕山登山口で休憩。  
ここまで約1時間。前回、ここでモメたことを思い出した。

しとどの窟(いわや)からスカイラインに出る。ライダーが多い。ここには不釣り合いな立派なトイレがある。ここから城山に向かう。何故か整備された石畳が続く。

城山はアザミの楽園だった。梅の木の木陰で昼食。焼き物大会で、ソーセージ・山芋・ジャガイモ・シシヤモなどをいただく。この時期でも、温かいものは美味しい。

ここから宮上を下る。ただ地図にある南尾根の道は無かった。ここはいつか下から上って確認したい。退屈で騒音が溢れるスカイラインを下り、やっと奥湯河原着。ここから、時間が勿体ないので、バスで「こごめの湯」に下る。湯は案外いい泉質だった。

1時間半休んで、湯河原駅にバスで下り、今日の山を終了した。ここは、電車賃は400円で楽しめる山でした。電車の山は、気軽でよいですね。





5月27日（日）晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月27日(日)05時11分26秒

旧聞

で恐縮ですが、連休の涸沢岳遭難は、労山の仲間でした。

吉野和記さん

（71歳・福岡県大牟田市在住・5.10クラブ/東京）

全国連盟会長代行、全国連盟副会長、福岡県連会長などの要職を歴任。

5月4日に涸沢岳から奥穂高岳へ向かう稜線で吹雪のため遭難。山岳救助隊などに救助されましたが、低体温症で亡くなった。

男女6人パーティーで3日上高地から入山。涸沢から北穂高岳を経て5日に下山予定だった。

他の5名（あだると山の会/福岡）も低体温症になりましたが、救助され生命に別状はありませんでした。

登山時報・6月号から  
御冥福をお祈りいたします。



5月26日(土) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月26日(土)04時36分2秒

[編集済](#)

昨日は

三島プラザホテルの某総会で、スケートの清水宏保氏の講演会があり行って来ました。

演題は、「逆境に打ち勝つ」。氏は生まれつき「ぜんそく」を患い（現在も）、苦勞したようだ。しかも、身長は何と161.8センチ！！で、子供のころは、スポーツは何をやっても無駄と言われ続けた・・・とのこと。

そんな境遇の中で努力・精進して、長野オリンピック500mで金、1000mで銅メダルに輝いた。

全盛期太ももは68センチあったそうだ。話の中で、「ゆっくり滑る練習をした」があったので、その件を質問した。

その件は、ちょっと明快な回答はなく、また勉強して置きます？？だった。

でも、まだ40歳前で、明るいキャラは好感が持てました。まあ、オリンピック・メダリストは、その後の生き方が難しいですね。





5月25日(金)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月25日(金)08時29分19秒

久しぶりに

姫の登場です。  
可愛いですね～。

おん歳5歳で～す！！



5月24日(木) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月24日(木)05時36分58秒

富士山

吉田口ドロップ地点の傾斜は、30度くらいだろうか。  
最初の数メートルは確かに急だが、問題はない。  
他パーティーの女性が滑降出来なくて泣いていた。

我がパーティーの仲間も、なかなか「ふんざり」がつかなかった様子。

過去、急だった斜面は、剣岳・長次郎沢（あの「点の記」沢）  
[http://outdoor.geocities.jp/takanori\\_reihou2222/page076.html](http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page076.html)  
と、やはり剣岳・三ノ窓の沢。  
[http://outdoor.geocities.jp/takanori\\_reihou2222/page087.html](http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page087.html)

スキーの場合、結構急でも雪が柔らかければ問題はない。  
逆に傾斜がなくても、ガジガジに凍っていると怖い。  
以前、富士山で雪でなく完全な「氷」（スケートリンク並みの）  
を滑った??ことがあるが、全くスキーにならなかった。

スキーの場合、「思いきり」「度胸」も必要な要素です。  
ただ、初見の場合は、やっぱり「怖い」ものです。





5月23日(水) 晴・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月23日(水)05時17分46秒

先日

富士山富士宮口頂上直下の氷の急斜面を上って行ったら  
前の登山者の歩き方が何か変だった。

よく見ると、右手に持ったピッケルで一步一步、足場を  
刻んで上っている。

実はアイゼンを履いていなかった。ガジガジの氷だから  
当然滑る。先日の阿弥陀岳・横岳もそうだったが、これは

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

普通考えられない。上りはまだしも、下りはどうするのか。

このような登山者が平気で上って来るからヤバイ。  
一応「大丈夫ですか??」と声を掛けたが、あまり意味はない。こんな輩がいて事故を起こすから、「登山禁止」の看板を掛けられる訳。

一部の不心得登山者のため、多くの「真面目に」(笑・??)取り組んでいる登山者が割を喰う結果になる。  
このような登山者を排除するか、啓蒙するか、無視するか、難しい問題です。

下の写真は、珍しい「ストック・ピッケル」



5月22日(火)曇・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月22日(火)10時37分35秒

富士山

[返信・引用](#)

[編集済](#)

の標高は、3776mと認識されている。が、正確には、

3775.6m。3776mは、四捨五入してる訳。

夏、剣ヶ峰に上ると「日本最高地点」の標柱があり、一応そこが、最高点になっている。で、皆さんここで記念撮影を行う。

今回、剣ヶ峰に上ってみたら、今年は雪が多く、標柱は半分雪の中。旧測候所小屋が雪でスッポリ埋まり、屋根に簡単に上れた。

しかも、屋根の北のヤグラにも上ることが出来る。ヤグラに上ると、最高点標柱は、数メートル下。従って、今回の登山で達した最高標高は、推定で「3780m」くらいと思われた。

勿論、国土地理院の標高は、あくまで「地表」で観測しているので、融けてしまう「雪」「氷」の標高は対象外。これはあくまで「参考標高」です。（笑い）



5月21日(月)曇・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月21日(月)07時58分25秒

富士山

8合目で会った単独の年配の方は、聞けば73歳でした。スキーは持ってなく、登山のみ。ただ、スキーが出来ればやりたいと言っていた。

御年配だったが、洗練された身のこなしで、足取りもシッカリしていた。

厳しい登山だが心配はなかった。9合から少し遅れ私が剣ヶ峰から下って来て、スキーの支度をしていたら、ようやく上って来た。

それでも剣ヶ峰を落としたようだ。山の先輩、今後も大いに活躍していただきたいものです。



5月20日(日)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月20日(日)07時06分37秒

[編集済](#)

昨日は

富士山登頂と山岳スキーでした。

天気は快晴・無風・高温・霧なし。参加は3名。

昨日は好天気が予想され、登頂の可能性が高いので上り易い富士宮ルートを選びました。

理由は、1=5合目の標高が須走口より300m高い。

2=9合5勺まで尾根状で上り易い。

5:50富士宮5合発。天気は予想通り素晴らしく風もない。

5合目は、凄い車の数。

今日は登頂の可能性が高いので、また一人で飛ばす。ただし、今回は無線機持参で離れても意志の疎通ははかれた。

8合で73歳のオジサンと会ってビックリ。登山のみだが、「私もスキーが出来ればナ〜」と話していました。私より1時間遅れでしたが、剣ヶ峰に上りました。歩き方は洗練され全く心配はなかったです。反面、頂上直下の氷化した斜面をアイゼンなしの輩がいたり問題もありました。

9合5勺から、それまでのストックからピッケルで上る。ところが意外や意外、ピッケルのが遥かに上り易い。体が少し斜めで荷物が腰で背負えるのが、原因のようです。軽量化で持参をどうしようかと思いましたが、良かったです。

6時間弱で剣ヶ峰着。久しぶりだった。般若心経を唱え、「世界平和」「安全登山」「自然保護」を祈願する。雪が多く、日本最高点の標柱は雪に埋もれ、旧測候所の屋根の上れたので、標高は3776mでなく、3780m近くあった。65歳3ヶ月でスキーを担いで上れたのは良かった。でもこれで最後??!!(笑い)

富士宮口鳥居西のドロップ地点でスキーの支度。Sが居て一緒になれた。Iは丁度鳥居着。

ここからのスキーは今日上った中で一番最初だった。ドロップ地点は標高約3730m。かなり急だが雪が多く問題はない。

一旦、鳥居に滑り込みIに声を掛けて滑り込む。50mほど下れば快適な絶対的な大斜面が広がる。ここで滑るのは久しぶり。

ガンガン落ちて行く。疲れているのか少しスキーコントロールが厳しかった。

6合上で少しホワイト・アウトだったが、何とか新6合の小屋着。素晴らしい登山とスキーだった。今年は雪が多いのでまだ、当分楽しめそうです。一緒に行ってくれた仲間へ感謝・多謝です。また行きましょう！！







5月18日(金) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月18日(金)05時28分51秒

[編集済](#)

春取り

の野菜で美味しいものは、タマネギ・ジャガイモ・豆類がある。タマネギは、オニオン・スライス。ジャガイモは、何でもOK。豆類は、蒸かす。

中でも一番美味しいのは、やっぱり「五月豆」(ソラマメ)だろう。夕がた収穫して、すぐ蒸かす。元々、瑞々しいから蒸かすのは2〜3分。蒸かし過ぎると美味しくない。

調味料はなし。自然のままがサイコー。独特の風味(香り・臭い)、自然な甘み、そして色。この色は、何色って言うのかな??

ビアが美味しい季節。「サントリープレミアムモルツ」には、サイコーですね。(笑い)

明日は、富士山スキーです。日記は休みます。



5月17日(木) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月17日(木)05時57分53秒

[編集済](#)

昨夜は

三島市民文化会館で、柳谷花緑の落語会がありました。  
前座は、柳谷緑太が20分ほど。

その後は、花緑が休憩をはさんで二題演じました。演目は、  
ひとつが「試し酒」。

・・・・近江屋が宿の主人と酒談義。供の下男・久蔵が  
五升飲めるか賭けをすることになる。五升飲むための久蔵  
のまじないとは・・・・。

後ろのオバサンが、やたら笑って五月蠅くて参りました。  
漫才などは大いに騒でもいいと思いますが、落語はちょっと  
違うような気がします。

もうちょっと奥が深い笑い・・・・みたいな。でも、夜は  
眠くて堪りませんでした。(笑い)



5月16日(水) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月16日(水)06時29分25秒

新

ジャガを収穫しました。

今年も豊作です。

さっそく、肉ジャガでいただきました。

味は言うまでもありません。

美味しかったです。



5月15日(火) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月15日(火)04時02分43秒

先日の

富士山で人が落ちているのかと思いきや、いわゆる  
グリセードならぬ、シリセードで下っている輩がいました。

あれって、

気をつけないと、カップのお尻がボロボロになるので、  
要注意です。

こう見ると結構、傾斜があるものです。



5月14日（月）晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月14日(月)06時30分9秒

[編集済](#)

一昨日の

富士山で生涯登山1500回でした。

以前も書いたがこの記録は、登山回数で日数ではない。日帰りも1回、北アルプス冬山も一回、ヨーロッパアルプスも1回、ヒマラヤも一回で数えている。

現在、山行記録を綴った大学ノートは37冊。正式に残っている第1回登山は、1965年（昭和40年）4月の箱根・玄岳～熱海のかもしか山行。（注・1）これより以前もあるが、正式に残っていない。

500回は、1989年9月。1回から実に24年掛かっている。年間平均21回。月平均2回弱。昔は丹沢に行くのに御殿場線の蒸気機関車で行った時代。（注・2）今と一回の登山のエネルギーが違った。

1000回は、2001年8月。500回から12年。ちょうど500回までの半分。時代は車社会になり林道も整備され山は行き易くなった。

1500回は今回で2012年5月。1000回から11年だから、意外とペースは変わらない。最も1年違いは、最低でも30～40回前後違うわけだから、1年短縮は大きい値だ。

さあ、これで2000回が王手だが、あと10数年掛かるだろう。年齢では70歳で、果たしてそこまで上っているだろうか？（笑）まあ、気長に・気楽に・気持ち良く続けて、是非達成したいものですね。





5月13日(日) 晴・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月13日(日)06時10分45秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

昨日は

富士山山岳スキーでした。天気は晴れ～曇り～ホワイトアウト。参加はG、I、N、ゲストKの4名。

6:00、標高2000mの須走口五合目発。雪はすぐ現れた。私は一人グングン上った。2700m付近から右に横断して須走口を上る。

他の3名は沢を詰める。ところが初参加のNが遅れ、一人旅。無線を持ってこなかったのが、連絡が取れない。何かあったらまずいので、ここでスキーをつけて一旦、Nの所まで滑りこむ。

Nは遅かったが、確実に歩いていた。ここで再びスキーを背負い再び上り始める。また右に横断して須走口に戻る。Nは遅れるが上って来る。このころから霧がバンバン湧いて来た。また、例のホワイト・アウトだ。

標高は3100mだった。Nが心配なのでここから下る。酷い霧でスキーにならない。Nと合流したら、Iも降りて来た。

11:30、スキーにならないので、歩いて下る。モーレツな霧で、周囲2~3m、足元しか判別出来ない程の霧だった。

途中で上って来た連中のトレースを追って下る。2600m付近で少し霧が薄くなった。このまま下るのは悔しいので、ここでスキーを履いて、思いっきり滑って悔しさを晴らす。

雪はサイコーのザラメだった。右に左に自由自在に飛ばす。Nはスキーは上手だった。スキーは全く問題ない。アッと言う間に最終コーナーで終了。でも、まあ楽しスキーだった。Nとも初めて滑れて良かった。

富士山は、10時ころから必ず霧が出る。可能ならばもっと早い時間に上り、霧が出始める10時ころ下るのが理想でしょう。

最高到達標高は、K=3200m、G=3100m、I=3050m  
N=3000mでした。



5月12日(土) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月12日(土)03時51分32秒

今日は

富士山・須走口スキーです。



5月11日(金) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月11日(金)05時54分6秒

伊豆

一周ウォーキングの熱海では、「熱海まち歩きガイドの会」にガイドを依頼した。

メンバーは4名で、リーダーは、小野寺さん。

外人さんを中心にやっているらしいから、英語はペラペラで  
しょうか??

般若院からお宮の松までのガイドでしたが、知らない所が多く  
楽しかったです。

有料なのでお金は少し掛かります。

[編集済](#)



まあ、それ以上に得ることは多いので、それはよいでしょう。  
ただ、ガイドはちょっと時間が掛かるのが難。

ウオーキングと知識欲のバランスが大事ですね。



**5月10日(木) 晴・26度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月10日(木)08時49分1秒

昨日は

5月度、第2回伊豆ウオーキングでした。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

天気は曇り、時々パラパラ。参加は32名。

7:20、十国峠レストハウス発。ここから日金山・東光寺に上り、石仏の道を下って、MOA美術館着。昨日は水曜日で休館日でなく、トイレは開いていました。

この後、般若院に向かって「熱海まち歩きガイドの会」ガイドさん4名と合流。ここから、伊豆山神社～走り湯～石坂ロマン～お宮の松などをガイドして貰う。普段見ることのできない所をガイドして貰い大変良かった。

お宮の松でガイドと分かれ、錦ヶ浦まで歩き、遅い昼食を摂って、ウォーキングは終了しました。

今回は、歩く距離は短かったですが、熱海を深く知って有意義でした。





5月9日(水)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月9日(水)04時28分7秒

硫黄岳

を下り北沢を通過し、美濃戸山荘に到着。ここまで下れば一安心で大休止。

M氏は早々に、黒ビアを飲む。K君は抹茶ソフトクリームを食べる。

私とKT氏は、特製の牛乳を飲む。下山すると何故か牛乳がイイ。温めてくれるから、更に美味しい。有り難いですね。

今日は、第2回・伊豆ウオーキングです。





5月7日(月)晴・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月7日(月)03時10分41秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

予想

通り、今春山は遭難事故が多かった。今朝も奥穂高で3名滑落のニュースが入った。場所は正確に分からないが、何でもザイルを結んで歩いていたが、落ちたようだ。

今回の白馬の遭難にしても、まだ仔細は不明でうかつなことは言えないが、新聞報道では、随分軽装だったようだ。私の一番遅い降雪経験は、1968年6月、槍ヶ岳だった。44年前の話だが、6月に雪が降るその経験は、今でも生きていて、私を臆病・慎重にさせている。

結局、経験の差が大きい。

最近の年配登山者の傾向として、私のように十代から脈々と、ん十年、登山を続けて来て、今も現役なんて方はまずいない。殆どが、定年後もしくは近くなって、体にイイとかで始める。

経験が少ないから、臆病でも慎重でもない。

山岳雑誌の美味しい写真に誘われて安易に計画する。実はこの山岳雑誌等の美味しい紹介が一番恐ろしい。その裏に潜む危ない情報は、そこから見えないのだ。

一人で爺ヶ岳で遭難した女性もいた。この時期でなくても基本的に単独登山は危険が大きい。登山は、少なくとも二人以上で行くべきだ。山岳会に入って誘いあって行くことも大事。最近では、どこの組織にも属さない、未組織登山者も多い。

未組織の場合、前述の経験が継承され難い。  
いずれにしろ、今年は積雪が多く、天候は不安定だった。  
登山は、「慎重に、臆病に、謙虚に」行きたいものです。



5月6日(日)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月6日(日)06時19分28秒

[編集済](#)

昨日は

3名で富士山スキーでした。ところが6:00、五合目に着くと冬山並みの強風でスキーは即、断念でした。

このまま帰るのは、いささか精神・肉体的によろしくないので、位牌岳北尾根に転進しました。

北尾根は、アシタカツツジがチラホラ咲きだし、米桜が満開でした。

帰着時、驚いたのは、サファリ・パークに入るとおぼしき車の列が、須山交差点の下まで続いていたことです。

上って来る時、交差点下のお墓に「臨時トイレ」が設置され、ハテナ???何でこんな所と思ったのですが、その理由が分かった訳です。

まあ、多分子供の日で割引か何かあったのでしょうか。殆ど県外ナンバーでした。パパ・ママの大変ですね!!



投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月5日(土)03時57分49秒

阿弥陀岳

と中岳の間に流れる、中岳沢は過去に大きな雪崩が発生し、何人もの犠牲者が出ている。

中でも、1982年の神戸みなと勤労者山岳会の事故は有名。以下ネットから検索。

・・・神戸みなと勤労者山岳会遭難(八ヶ岳連峰)

[昭和57年3月21日]八ヶ岳連峰死者12名;負傷者1名3月21日午前9時45分ごろ、長野県八ヶ岳連峰の阿弥陀岳と中岳の中間付近で、長さ300m、幅15mの雪崩が発生、兵庫県の神戸みなと勤労者山岳会の13人と単独登山者の計14人が巻き込まれた。1人は自力・・・

以来、ここを冬(12月~4月)通過することは、絶対してはならない場所となった。雪崩れなど、自然現象は毎年同じことを繰り返すので、過去の事例を忘れてはならないですね。

今日は、富士山でスキーです。



5月4日(金)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月4日(金)05時07分25秒

[編集済](#)

今回の

山行で、当たり前と言えば、当たり前だが、考えさせられることがあった。

昨日、話題の天望荘着が13:30。腹が減ってノドは乾いていた。

行動食を食べて、ここでちょっとビアが欲しい！！ところだった。山でのビアは美味しい上、カロリーがあり、吸収がはやく即、エネルギーになる。(と私は勝手に思っている)

天望荘には、ビアが売っていた。しかし、しかし、である。買いに行ったが、何と天望荘では、「販売拒否」だった！！理由は「行動中でしょう」だった！！

正直に言って今まで、山スキー以外、山行中の飲酒は余り気にしたことはない。ハイキングでは、頂上でワイワイやるし、槍ヶ岳山荘では一杯1000円の生を2杯もやってしまう。それでも全くメイテイはしなし、むしろ力が溢れる。

これまで、山での飲酒を小屋の意向で制限されたことはない。少なくとも感覚的には「個人責任」でやっているか、飲酒事故などを考えたことはないかも知れない。小屋はビアを売れば商売になるが、それはしていなかった。近年、行動中の飲酒で何か問題があった可能性がある。

今後は、そんな山小屋が増えるかもしれない。以前、仙水峠小屋でも、「あんたが飲んで、そこんで転んで訴えられたら最悪だから」と販売拒否はあったが・・・。

そんな訳で、結局ビアはポカリに変わり、ポカリを飲んでしまえば、それでノドの乾きは、瞬間に癒される。

ビアは、ちょっと生活習慣的な部分もある訳だが、今度はオール・フリーで行こうかな??!! (笑い)





5月3日(木) 雨・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月3日(木)08時37分23秒

八ヶ岳

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

は、小屋ヶ岳と呼ばれるくらい山小屋が多いので有名。赤岳天望荘と赤岳頂上小屋など目と鼻の先で、果たしてこんな近くに二つも山小屋が必要かと思ってしまう。

小屋など人工的なものが、そこにあれば当然、自然破壊は避けられない。山には、安全登山上のもの・・・・・・例えば鎖・梯子など・・・・・・も本来的でないのだ。南アルプス・鋸岳も以前は鎖など無かったが、近年どのような理由か不明だが設置されたという。

確かにそれらで、「安全登山」は、ある程度確立されるかも知れない。ただ登山には、ある程度の技術は必要。必要以上にレベルを下げて、山が人工物で溢れたら、それはもはや山でなくなってしまう。

物事はすべからず「バランス」が必要でしょうね。



5月2日(水) 雨・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月2日(水)07時43分27秒

連休の

ハッには、様々な方がやってくる。

写真上は、軽アイゼン・ピッケルなしで阿弥陀岳の急斜面を上る御仁。

装備は見るからに粗末で素人っぽかった。

ピッケルなしで上りはイイとしても、下りは恐ろしい。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

秋の富士山なんかもそうだが、ズックでルンルン上って来て夕方氷結した斜面を下れなく、尻もちを突いて下ったりしている。

御仁に聞けば「大丈夫」という。事故があれば、多くの人に迷惑を掛けることを、彼は知らない。

横岳では14：30、やっぱりピッケルなしの韓国隊23名と会った。これから天望荘まで行くという。

ちょっとした下りで、ピッケルがないので、ザイルを固定して後ろ向きで、一人ひとり降りている。

これから難しいところが出て来るコースで、果たして明るいうちに小屋に着くだろうか?? 昨年はこの先で滑落事故死が起きている。

リーダー??、ガイド??に聞いたが、ノンビリしたものだった。参加者の女性も全く心配はなさそうな雰囲気。

ほとんどハイキング気分での雪山登山は、困ったものです。そもそも登山計画書なるものを、提出しているかどうか不明です。

せめて、事前に計画書が出ていれば、ある程度チェックは可能なのですが・・・。



5月1日(火)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年5月1日(火)04時35分10秒

[編集済](#)

5月

です。頑張りましょう！！?? (笑)

連休前半は、29日～30日で2012・春山合宿で八ヶ岳でした。天気は両日晴れ。参加は4名。ただ、硫黄小屋で東京のSさんと合流し、交流しました。

29日＝5時下土狩発。赤岳山荘発7：30。行者小屋から中岳沢を上り、阿弥陀岳着11：00。コルまで戻り赤岳着13：10。ここから横岳に向かい硫黄岳山荘着16：00でした。

2月の硫黄岳以来の八ッでしたが、好天に恵まれイイ山を上れました。今年はさすがに雪は多く、旧雪上に4月中旬に降った新雪が50センチほど乗っていました。

29日は実働8時間半の厳しい行程でしたが、充実したコースだったと思います。

先日、30年振りに富士山スキーで復活した東京のK君も参加し、大いに気を吐きました。若いK君は流石に強く頼もしい限りでした。またやりましょう！！





4月28日(土) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月28日(土)06時23分0秒

連休

です。行楽・登山・旅行は、安全第一で行きましょう。

明日から、日記2～3日休みます。



4月27日(金)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月27日(金)04時55分49秒

[編集済](#)

土佐清水

の中浜に行ったら、中浜万次郎（ジョン・万次郎）の生家が復元され、無料で公開されていた。

万次郎は、中浜の貧しい漁師の次男として生まれた。14歳時、漁に出て遭難し、救助された船長の養子となりアメリカで過ごした。

ジョン・万次郎の名前は、救助された捕鯨船の名前が、ジョン・ハウランドで、万次郎はそこからジョン・マンの愛称をつけられた。近くには記念碑があつて、漂流後11年余の寛永5年11月に帰着したとあつた。

生家のすぐ近くに「中浜」の表札があつたので、写真のお母さんに聞いたら、そこは長男の家だったそうです。お母さんは子孫の嫁で、いろいろ聞きたかったのですが、時間がないので、そこそこで踵を返しました。

旅での見聞は、また、楽しみのひとつです。



4月26日(木) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月26日(木)06時43分56秒

[編集済](#)

昨日は

2012年度・第1回富士山ウォーキングでした。コースは、三嶋大社～偕楽園～大庭源之丞墓～興禅寺(昼食)～深良用水(バス往復)～岩波風穴～御殿場・時の栖。天気は晴れ。参加は23名。約19Kmでした。

三嶋大社で安全ウォーキングを祈願して出発。茶畑・偕楽園まで、2011年と違う裏道を行った。ここは65年で初めての道で、牧歌的雰囲気良かった。

茶畑・偕楽園もイイ所だった。ここも初めてで大きな滝が落ち、真っ赤な花桃が咲いていた。ここから、大庭源之丞墓までも裏道で、茶畑在住の方にしても初めての道とのことでした。

興禅寺で昼食。寺の好意で境内でOKでした。昼食終了間際、奥さまが出てきて、本堂を開けてくれ、御本尊を拝ませていただいた。全体的にこの寺は親切で暖かでした。

昼食後は、深良用水をバスで見学し、岩波風穴に潜り、時の栖まで歩き、第1回を終了しました。全員完歩。皆さん年齢を感じさせないウォーキングでした。次回が楽しみです。





4月25日(水)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月25日(水)04時35分20秒

[編集済](#)

高知県

足摺岬周辺は、鯉節の一大産地だ。道端に一定の大きさに切った、木材が沢山積んである。最初、高知の家は薪ストーブを使っている家が多いな～、と思ったが、それは違った。

薪は鯉節を作る時、燻す(いぶす)ために使うらしい。窪津漁港に来ると、おばさん達が出来上がった鯉節をナイフで磨いていた。

聞けば、ナイフで骨を取る作業とのこと。しばし話をしていると、経営者が出来上がった鯉節を削って来てくれた。

その鯉節の綺麗な事・美味しかったことは、言うまでもない。ビニール袋にいっぱいあったが、何故か誰も欲しいと言わない。通常、こんな場合Tさんがすぐ言うのだが・・・。

で、私が貰っていいですかで、頂いて来て、翌日朝食に掛けて頂きましたが、サイコーの味でした。

おばさん達は、今日も一生懸命頑張っていることでしょう。



4月24日(火)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月24日(火)08時20分41秒

[編集済](#)

4月

伊豆巡礼で、2年巡礼を続けた方が、結願(けちがん)しました。  
伊豆一周・約450Kmを23回で歩いた。平均約20Km。  
四国の30Kmに比べれば、その比ではありませんが、往復の  
時間を考慮すれば、遜色はないでしょう。

ただ伊豆の場合、四国に比べて環境は相当の差があります。  
寺の規模・・・この場合、ただ寺の大きい小さいでなく、伊豆の場合  
大師堂はないし、燈明台もありません。ご朱印も手書きは基本的に  
やっていない)・道標・トイレ・お接待などなど・・・。

しかし、まあ、その精神が同じであれば、いいのではないかと思います  
ますが・・・。

でも、機会があったら是非、本場四国にもチャレンジして貰いたい  
ものですね。



4月23日(月)曇・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月23日(月)07時02分46秒

[編集済](#)

昨日は

4月度・伊豆休日巡礼でした。

47番札所・龍門院の少し北に、おふくろの店がある。

この店は、季節の野菜・おふくろまんじゅうが売り。

聞いてみたら、もう16年やっているそうです。

メンバーは全部で7名。全て自分たちで仕切っている  
そうです。

あと4年で20周年。少なくともそこまでは、頑張るそうです。

おふくろパワーで、

いつまでも、頑張ってもらいたいお店です。



4月21日(土) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月21日(土)06時39分54秒

[編集済](#)

一昨日は

4月・伊豆平日巡礼でした。

コースは、下田駅～広台寺～向陽院～米山寺～龍門院。

天気は晴。参加は23名でした。

広台寺では、紅白の石楠花が今回も綺麗に咲いていました。

向陽院は、2年前本堂の改修中でしたが、階段・本堂内・屋根が新しくなりました。

米山寺は、毎月19日が檀家衆の寺詣り日で、5年間で初めて中でお勤めを済ませました。ご朱印は、檀家の方が手伝ってくれました。従って代行の龍巢院は行きませんでした。

龍門院で2010期生が「結願」でした。

平日は9名終了ですが、皆勤・完歩の方は4名でした。

午後からは、外浦民宿の「廣和荘」で打ち上げでした。



4月19日(木) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月19日(木)03時56分7秒

[編集済](#)

今年も

庭のカイドウが咲きました。

今が見頃です。

ただ、毎年咲きおえた後が大変ですね。

今日は、平日伊豆巡礼です。2010期の方が「結願」です。



4月18日(水)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月18日(水)05時49分51秒

[編集済](#)

富士山

の下山途中、宝永第3火口の下部で巨大なデブリ＝登山で、崩壊した岩石の破片。また、なだれ落ちた雪塊・・・フランス語があった。

これは恐らく先日の雪代（ゆきしろ）と呼ばれる雪崩れ跡。巨大な雪塊で何千トンはあるだろう。回りの樹木、近くの道標がすっ飛んでいた。

雪山で一番怖いのは雪崩れ。  
危険を感じたら、必ず「弱層観察（テスト）」をやってみよう。



4月17日(火)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月17日(火)05時08分59秒

[編集済](#)

一昨日

宝永山マイナーピーク（仮称）に着いたら、一人の女性がいた。背中にショートスキーを背負っていた。はて、この時期、単独でスキーとは、なかなかの方と思って、声を掛けたら知らない方でなかった。

「Gさんですか??」声の主は、Yさんだった。昔、時々山スキーを共にした方だ。

で、今日は何しに??の問いの答えは、先日4月1日宝永第3火口で、スキー事故を起こし、ヘリでピックアップされた、清水のG、富士のKさんのスキー板を回収に来たと言う。

Gさんは悪天候のホワイトアウトの中、第3火口を滑降中、立木に衝突して顔面・肋骨骨折の重傷だったらしい。ヘリは余分なものは載せないで、スキー板はデポしたとのこと。

探した結果、Gさんのはあったが、Kさんのは見つからなかったという。それにしても仲間のスキー板を一人で探しに来るとは、見上げた根性です。昔から義理堅い方だったが、改めてその心意気に感心した次第です。



4月16日(月)晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月16日(月)09時10分32秒

[編集済](#)

昨日は

富士山で春山訓練でした。

コースは、洞門上標高1300m 7:00～ニッ塚下～宝永第3火口～  
宝永山標高2352マイナーピーク 11:00～12:99～洞門上  
13:00。天気は晴れ。参加は3名。

洞門の駐車場が満杯で少し上から入山。ここは何故か自衛隊敷地で  
無断立ち入り禁止の看板があった。  
歩き易い道を進むと明るく開けた森が広がった。ここはイイところだった。

下塚の下に出て宝永第3火口にトラバース。雪量はまあまあだが、乗ると  
ズボンのモナカ状態で歩き難いことおびただしい。  
第3火口の急斜面は新雪が眩しかった。一応安全第一で弱層観察をした。  
雪は1m近くあり、上は3層だった。しかし、新雪は少なく問題はなかった。

第3火口の急斜面を上り切ると、第2火口がまるで腸内部のような波打った  
雪模様だった。イイ感じの雪稜を新雪を蹴散らし迎れば、待望の標高2352m  
のマイナー・ピークだった。ここは2月にも訪れていた。ここで知人に  
バッタリ会った。しばし歓談後下山を開始。少し下った所でもM山岳会  
6名と会った。

2月と同じ場所で昼食。2本のビアがサイコーの味だった。下りは  
ニッ塚を目指し第3火口東の沢の左岸を下る。先日の雨の何万トン  
クラスの雪代のデブリ（雪崩れ堆積）が目を奪った。

ニッ塚経路の途中から適当に下ったが、朝の道でなくやや苦戦。  
やっと周遊道に出て帰路についた。往復8時間、実働7時間の  
充実した訓練でした。

中でも喜ばしいことは、しばらく体調不良で休んでいたI君が  
完全復帰したことです。キツイキツイと言いながらも、完歩した  
ことは、反省会の酒を更に美味しくさせました。I君、また  
やろうぜ！！

写真・中＝完全復帰し、マイナーピーク直下を引っ張るI君。





4月15日(土)曇・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月15日(日)04時58分33秒

今回

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

四国お遍路で一番カルチャーショックだったのが畑だった。  
まだ、四国全部歩いていないので、他は分からないが、少なくとも今回回った場所の畑には驚いた。

何かと言うとその畑の「石」の多さだった。極端な話、土は全くなく「石畑」なのだ。田んぼにも平気で拳大の石がゴロゴロしている。あれでは耕運機の刃がおかしくなる・・・と思うが。最初、そこに石に例えば何らかの効果があり・・・アルカリとか温暖効果とか・・・。

と思って写真のオジサンに聞いてみた。ところがオジサンの答えは意外なもので、「面倒だから（除去するのが）」だった。まあ、静岡ではあんな畑・田んぼがあったら、笑いものだろう。

四国人は心が大きいか、大ざっぱか、はたまたモノグサか、う～ん、難しいところですね。



4月14日(土)曇・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月14日(土)04時35分6秒

[編集済](#)

四国

お遍路は、民宿・旅館などに6泊する。今回は、

5日＝浦ノ内・・・・・・・・・・民宿「みっちゃん」

6日＝土佐久礼(くれ)・・・・・・・・旅館「福屋」

7日＝白浜・・・・・・・・・・民宿「白浜」

8日＝四万十・・・・・・・・・・旅館「鈴」

9日＝足摺・・・・・・・・・・民宿「高原」

10日＝足摺・・・・・・・・・・ホテル「みさき」

写真・上＝「みっちゃん」のお母さん。名前が美津子。

宿は小さいが、気のイイお母さんで人気の民宿。

朝日新聞で天声人語を書いていた方も数回宿泊。

ウツボの刺身が美味しかった。

写真・中＝「鈴」の女将さん。安価でいい宿だった。高知産

のご飯が美味しかった。男性風呂は大きい。

写真・下＝「高原」のお母さん。一人で切り盛りしている。

〇〇の刺身が美味しかったが、名前は聞きそびれた。

21時ころ遅れていたドイツ人2名が来た。

ほか、白浜の女将とか全体的にいい方が多かったです。





4月13日(金) 晴・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月13日(金)10時53分0秒

今回

のお遍路で会った仲間たち。

写真・上＝ドイツ人と日本人のサイクルお遍路。ドイツの方は有名なオーケストラのバイオリニストだそうです。物凄く大きな体躯でした。

写真・中＝歩き・単独・逆打ち・一气・番外で7回目??の大阪の方。公認先達の資格がありで、赤い杖を持っていた。この上は黒の杖だそう。それにしても、7回も歩きでやるとは！！

写真・下＝昨日も紹介した富山の若い衆。といっても44歳とのこと。歩き・一気で全てキャンプ・野宿でザックの重いこと重いこと。昼食も勿論、簡単な物。我々のように食堂でビアなど頂いて

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

いませんね。



4月12日(木) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月12日(木)08時40分36秒

[編集済](#)

#### 第4回

四国お遍路に行って来ました。4月5日～11日。  
天気は終日晴れで、最終帰着日のみ雨。参加は8名。

前回終点の36番札所・青龍寺付近から出発。結局、今回は  
5日で約150Km歩き、四万十川を経て、足摺岬から土佐清水  
まで達しました。

全体的に超田舎で昼食に、しばしば難儀しました。まあ、その分  
ノンビリ・ユックリで地元の方とも大いに交流しました。

5日・150Kmで二寺は、やや辛いお遍路でしたが、その辺は、  
前回室戸岬付近ですでに経験済みで、今回は割合余裕で楽しみ歩け  
ました。

今回は、歩き易い季節で多くのお遍路さんと交流しました。中でも  
富山の一人お遍路の40代の男性とは、行きつ戻りつ楽しい交歓で  
した。彼は2回目の歩きお遍路で、今回仕事を辞めて来たそうです。  
熱心な方もいると思いました。

写真・中＝四万十川、下＝足摺岬





4月4日(水) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月4日(水)03時42分53秒

[編集済](#)

駿河

小山駅前の小山町・健康福社会館には温泉があった。  
温泉は、小さいながら安価で、休憩室は大きく、よい施設だった。

先日、不老山を下りて、ビアを買い込んで、勇んで赴いた。  
と、ところが、  
入口に一枚の張り紙があった。

それは「閉店のお知らせ」だった。入口に一人のオジさんが  
座って、何やら受付をやっていた。  
聞けば、昨年3月末の一年前にこの施設は、終了したそうだ。  
二階の休憩室は、地域の囲碁会場に変わっていた。

はて、それでは前回、不老山に上ったのは、いつだったかな??  
少なくとも1年以上前か。  
結局、小山町はお金がないようだ。数年前の水害の負担も大きい  
かも知れない。

あれは丁度、御厨(みくりや)観音巡礼をやっていた時で、小山町は  
壊滅的な被害を受けた。  
受付のオジさんは、盛んに「足柄の湯」に行けというが、あそこは  
高台で歩いては簡単に行けない。

休憩室で休んでもイイというので、皆でビアをいただき帰着でした。  
また、ひとつ楽しみを失いました。  
世知辛い世の中になったものです・・・。

明日から、しばらくの間、日記は休載します。  
皆さま、お元気でお過ごし下さい。



4月3日 (火) 曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月3日(火)05時31分42秒

不老山

頂上は、2万5千匁で神奈川県側の東側のピークが  
928m。こちらが本来の頂上だ。ただこちらは展望  
がよくない。

しかし、西側に920mの等高線をひくピークがある。こち  
らは静岡県になる。正確な標高は不明だが、920m以上はある。  
こちらは展望がよく富士山を楽しめる。

だから多くの登山者は、西のピークで休憩する。一応、  
ここを東峰に対して西峰と呼んでいる。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)



ただ、御殿場線・駿河小山駅前の例の I さんは、この西峰の呼称が気に入らないらしく、自宅の壁に「不老山の西峰はどこだ！」みたいな看板があった。

I さんにその話を聞くべく、ドアを開けて声を掛けたが、不在だから声が聞こえなかったか不明だが、会うことは出来なかった。

でもまあ、そうカリカリしないで、静岡県側のピークの西峰でイイのではないのでしょうか？



4月2日(月)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年4月2日(月)08時00分5秒

[編集済](#)

昨日は

4年前、丹沢・塔ヶ岳大倉尾根で亡くなった、Mさんの慰霊登山で不老山でした。

天気は晴れ。参加は10名。

御殿場線・谷峨駅から出発。天気は良い。

山市場から8時登山開始。この山は、1000mないが物凄い急登が続く。訓練にはよい山。

去年の台風だろうか、やや荒れた道をたどれば、2時間半、10時半に西峰着。ここで東の塔ヶ岳方面に整列し黙とう・般若心経を唱え、Mさんの供養を行った。

西に頂上が雲の富士山が大きい。今年はまだ雪が多い。

目を凝らせば、まだニッ塚北面には雪があった。ああ、今年はまだスキーが出来る！！と思った。



3月30日(金)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月30日(金)05時20分11秒

昨日は

かつての山仲間のMさんの命日だった。  
午後から、Iさんとお墓参りをした。  
お墓参り後、実家を訪ねご母堂としばし歓談。

ご母堂は、82歳というが元気イッパイでお若い。  
顔はツヤツヤだった。

昨年6月にお孫さんが結婚して、もうじきひ孫が誕生  
するそうです。  
男の子だそうです、家族が増えることは、おめでたい  
ことですね。

そんな訳で、日曜日は不老山で慰霊登山です。





3月28日(水) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月28日(水)05時07分16秒

昨日

タマネギの早生を収穫した。しかし、その美しさに感動でした。野菜に感動は、ちょっと可笑しいですが、写真では分かり難いですが、その「白さ」は完璧でした。

さっそく例の、八つ切り→バター→レンジでチン→いただく、でした。

味は言うことはありませんでした。ちなみにタマネギは、根ではありません。茎が変化したものです。 (笑い)



3月27日(火)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月27日(火)09時49分26秒

[編集済](#)

伊豆

八十八札所巡礼の須崎・観音寺のババさまは88歳。

芸大出身でピアノはバリバリ。

今でも時間があれば、5時間は練習するという。

ここを訪れるのは3回目だが、いままでそんなことは知らなかった。近所の子供たちにも教えているとのこと。

気分が良かったのだろうか??皆で歌をやろうと言う。

皆で「故郷」を歌った。

ピアノの腕前は、さすがに一流。イヤ〜、オシャレなババさまがいるのもです。

ただ高齢なので、今後が心配。いつまでもお元気で!!



3月26日(月)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月26日(月)10時42分14秒

[編集済](#)

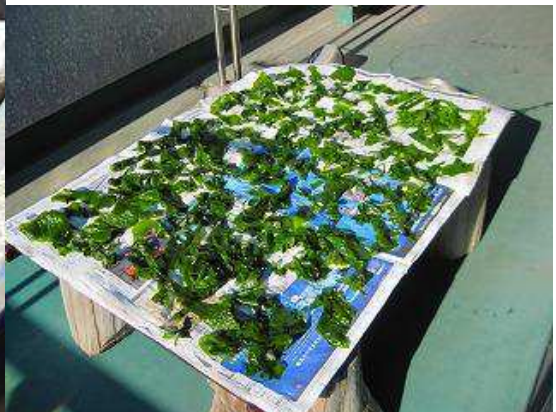
昨日は

3月度・伊豆休日巡礼。天気は晴れ・強風。コースは、河津～縄地～外浦～須崎～下田。参加は11名。

須崎から「開国下田みなと」に来ると、近くの美容院のママがワカメを採取していた。漁業権があるという。港の石垣に沢山付いていた。声を掛けると、沢山あるから持って行ってと言う。

ワラワラとビニール袋に放り込む。聞けば、熱湯を掛けて軽く干して、冷凍するとよいとのこと。今朝、さっそく調理してベランダに干した。

さてさて、お味は如何ですかね??



3月25日(日)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月25日(日)03時39分3秒

[編集済](#)

昨日

富士山がチラッと見えましたが、下部はまだ大丈夫でした。  
今年は頑張っています。

山仲間が丹沢・大倉尾根で亡くなったのが、2008年3月29日  
だった。  
早いもので、もう4年だ。

人間の運命は分からない。突然、生命が絶たれる時が、まもある。  
今年に入って、巡礼をやっていたKさんも70歳で逝った。まだ、  
若い年齢だ。

前期高齢者??!!になって、そんなことも時々考える。まあ、  
お釈迦様の教えに、あまり先のことを考えるながありますが、  
正にその通りで、考えてもしょうがないですね。

ケセラセラですね。



3月24日(土)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月24日(土)05時28分24秒

[編集済](#)

温かい

雨が降った。これで富士山下部の雪は融けただろう。

これで、下部のスキーはおしまい。

先日、パソコンのHDが異音を出して、上がらなくなってしまった。

一瞬、アチャ〜、やってしまったかでした。

過去、パソコンは3台くらい破棄した。いずれも突然動かなくなったりした結果だ。

パソコンは、消耗品だからいつそのようになってもお伊ように備えておかないとマズイ。

現在の仕事をしている限り、パソコンがないと仕事は不可能。

そんな訳で、ノートパソコンを新調した。

まあ、これをまた立ち上げるまで、ひと踏ん張りです。



3月23日(金)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月23日(金)05時58分51秒

[編集済](#)

昨日、

最後のダイコンを収穫した。

巨大なもので、6Kgあった。

過去、最大、最重量だった。スも入っていないくて、瑞々しくて美味しかったです。



こんなに大きくなる、ダイコンがあるんですね～！！



3月22日(木) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月22日(木)08時30分6秒

昨日の

庭に来た野鳥は、ヒヨドリでした。今も来ています。

昨日は、第12回・3月度富士山ウォーキングB班でした。  
天気は晴れ。参加は16名。

コースは、柿田川～源兵衛川～浅間神社～三嶋大社～龍澤寺  
～三島カントリークラブ。

龍澤寺から裏道を歩きましたが、富士山が大きかったです。

三島カントリーでは、温泉に入り、昼食会でした。

皆さん持ち寄りの料理は、色とりどりで、サイコーの御馳走  
でした。



3月21日(水)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月21日(水)05時55分16秒

[編集済](#)

昨日

庭に鳥えさ・水場を作りました。

夕がた、ミカンと水を乗せたら、目撃しませんでした、  
さっそく来たようです。

今朝は、モズでしょうか、先ほどから盛んにミカンを食べ  
ています。

モズはちょっと可愛くないので、早くメジロに来て貰いた  
いですね。

モズさん、ゴメンなさい。(笑い)



3月20日(火)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月20日(火)06時22分58秒

[編集済](#)

先日の

矢倉岳の昼食は、皆さん持ち寄りの食材をコンロで焼いていただいた。

まだまだ、気温が低い時期なので、温かいものが、ありがたい。

主食はカップラーメンがイイ。普通のラーメンは、最後に液が残り、処理に困る。捨てれば山を汚すことになりかねない。その点、カップラーメンは液が案外少なく、最後まで食べれる。

ただ、今まであまり感じなかったが、最近流行の「タニタ」流で、薄味に慣れたら、カップラーメンの塩分の多さに驚いた。もっと薄味でもよいと思うが、何故あんなにショッパイのでしょうか？

日々の野菜は自分で作ったものを食べて、ほとんど購入はしないが、薄味でいただくと、野菜は本当に「甘くて」美味しい。これが濃い味では、感じないでしょう。

最近、火事になった某焼き鳥屋さんも、昔は店主が「勢い」で塩を振っていた。ショッパ過ぎるので、塩は各自やるから、手元に置いてくれと、クレームだった。ところが最近、娘さんも店に加わり、塩分が相当薄まった。

これは良いことですね。(笑い)





3月19日(月)晴・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月19日(月)05時59分8秒

稲取湾

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

の正定寺には、黒大仏がある。

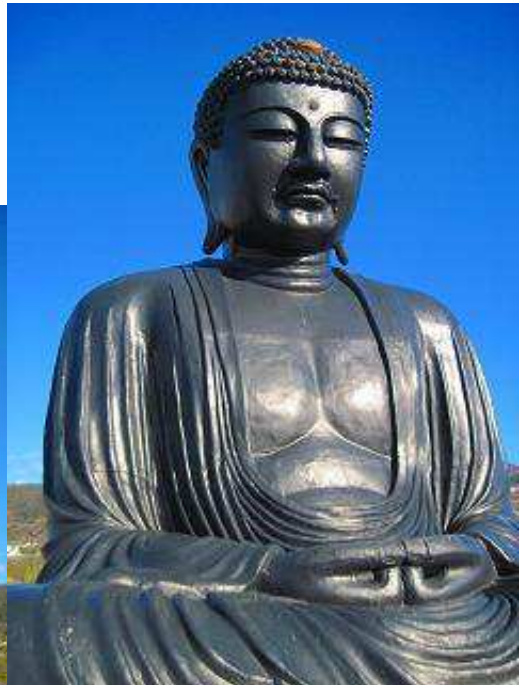
大きなもので、注意して見るとR135から稲取湾の向こうに鎮座している。ただ、何故か後ろ向きで、港を睥睨していない。

寺に行き台座に上る。港の風が冷たい。

大仏は意外にもプラスチック製だった。う～ん、大きく重いものなので、軽くないと無理かも・・・。

まあ、青銅製では製作費もかさむでしょう。しかし、何製でもその精神性はかわらないと思いますが・・・。

でも、よく見るとイイお顔です。合掌。



**3月18日(日)曇・暖**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月18日(日)05時20分8秒

三島市は

戦災がなく、随所に昔のなごりを留める。  
特に水が豊富で真冬でも清流が尽きることはない。

私は一応、三島生まれ。  
子供のころは、この清流でよく遊び、泳いだ。  
特に清流に乗り、薄暗い橋の下を潜るのが面白かった。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

高度成長期は、楽寿園の小浜池が涸れたが、今は復活している。

先日の富士山ウオーク時、ここを歩いた。  
清流がある風景は、いいものです。いつまでも続くことを願いますね。



3月17日(土) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月17日(土)06時45分20秒

今週末は

遠征予定でしたが、生憎の悪天候。

昨日は崩れる前の好天気だったので、富士山に行った。

天気は午前は快晴。午後はもうガス。気温は暑かったり寒かったり。雪量は申し分なく、駐車場からシールでOK。雪質は旧雪部分は、まあまあだが、その上に新雪が乗った所は、ややモナカで苦勞。

ただ、シール登行はいいが、壺足は前回のようになり雪が深くワカンがないと大変。

この時期の富士山は雪が多い。全山雪・雪で素晴らしい富士山だった。

シールは結局、2300mまでだった。雪が重く疲れた。最近、シール登行は負担感を感じる。雪が深くなければ、背負ったほうが楽を感じる。

前述の雪質を選んで滑れば、まあまあだった。ニッ塚北面は良かったので、一度上り返して二回滑った。下部は、ザラメ状態で駐車場まで約1000mの滑りでした。

全体的に、まあまあスキーでした。







3月16日(金) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月16日(金)04時27分46秒

一昨日は

第12回・富士山ウオーキングA班でした。コースは、柿田川～源平衛川～浅間神社～三嶋大社～三島カントリークラブを歩きました。天気は晴。参加は20名。

1年間やってきた、富士山ウオーキングも最終回。三嶋大社でちょうど一周。満願成就でした。

富士山ウオーキングは、風光明媚かつ適当な歩行負担があり、温泉を備え、そして盟主・富士山が聳え、誠に整ったウオークが出来たエリアだった。

また、丁度1年で一周出来る丁度良さがあつた。歩いて時間を掛けて地域を観察出来、新しい発見も数々あつた。例えば、

富士山周辺の浅間神社は、全く横のつながりがない・・・など。

今回のメンバーは、富士山は終了ですが、来月から新たに伊豆ウオーキングが始ります。



3月15日(木) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月15日(木)06時30分9秒

[編集済](#)

昨日の

御殿場線の話ですが、車掌の制服の紋章が気になって聞いた。

40前後の男性車掌は、「リンドウ」と教えてくれた。

ただ、何故「リンドウ」なのかの問いに「分からない」だった。

JR関係のネットを調べたが、特にそのあたりの記述はなかった。

ちなみに、「リンドウ」の花言葉は、「的確・正義・誠実」だった。こんな、ところでしょうか??

しかし、車掌が知らないは、ちょっと教育がなっていない?? でしょうか。(笑い)



3月14日(水) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月14日(水)05時29分34秒

[編集済](#)

我が家は

JR御殿場線・下土狩(しもとがり)駅から徒歩5分。昔、御殿場線は、丹那トンネルが出来るまで、東海道線だった。JR沼津駅から、御殿場駅を経由して、興津駅を結ぶ。

御殿場経由だから、当然、周辺は山・山・山で山好きには堪らない路線。

ただ、富士山を除けば、大きく高い山は少ない。故に冬の

日だまりハイキングにはピッタリ。  
電車で揺られて、ノンビリ行くハイキングは楽しい。

私が登山を始めた頃、この路線、実は蒸気機関車だった。  
丹沢はここを利用するが、松田駅で小田急に乗り換え、秦野  
で下車。バスで大倉に向かい登山開始。今では考えられないほど  
時間が掛かった。

ただ、沢を一本やって、SLに引っ張られ、車窓を楽しみながら  
ビアをいただき、上った山を振り返るのは、なかなか味わいが  
あった。  
車で山に行くのは合理的でイイが、電車で行く山は止められない  
ですね。



3月13日(火) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月13日(火)05時28分31秒

先日の

伊豆平日巡礼は、河津から下田駅まで歩いた。  
下田で久しぶりに旧友を訪ねた。訪ねたといっても、店に寄っただけですが・・・。

寄ったのは、下田でウナギ屋を経営する「川端」さん。  
主人はハイキングが好き。以前、伊豆の山を研究した時知り合った。

前回2年前、私が川端さんのHPの何回かのビンゴで、賞金の「うなぎ」を寺まで届けてもらったことがある。丁度、お昼でサイコーの御馳走でした。

店には美味しい酒がある。川端さん自慢の「立山」。山が好きだからこの名前がピッタリ。  
店に行った時は必ずこの酒をいただくが、飲む時は、酒の量と山の高さが合致して、今日は何合目まで上るかとなる。

今度、ゆっくり寄りたいですね。

<http://www.shimodaag.com/S11100.html>

<http://www3.tokai.or.jp/amagi/>





3月12日) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月12日(月)07時40分13秒

昨日は

3月度・さわやかハイキングで矢倉岳でした。  
参加は9名。天気は曇り時々雪から晴れでした。

御殿場線始発で駿河小山駅下車。7時前なのに駅の売店はもうやっていた。  
駅から東名を潜り林道を上る。途中に金太郎を生んだ母親が身を清めた「遊女の滝」があった。

隊はここから、足柄峠経由（5名）とバリエーションの北尾根隊（4名）に分かれる。

北尾根は、まず、遊女の滝から633.7mの三角点に上る。  
ちょっと藪っぽかったが問題はなかった。

ここから南下し730m峰から東進し、650mのコルで一般道と合流した。  
ただ、下りの二か所でルートを間違えて、上り返した。

小山駅発7:00、頂上着10:40。全体的にいいバリエーションルートでした。  
パソコンから出した地図を持参しましたが、鉄塔記述がなく、やや

苦戦でした。



3月11日(日)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月11日(日)04時37分28秒

[編集済](#)

今日は

まず、黙とうです。

さわやかハイキングで、矢倉岳に駿河小山から上ります。



3月10日(土)雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月10日(土)04時14分20秒

[編集済](#)

富士山

一周ウォーキングは、今月で満願成就で一周になります。  
昨年、4月に三島大社を出発して丁度一年。いいウォーキングでした。  
今回はこれを記念して、缶バッジを作った。昨年、11月朝、田貫湖の逆さ富士をモチーフしたものだが、なかなか素敵です。

富士山ウォーキングは、業者が何組かやっている。



以前、伊豆巡礼をやっていた方が参加したものは、富士市から南下しないで、十里木を横断して裾野に下るものがあったが、あれでは面白くない。

私たちは達者な方が多く、時間に余裕があったので、千本公園から、魚市場～御用邸記念公園～八重坂峠経由で柿田川に入った。これで完璧に一周でした。

この企画は、今年も4月からエンドレス的に続きます。今回は、もう少しコースを工夫したいですね。

例えば、御殿場など神場・山の神コースとか、2ルートあってもいいでしょうね。





3月9日(金) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月9日(金)05時35分52秒

昨日の

1. 画像は、畑で採れたチンゲンサイのトウです。  
これは、サイコーに美味しいです。
2. 国税庁から確定申告の還付金が振り込まれました。  
今回は、70600-でした。(笑い)
3. 昨日は、3月度伊豆平日巡礼でした。下田で河津桜が見事でした。



3月8日(木)曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月8日(木)04時11分21秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

日記、

今日休みます。



3月7日(水) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月7日(水)05時22分57秒

昨日は

風が強く気持ち悪いほど暖かく、春一番だったそうだ。春は嬉しいが、変に暖かいと、体調が狂いますね。

通常の間では、ストックは使わない。年齢を重ねれば分からないが、自然保護上も使わないように指導もしている。

ただ、このところの雪山では使っている。雪山では使った方が安定的な上り・下りが出来るようだ。特に先日の富士山のように、深・重雪の場合、「両手ストック」が有効だった。

両手でストックをグッと差し込んで、体を引き上げる。これは楽だった。考えてみたら、要するに山岳スキーのシール登行と同じな訳。

こうなると雪山では、スキーでなくても、ストックは手放せないようである。



3月6日(火)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月6日(火)05時07分17秒

[編集済](#)

3日は

富士山で久しぶりに「ワカン」を履いた。

最近のワカンは、ジュラルミンが多いが、昔は木製で「芦峠（あしくら）ワカン」と呼ばれている。材料は「まんさく」の若木。

「まんさく」は、春一番咲く山の灌木で、この木の皮は、合掌作りの柱を縛るものとして有名。ちなみに合掌作りは、釘は一本も使わないで、全ての柱は縛りで構築されている。まあ、そのように木製のワカンは、強い木材で造られている訳。

しかし、ネットで見ると最近殆ど在庫はなく、入手は出来ないようだ。

(私は書棚にワンセット飾ってありますが・・・)

深雪に対して、ワカンかスノーシューかよく議論されるが、本格的な登山では、絶対ワカンがいい。まず、スノーシューは大きく重い。その上、登山ではワカンとアイゼンを一緒に使う場合がある。スノーシューでは、それが出来ない。

ワカンは上りだけでなく、下りでも使う。今回の富士山のように、重く深い雪の場合、下りでも使用しないと歩けない。それを知らない方は、ちょっと驚くようです。

そんなこと「分かんない」なんて言わないでね。(笑)





3月5日(月) 雨・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月5日(月)07時04分22秒

[編集済](#)

昨日は

第46回・静岡県勤労者山岳連盟定期総会が藤枝サンライフで10時からあり、Mさんと出席しました。出席者は全体で100名ほど。

午前は経過報告と会計報告。午後は来期方針説明と予算が説明され、討議を続けました。

規約改正でやや紛糾しましたが、全体的には大過なく議事は進み、15時来期理事が決まり、終了しました。

帰路、富士で富士宮「あさぎり山の会」のSさんなどと反省会でした。





3月4日(日)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月4日(日)06時01分41秒

[編集済](#)

昨日は

富士山登山。水ヶ塚から宝永山2352m峰でした。  
参加は3名。標高差=902m。上り=6H、下り=2H。  
天気は下部霧、上部晴れ。

6時水ヶ塚発。雪は多い。1700m付近でワカンを付ける。  
雪は粘土のような重い雪で遅々延々と時間は過ぎて行く。

下部は深い霧だったが、上部は雲海で青空が見えた。  
ところが目標の2352m峰は近づかない。12時  
ようやく登頂。何と標高差900mに6時間掛かった。  
普段の倍だった。

森林限界で昼食後下山。普通、下山はルンルンだが下山も  
重い雪に足を取られ苦勞する。  
ワカンを付けた1700m付近に他のトレースがあったが、  
ここで止めたようだ。  
富士山は近くてイイ山です。

P S 先日のブロッコリー=今朝、NHKでやっていました。  
カリフラワーとブロッコリーの  
掛け合わせで、カリッコリーだ  
そうです。葉も食べれるそうです。





3月3日(土)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月3日(土)03時40分48秒

[編集済](#)

富士山

一周ウォーキングは、3月で最終回。  
ちょうど一年で一周した。

記念品を考えたが、結局「缶バッジ」になった。  
11月に田貫湖で撮影した、逆さ富士をモチーフした。

案外、安価で出来る。大きさは32ミリ。  
出来上がりが楽しみです。  
写真は原版。出来上がりは丸くなります。ご期待下さい。

今日は、富士山か丹沢で遊びます。



3月2日(金)曇・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月2日(金)04時29分45秒

昨日の

富士山は見事でした。  
あんな富士山は久しぶりに見ました。  
全山、黒い所がなく真っ白はなかなか、ならないものです。

今年は雪が多く、楽しめそうです。



**3月1日(木) 晴・やや暖**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年3月1日(木)03時46分2秒

3月です。

はや！！

畑で変わったブロッコリーが出来ました。普通は顆粒状のものが、ボコボコとなるが、これは単品で出来る。実にここまで半年近くかかる。

何の種類か調べたが、なかなか分からない。「雷鳴」の種類があるが、何となくそんな名前のイメージもする。仏様の頭のような感じもしますが・・・。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

味は、さすがに半年掛かるだけあって甘くて美味しい。調味料は全く不用。そのままいただくのが一番です。



2月28日(火) 晴・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月28日(火)04時56分18秒

1月度労山内事故。

1月9日＝兵庫県連盟、男性会員(64)が、不動岩でトップ

[返信・引用](#)

[編集済](#)

ロープをセットするため下降した際、確保側のロープを放し、  
中間地点から転落。グランドフォール（直接大地に墜落）し死亡。

同日＝大阪府連、女性会員（45）が、高知県大堂海岸で岩登り  
中、12m転落して死亡。

ほか、アイスクライミング中の事故、アイゼン歩行での事故多発。  
正月の雪山で登山会員がヘリで「収容」されるなど、事故の多い20  
12年始まりとなった。

以上、登山時報NO. 445 3月号から抜粋

事故の要因・原因は様々です。他の多くの事故を学び自分のものとして  
いきましょう。



2月27日(月)晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月27日(月)06時50分14秒

[編集済](#)

ゴーグル

の眼鏡部分が小さいと左右の視界が狭くて使い難い。  
ゆっくりとした動作の登山では、さほど感じないが、  
スキーは瞬時に地形など判断する必要があるので、不利  
だった。

仲間が眼鏡を掛けても使えるゴーグルを購入した。これは  
眼鏡の部分が広く視界がよい。

さっそく私も購入した。左右末端が従来のモノと違い側面方向  
に広がり、視界は申し分ない。(写真中)

価格的にはやや高くなるが、やっぱり使いやすいものもいいです。  
ゴーグルは視界が広いもの。これに限りますね。今日も視界良好！！





2月26日(日) 晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月25日(土)17時20分38秒  
所用で

岐阜に行って来ました。折角ですから、なかなか行けない  
「朴(ほう)の木平スキー場」で滑りました。天気は無風  
・快晴。

このスキー場は、標高が1400mと高く、イイ雪質で有名。  
その上、ゲレンデが広い！こんなに広いスキー場は中々ない。  
ただ、平日だが結構スキーヤーは多い。

リフトで上って行くと、次第に乗鞍岳(3026m)が姿を現す。  
冬、何回も上った思い出深い山。ロケーションは素晴らしい。  
スキーは、相変わらず下手くそですが、まあまあでした。

(この日記は、25日に書きました)





## 2月23日(金) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月23日(木)08時54分30秒

昨日は

2月度・富士山ウオークB班で、千本公園～魚市場～旧御用邸～柿田川でした。天気は晴・暖。参加は18名。暖かく、楽しいウオーキングでした。

潮が上がって、A班が歩けなかった、牛臥山海岸を歩けたのは、ラッキーでした。

日記、明日・明後日休みます。



2月22日(水) 晴・やや暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月22日(水)04時55分3秒

2月22日、

今日を持って「前期高齢者」の仲間入りです。(笑い)  
先日、硫黄で無理やり、誕生日祝いのパフォーマンス  
でした。

今後益々、精進・研鑽・努力を重ね、皆さまのお役に  
立つよう、邁進する所存です。

[返信・引用](#)

[編集済](#)



よろしくお願ひ致します。



**2月21日(火) 晴・寒**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月21日(火)07時02分1秒

昨日、

その後の情報で一昨日、信州・菅平でマイナス29.2度を観測したそう  
だ。赤岳がマイナス25度だったと言う。時間は不明だが、硫黄でも  
少なくともマイナス15度以下だっただろう。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

やっぱり寒かった訳だ。昨年1月、金峰山で小屋でマイナス10度、外がマイナス15度だった。それ以上に寒く感じた。目出帽を被っても顔がヒリヒリするから、相当なものだったんでしょう。まあ、でも天気が良ければ、どんなに寒くてもイイから、またこれも冬山の魅力でしょうね。

硫黄から下山の途中、朝会った若い衆にまた会った。元気者でその寒気の中でシャツ1枚。暑い暑いと言っている。(オイオイ、ホントかよ～)

歳を聞けば、エエ～、19歳だって！！アルコールに犯されていないその眼は、あくまで綺麗だった！！(笑い)

まあ、学生さんだったが、羨ましい限りです。お金はないが時間は十分ある。大いに青春をエンジョイしようぜと、エールを送って別れました。



2月20日(月)晴・-2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月20日(月)06時42分13秒

[編集済](#)

昨日は

八ッ・硫黄岳でした。天気は無風・快晴。ただ、頂上の気温は低く-15度以下(過去の経験的値)でした。

ちなみに昨日、長野県・菅平で29.2度を観察したそうです。寒かったんですね。参加は3名。

.....その後の情報で、昨日の赤岳山頂の気温は-25度だったそうです!!

6時55分、赤岳山荘発。登山者は多い。よく踏まれた道に行く。雪は例年以上に多い。

赤岳鉱泉着、8:40。今年の人工氷ばくは、寒さも相まって凄い規模。

硫黄に上る。今朝上った連中が大勢降りて来る。聞けば小屋泊りとのこと・昨日は悪天候で吹雪だったこと、を聞いた。

今日は素晴らしい快晴。2週間前の蓼科と対照的。降ったばかりの雪が陽光に光り輝いている。東京の仲間、Sさんが上る赤岳が次第にせり上がる。

稜線に出た。360度の素晴らしい展望。ただ、北アルプスは「しぐれ」ていた。易しい尾根をたどり11:50、頂上着。バンザイ。本ちゃん雪山2回目のHさんは、今回もよく上った。人間の能力は計りしれない。

風は強くないが、頂上は気温が低かった。流石は2月の山だ。経験的にマイナス15度以下だろう。寒いので稜線分岐まで下って食事。それにしてもここは見事な山。なかなかこのような素晴らしい展望の山はない。

下山は速い。途中で何人か抜いて、赤岳山荘着14:30。入浴せず帰静。誕生月にイイ山を上らせてもらった。



2月18日(土) 晴・寒

投稿者：たかちゃん 投稿日：2012年2月18日(土)04時19分48秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

昨日の続き

その後、M労山20周年記念で1991年、初めての海外遠征(!)に5名で、ヨーロッパ・アルプスに赴いた。Mが隊長、私がリーダーだった。

昨年、遠征20周年記念だったが、当時遠征費用軽減でシャモニ・ツエルマットで全てテント泊。当時、航空会社はノンビリしていて、味噌・醤油・米・ガソリン(コンロ燃料)など満載した30Kg近いザックを問題なく運んでくれた。

遠征でモン・ブラン、マッター・ホルン、モン手・ローザ、ミディ〜プラン縦走、ブライツ・ホルンなどに上った。初めて経験した「氷河」は感動的だったし、憧れのレビュファと同じ景色を堪能出来て満足だった。また、チューリッヒの街並みは素晴らしかった。

その後、私は裾野麗峰山の会(当時はハイ・パインクラブ)設立でM労山を退会し、M氏とも疎遠になった。そしてM氏は、2005年、飯豊で事故に遭うことになる。

M氏は酒が好きだった。私もよく飲んだ。景気が良い時は、三島で飲んだ。M氏は調子が上がると得意の「佐渡情話」を歌った。バットレスに行った時は、今はない広河原の国民宿舎の階段の下に泊まって飲んだものだ。M氏の思い出は尽きない。

先日はKとお墓参りに行った。お寺は塚原新田の法善寺だった。Kと般若心経を唱え冥福を祈った。

明日、日記は休みます。





2月17日(金) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月17日(金)07時02分46秒

M労山

のM・Tさんは、先日遊びに来た、Kと共通の仲間だった。  
M・Tさんは7年前の夏、飯豊連峰・石転び沢で滑落しクレバスに転落、亡くなった。当時、72歳。健在なら80歳近くなる。

M・Tさんとは数々の冬山・登攀をした。  
初めて会ったのは、私がOと二人で、仙塩尾根（南アルプス・仙丈ヶ岳～塩見岳の結ぶ長大な尾根）を冬やった時、三伏峠の下りだった。その時、初対面だったが、アッという間に盛り上がり、鹿塩のバス待ち時間に宴会だった。M・Tさんは43歳、私は29歳だった。

岩はバットレスは4回・前穂東壁右岩稜古川ルート・小川山スラブ状岩壁など登攀した。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

冬山は1976年、間ノ岳弘法小屋尾根～北岳から  
始り、77年・鋸～甲斐駒、78年・聖岳東尾根～茶臼岳、79年・二人で  
仙丈ヶ岳地蔵尾根～甲斐駒黒戸尾根、80年・爺ヶ岳東尾根～鹿島槍、

81年・遠見尾根～白岳、82年・遠見尾根～五竜岳、83年・樽池～  
白馬岳、84年・上高地～常念岳、85年・M・Tは横尾尾根（槍未登）、  
私は西穂高岳、86年・M・Tは徳本峠～大滝山、私は中崎尾根～槍ヶ岳、

87年・M・Tは表銀座、私は酒沢岳西尾根～奥穂高岳、88年・は  
一緒に北鎌尾根～槍ヶ岳、89年・M・Tは甲斐駒・仙丈ヶ岳、私は、  
赤河原～甲斐駒～黒戸尾根、90年・二人とも剣岳早月尾根だった。

何か長くなりました、続きはです。



2月16日(木)曇・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月16日(木)06時44分10秒

12日は、

[返信・引用](#)

[編集済](#)

さわやかハイキング、2月例会で丹沢・高松山（801m）  
でした。天気は無風。快晴。参加者は、10名。

高松山だけでは、やや時間が余るので、まず山北駅から洒水の滝を見学する。100m以上の巨大な美しい滝。ただ、現在今年の台風で直前の橋が落ちて、滝壺まで行けないのが残念。

入口でミカンを売っているオジさんを冷やかす。ブントンを1ヶ・100円で売っていたが、交渉して2ヶ・100円で購入。そうしたら更に上手がいて、6ヶ・200円(?)で買ってきた輩がいた。

洒水の滝から城山に寄って、高松山を目指す。標高約150mの山北駅から高松山は車道が長く、案外上りでがかった。最後の階段を上り切ると、広々とした爽快な頂上から、素晴らしい富士山が広がった。ここはイイ山だ。

頂上で丁度お昼の時間。無風・快晴の頂上で昼食を楽しむ。コンロに火を入れ、イワシ・タン・イカ・タマゴなどを焼いていただく。イワシのミリン干しがサイコーに美味しかった。（あ、そうだ今回、食べることに夢中で馬跳び・縄飛びを忘れた！）

記念写真を撮ってビリ堂経由で下山。こちらの道は自然で良かった。途中でまたまた、トラックでミカンを出荷する業者にバツタリ。ここは一番の交渉で、大きなミカン6ヶ+1ヶ+試食1ヶ=100円でゲットする。まあ、皆さんシッカリしています。

山北駅で柏市から参加したKと分かれて帰途に就いた。御殿場線は暖かく睡魔に襲われました。イイ山でした。







2月15日(水)曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月15日(水)05時38分52秒

K君とは、

私が沼津高専山岳部の顧問を頼まれてからの付き合いだ。  
彼がまだ20歳の頃のだから、かれこれ32年前の話。

彼とは数々の登山を共にしたが、中でも1980年12月29日～  
1月1日の鹿島槍ヶ岳、翌年、1981年12月30日～1月2日ま  
での五竜岳は印象的な山だった。

鹿島槍は、大雪で大町のガソリンスタンドの屋根が落ちていたり、  
三島を車で8時発だったが、雪道が厳しく、鹿島山荘に到着は19  
時だった。

当時の荷物は、秋に荷上げ（あらかじめ燃料・食料などを一斗缶に  
詰めて山に上げておくこと）をしてあったにも関わらず、後藤27Kg、

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

村松（Kの旧姓）28Kgだった。大雪で荷上げ品は3mくらい雪の下だった。

鹿島槍アタックは、飯豊で事故死したM、S、村松、私の4名だった。

BCで酒がなく、水盃で「酔ったふり」をしたものだ。81年、五竜岳は大雪・悪天候・雪崩で白岳までだった。結局、五竜岳は翌82年に登頂した。

80年3月20～22日は、高専生徒4名、教官（高専はこのように呼ぶ）1名と、八ヶ岳・ジョーゴ沢～硫黄岳と地藏尾根～赤岳～文三郎尾根をやっている。その後、5月連休の鹿島槍、25日、吉田大沢～頂上で五合発4：48で剣ヶ峰9：36だから、なかなかイイタイムだった。

6月・亡くなったMと3人で西丹沢・小川谷、7月・鍋割山～塔ヶ岳、7月・またMと西丹沢・悪沢、8月・上越国境、平標山～谷川岳縦走で平標山の西ゼンをやった。第一スラブ・第二スラブが雨で悪かった。村松は大分ビビったようだ。。稜線に出ると風雨が酷く寒かった。その時は二人がやっと入れる、仙ノ倉岳のパイプ避難小屋に泊まった。

9月・北岳バットレス。この時は二人で、第一尾根ノールルートと四尾根を上った。11月・小川山をやっぱりMと3人で、スラブ状岩壁・屋根岩二峰南稜だった。

81年になると一緒の山は少なくなったが、11月・富士山吉田口～頂上だった。この時は、BC発4：50～頂上9：45だったが、まあまあのタイムだった。スキーは、蓼科山・乗鞍岳で楽しんだが、たいした山はやっていない。

82年になると、村松も東京に就職して多忙になり、一緒の山はほとんど無くなった。でも、彼とは短期間ではあったが、記憶・記録に残るいい山の連続だった。そんな意味では感謝・多謝・深謝である。

写真は12日、快晴の丹沢・高松山にてK君との写真





## 2月14日(火)曇・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月14日(火)06時38分49秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

K君と

何処の山に行ったか調べてみた。ちなみに私は山行記録を大学ノートに残している。

1968年(昭和43年)から始った記録は、現在37冊になった。

回数は一昨日、12日の丹沢・高松山で1491回になった。

(この方法は、停電でも検索できるので、案外といけます)

だから、近い将来、待望の「1500回登山」になる。以前も書いたが私の場合は、海外も日帰りも朝駆けも、1回は1回。

年間毎週行っても50回前後。100回行くには2年掛かる。

で、500回は、1989年9月14日、1000回は、2001年8月25日だった。

やっぱり、500回は20年以上掛かった。500～1000回は12年、1500回は11年。年齢と共に回数は増えている。

1500回で20歳から65歳(ああ、歳がバレタ)で計算すると、平均33.3回になる。

勿論、その間には結婚したり、子供が生まれたり、仕事が忙しくなったり(??)で、年間ひと桁の時もあった。

そんな中の1500回。あと500回で2000回。500回は10年近く掛かる。健康なら可能な数字。

2000回目指して、張り切ってみますか。そのためにはいい仲間が必要ですね・・・（涙）（笑い）。

今日は、テーマを脱線でした。本来のテーマは明日です。



2月13日(月)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月13日(月)06時31分51秒

[編集済](#)

富士山

でK君のスキーは、30年振りくらいだった。

装備を見て驚いた。靴は懐かしい「ダハシュタイン」。この靴は私も以前履いていたが、いかんせん滑り難くとくに廃棄した。滑り難いのは、足首を締めるバンドが一本しかなく、しかも締め具合が甘いからだ。

ビンディングは、これまた懐かしい、ジルブレッタ。これも私は以前使っていたが、靴の挿入がワントッチでなく、屈んでタッチヤーを起こさなければ、靴が固定出来ないので、非常に使い辛い。現在は、ディアミールか軽量のG3が多い。板も長く細いもので、とり回しがし難いものだった。

そんなK君はさながら「浦島太郎」状態だったが、滑りは30年振りの割には、まあまあだった。今度、もう少し雪がいい、3月にやろうと約束した。





2月12日(日) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月12日(日)04時32分56秒

[編集済](#)

昨日は

富士山でスキーでした。天気は雪。参加は3名。

昔、M労山にいた柏市に住む、Kが遊びに来た。彼とは何故か気が合い、鹿島槍の冬をやったり、スキーをやったり、結構上った。彼は当時、沼津高専の学生で20歳だった。私が高専山岳部の顧問をやっていた関係で知り合った。

その後、彼は社会人になり、東京の山の会に入って、ヨーロッパ・アルプスに行って、モンブラン、ミディ南壁などを上った。その後、仕事が忙しくなって山から遠ざかったが、昨日は、久しぶりに登山だった。

スキーも30年振りだった。何回か転んだりしたが、何とか滑り降りた。それなりに楽しかったようです。そんな訳で、今日は丹沢・高松山と一緒に上ります。





**2月10日(金)曇・-1度**

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月10日(金)09時31分5秒

Sさん、

投稿、有難うございます。

相変わらず、マメにやっていますね。

奥さまも件、分かりました。了解です。生き分かれでなく良かったですね。

でも、さすがにお歳を召されましたね。私的には、永遠のアイドルで、露出しないほうが良かった??ですかね。

印象的な話は、徳沢園で越冬した件りでしょうか。

御冥福を祈ります。

町から赤紙ならぬピンク紙が来た。

介護保険被保険者証だった。

今月末、

誕生日なので、ああ、改めてそんな歳かと思いました。

これは現実なので、素直に受け入れましょう。  
昨日、巡礼のバスの中で「これでゴトーさんも、仲間だ」には、笑ってしまいました。



芳野満彦氏

[返信・引用](#)

投稿者：S 投稿日：2012年2月9日(木)23時41分7秒

外野から失礼します。伊豆の国市に住まいするSと申します。

私も芳野満彦さんが亡くなったことを先日知りました。実は2009年12月23日に水戸市の芳野さん宅を訪ねて色々お話を伺いました。その時撮った写真を添付します。当日「山靴の音」の初版本を持参してサインを頂きました（ちょっと自慢できる我が家の家宝です）。でもさすがに「足を見せて下さい」とは言えませんでした・・・ご冥福をお祈りします。

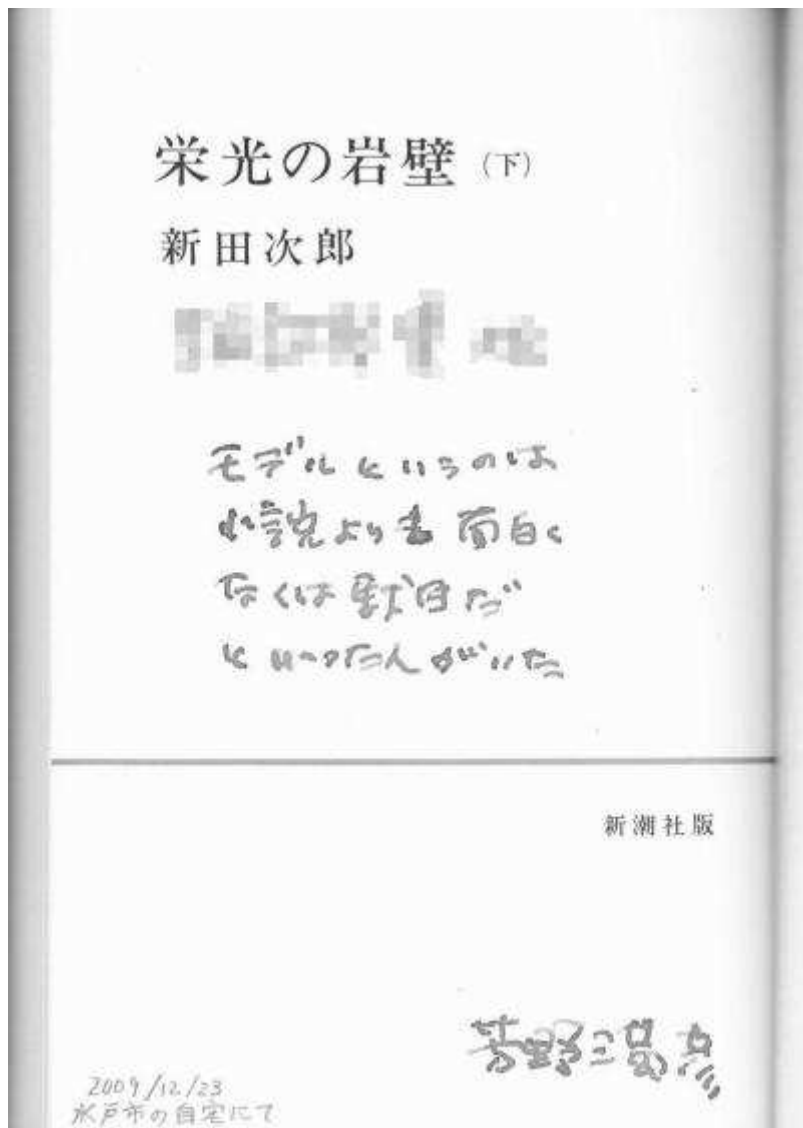
「栄光の岩壁」のあとがきには芳野（水戸のスポーツ店モリ商会に婿入りしたので本当の姓は服部だが芳野を通称にした）満彦氏の奥さんは服部洋子さんと出ています。その通りなのですが洋子さんは以前（もう10年以上前か？）に亡くなりました。

2009年に私が芳野さん宅を訪ねた時には水戸市内のマンションで別の女性と暮らしていました。確か芳野氏が絵を教えていてその時に知り合った人とか言っていたような記憶が



あります。この女性が新聞に出ている喪主の真理子さんではないかと思います。  
もちろん「栄光の岩壁」にもサインをして貰いました。





2月9日 (木) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月9日(木)04時53分19秒

今年も

確定申告の季節になった。

定年後何回かやっているの、全く問題はない。

今回も70000-余、還元・還付??される。

毎年、同じくらいの金額だ。

有り難い、など言わない。ようするに多く

摂られた・納め過ぎただけの話だ。

こう毎年では、利子付けろと言いたくなる。

それよりも、税金の無駄使いでだけは、あつて欲しくない  
と、切に願う次第。

エライ・偉い??政治家さまですね。。。。。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

今日は、2月度伊豆平日巡礼です。



2月8日(水)晴・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月8日(水)05時37分6秒

[編集済](#)

登山家

の芳野満彦さんが亡くなった。(享年80歳)  
といっても、この方の名前を知っている人は結構古い  
山屋だろう。

懐かしい名前だ。初めて知ったのは、「山靴の音」と  
いう本。勤めていた会社の図書にあった。

1948年(昭和33年)、確か八巻(はちまき)氏と  
八ヶ岳で遭難して、友人は凍死、自身足の甲から先を  
失ってしまう下りは壮絶だった。

しかし、その後が凄かった。前穂高北尾根四峰正面積雪期  
初登攀を始め、65年・マッターホルン北壁を日本人初登攀、  
3大北壁登攀成功など、輝かしい登山歴を残した。

新田次郎の「栄光の岩壁」新潮社（上・下）は、氏がモデルの本で、マッターホルン初登攀の様子が描かれている。

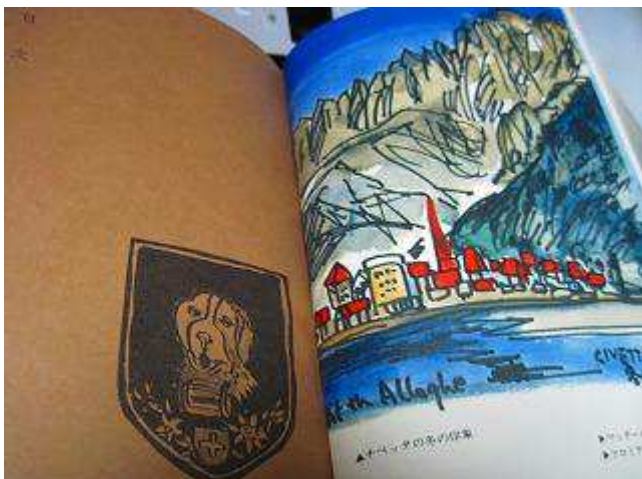
ちなみに、

奥山 章等と北岳バットレス中央稜積雪期初登攀も記憶に残る記録である。（その後、奥山 章は、ガンを病んで自殺した）

この登攀には、芳山で滝沢で亡くなった、吉尾 弘も参加している。

絵画や文才にたけ、著書は多い。独特の文章と絵は魅力があった。若いころ、私もそうありたいと憧れたものです。

ひとつの時代が終わりました。残念ですね。



2月7日 (火) 雨・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月7日(火)06時25分56秒

[編集済](#)

今日は

気温が高く風雨が激しい。

こんな時は積雪が多い富士山では「雪代（ゆきしろ）」が起きる。

「雪代」は、富士山独特の呼称で、雪崩れを指す。

この雪崩れは通常の雪だけの雪崩れと違い、雪と水（雨）が混ざった巨大なエネルギーを持つもの。

雨が混ざるので春先に発生する。2～3年前の春、富士宮口で巨大なやつが発生し、周遊道を上から横断破壊し、5月の開通が遅れたのは、記憶に新しい。

現在、周遊道を太郎坊まで行くと洞門がある。もともとあそこは普通の山だったが、数十年前、二ッ塚から巨大な雪代が発生し、周辺の樹木をなぎ倒し、周遊道を破壊しその下部まで達した。

その沢は現在樹木が育って当時の面影はないが、当時、樹木は一切ない広大な斜面が二ッ塚まで続いていた。

だから、あそこはまたいつか大きいのが来る可能性がある。そんな訳で洞門を作った。自然の猛威は計り知れないですね。





2月6日(月)曇・4度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月6日(月)08時23分49秒

[編集済](#)

今日は  
今までに比べたら、随分暖かいです。

雪山は好天と荒天では、天国と地獄の差がある。かなり厳しい行程でも、好天なら希望を持って行ける。しかし、楽な所も荒天の場合、絶望的行程となる。

ただ、厳冬期の2月は好天の確率がグッと下がる。例えばNHKの天気予報で晴れでも、それはあくまで下界の天気予報。上空2500m以上の天気予報ではないから、予報はあくまで参考に過ぎない。

先日の富士山、今回の蓼科山も下界は晴れている。しかし、両山とも上部は「しぐれ」で黒雲がまとわりついている。上部には低圧部があって、この「しぐれ」がなかなか払拭できない。

でもまあ、2月の雪山に上るということは、そういうことなのです。好天に越したことはありませんが、荒天もまた楽しい。それも雪山の楽しみなのですね。





2月5日(日)晴・-1度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月5日(日)08時38分3秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

昨日は

蓼科山でした。天気は下部は曇り、上部は吹雪でした。  
参加は2名。このところ訓練を重ねた、Hさんが雪山デビューした。

9:05、女神茶屋駐車場発。登山者は多く、駐車場は一杯だった。  
何とか1台分確保。天気はハッキリしない。積雪は思ったほど多くない。トレースはバッチリだった。

下部は陽光が差したり、曇ったり。山頂は黒雲が去来している。  
上るに従って風が強くなる。気温は顔がヒリヒリでマイナス15度くらい。早々下山の夫婦とおぼしき年配者。「早いですね」の声に「風が強くて降りて来た」の弁。ザックはペラペラで、これで雪山に上れる??の装備。困ったものです。

森林限界を抜けるとモーレツな風。ただ下・後ろから吹いているので

上る分には楽だった。12:25頂上着。途中、食事をした分、前回より時間が掛かった。

早々に下山。森林限界までルートはハッキリしない。森林限界からザックザック下る。10人くらいゴボウ抜きだった。途中、スキーの跡があった。駐車場着13:55。1:25だった。これは前回より速かった。

蓼科山はいい山です。雪山初本チャンのHさんは、猛吹雪の中、よく上りました。やっぱり雪山はイイですね。精進・努力・研鑽です。今後に期待しましょう。







### 2月4日(土) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月4日(土)04時50分58秒

本日、

日記はお休みです。

蓼科山に行って来ます。

### 2月3日(金) 晴・-6度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月3日(金)06時41分25秒

今朝は

寒いです。

寝ていて頭がスースーでした。

6:40、駐車場の気温が何と最近では最低の、マイナス6度でした！！

明日は富士山予定ですが、いやはや寒いでしょうね～。

ところで、

むつ市に担任赴任のNさんは、大雪で如何でしょうか??

あれでは仕事にならないでしょうね。

頑張ってください！！

[編集済](#)



**2月2日（木）晴・寒**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月2日(木)06時25分27秒

いま、

稲取で「ひな祭り」がたけなわです。  
陶器の雛人形（1800ー）は、なかなか素敵です。

一緒に売っていた「キンツバ」は、おとなしい味で  
美味しかったです。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

これから河津桜とセットで更に賑やかになるでしょう。



2月1日(水) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年2月1日(水)10時10分59秒

伊豆巡礼で

稲取に降りて行くと、庭先で若い女性が金目鯛のウロコを取っていた。

素人の方が釣ったと思いきや、プロの漁師で、市場に出せない小さなものは、家で食べるそうだ。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

これからまた出漁??かどうか分からなかったが、また餌を針に付けて、樽の回りに並べていた。

金目鯛は、300mくらい釣り糸を落とすと言っていた。  
鷲頭山くらいの、深海から釣るわけですね。

ちなみに、同じ金目でも稲取のものは高価だそうです。



1月31日(火)晴・-2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月31日(火)08時57分56秒

[編集済](#)

一昨日は、

1月度伊豆休日巡礼でした。天気は小雨から晴。  
参加は8名でした。

今回は、先週雨の代替日。日程変更で参加者が少ないので、マイカー実施となった。  
伊豆高原駅先のコンビニから出発。

28番・大江院を経て、29番・龍豊院に向かう。ここは旧道を歩くので安心なうえ静かでよい。  
反対側から夫婦・女性同士・単独男性が歩いて来る。皆、同じパンフレットを持っていた。  
伊豆急行がJRでやっている、鉄道ウォーキングを実施していたのだ。

龍豊院から30番・自性院に到着。この日は、ここで昼食。  
住職はいなかったが、優しいババさまが応対。寒い日だったが、本堂にストーブを3つも置いてくれた。有り難い。感謝、感謝です。心づかいを少し置いて来た。

ここから、片瀬白田に一気に下り、31番・東泉院着。今回は何故か訪れた三寺全て「院」でした。  
東泉院の副住職は女性。実はこの方に初めて会ったのは5年前、第1回目の伊豆巡礼時だった。

その時はまだ独身だった。凄く綺麗な印象的な方だった。3年前、第2回目の時は結婚して九州に赴いたと父親の住職は話していた。で、今回5年振りにお会いしたが、修行を終え帰って来た??ののだろうか。子供さんも2人いた。

5年振りに、お会いしましたが、随分痩せてメガネも掛けて頭を剃ってあるので、随分印象が違いました。伊豆の寺院で剃髪している女性はもう一人いるそうです。  
曹洞宗なので永平寺で修行?と聞いたら、女性は名古屋の専門寺で修行だそうです。記念写真を一緒に撮ってくれました。いい方です。

ここから稲取まで山を越えて行く。これで完全歩行が出来る。  
稲取はひな祭りで賑やか。

帰りは伊豆高原まで電車でした。640ーはちょっと高いですね。



**1月30日(月)晴・-2度**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月30日(月)09時49分45秒

一昨日は

今期、富士山初スキーだった。

朝、周遊道はマイナス10度だった。洞門から雪量は申し分ない。

朝方は好天だった。久しぶり見事な富士山を仰ぐ。

駐車場で休憩中、グラグラ。地震らしい。風はないのにカラ松が揺れている。その後、大きいのが来た。山がゴ〜オと揺れた。震源が何処か気になった。仲間に聞くと富士五湖方面とのこと。伊豆でなく少し安心。

標高2200m、旧測候所中継小屋まで上った。10時だった。

ここからイイ雪が続きそそられる。しかし、どうだろう俄かに怪しげな雲が去来し、みるみるま間にガスって来た。ヤバい

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

のでシールを外し、滑降態勢に移る。

若い衆が二名いた。滑降態勢に入った私を見て、「こんなイイ雪は珍しい。上らないのはおかしいね」など、私に聞こえるように話している。素人・外様は富士山のホワイト・アウトを知らない。ここのホワイト・アウトで何回苦労をしたことか。大げさではない。1メートル先が分からないのだ。樹木・岩・人工物が一切ない富士山のホワイト・アウトは本当に難しく怖い。

すぐ下って下から上って来るKに下るよう指示。とにかく酷いホワイト・アウトになる前に急いで下る。それでも「白い悪魔」にすでに捕まった。ヨロヨロ・フラフラしながら何とか下る。

一瞬の晴れ間をついで下部はイイスキーだった。天候に恵まれ雪が良ければ、スキーはサイコー。ガンガン飛ばす。山はもう真っ白で雪が降って来た。Kも無事帰着し早々に帰った。

ところが、昨日の朝刊をみて驚いた。須山の有料道路で凍結した路面で乗用車の衝突事故。R469の十数件のスリップ事故で200台が一時立ち往生とのこと。先週も下山時、側溝に2台落ちていた。1台は後ろから突っ込み、今週まだ片づけるてなかった。この時期、都会の連中は備えなしで山に来るので事故が多い。

この日も御殿場まで下ると晴れている。しかし、山は雪だ。油断は禁物ですね。





**1月29日(日) 晴・やや暖?**

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月29日(日)04時31分53秒

今日は

1月度・伊豆休日巡礼です。

昨日は、富士山で初スキーでした。

朝は多忙なので明日、報告しま〜す。





1月28日(土) 晴・やや暖?

[返信・引用](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2012年 1月 28日(土)03時 46分 11秒

[編集済](#)

富士山

ウォーキングの下見で沼津魚市場に行ったら、「沼津みなと新鮮館」が出来ていた。

丁度、昼時だったので、塩焼きマグロのカマを食べた。  
850-でしたが、なかなか美味しかったです。

ここは他にも刺身定食(900-)などもあり、楽しめる良い所です。

今日は、富士山で登山とスキーです。



1月27日(金)晴・-3度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月27日(金)06時35分30秒

[編集済](#)

昨日

庭の水道が凍っていました。やっぱり、今年の寒さは半端でないようです。今日もかなりの寒さで、-3度は初めてです。

富士山ウォーキングで千本松原の堤防を歩いた。田子の浦湾から千本公園まで約16Kmある。展望が良く素晴らしい景観の中を、歩く人・ランニングする方・自転車を飛ばす輩と多彩だ。

お昼前、堤防で休憩をしていたら突然「Gさん!!」と声を掛けられた。ヘルメットにサングラスとフェースカバーのサイクラーで全く誰か分からない。暫く目が点で、ムムム状態だったが、「Aです。しばらくぶりです」とのこと。

「Aさん・・・??」暫く考えて、やっと思い出した。麗峰山の会のAさんだった。サイクリングが好きで今日もここに来たようだ。山の会の仲間だが、実は昨年春、一度位牌岳に上って以来、お会いしていなかった。しばし歓談し、また山に行きましょうで分かれた。

Aさん、また山に行きましょう。



1月26日(木) 晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 1月26日(木)06時48分2秒

[編集済](#)

昨日は

1月度・富士山ウォーキングB班でした。  
コースは、富士市・米之宮神社～田子の浦港～松陰寺～  
沼津・千本松原～乗運寺の約20Km。  
参加は14名。天気はやや風・快晴でした。

昼食は、原の公園の日だまり。  
新年で皆さんが作った様々なオカズをいただきました。

デザートは、Oさんが作った紫イモのヨーカン。  
これは逸品でした。色が素晴らしい。  
私も昨年、紫イモを作り、ヨーカンを作りましたが、この色  
は出ませんでした。

勿論、味もサイコー。皆さん料理の腕は、プロ級です。  
脱帽！！





1月25日(水)晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月25日(水)05時14分24秒

ニッ塚

たとえば、昔ここに「御殿場スキー場」があった。  
ネットでは、

[http://www.fjsan.net/fjski\\_jyouimamukashi.htm](http://www.fjsan.net/fjski_jyouimamukashi.htm)

明治時代に日本に伝えられたスキーだが、富士山麓にも明治43年スキーをやった記録があったと紹介されている(岳麓漫歩四)。

スキー場は大正時代にはあったと思われるが、手元にある最も古い記録では昭和3年御殿場口のスキー客が「700名以上に達した」と紹介されている(大富士遊覧案内記)。

左の写真は太郎坊スキー場のポストカードだが、「富士御殿場スキー場」と写真の紹介が入っていて、写っている横断幕には「太郎坊館 富士スキー場」と記載されている。

左下のピンク色の印刷物は御殿場の田口館が発行した富士御殿場太郎坊スキー場の昭和8年発行案内パンフだ。

田口館が別館を太郎坊に造ったのは昭和6年と紹介されている(岳麓漫歩四)。

左下の茶色い「富士山麓スキースケート」パンフは富士山麓電鉄(現富士急行の前身企業)が昭和9年に発行したパンフレットで下のスキー場案内地図が掲載されている。北麓には現在よりもたくさんスキー場があったことが分かる。

左右の写真は太郎坊スキー場のポストカードだ。昭和49年には御殿場市が双子山近くにスキー場を建設している(岳麓漫歩四)。以上のように富士山麓のスキー場は歴史的には古くから開設されているが時代とともに大きく変遷している。それは長野や新潟など豪

[返信・引用](#)

[編集済](#)

雪地帯と違い雪が少なく、営業期間が短いことなどから、経営的に厳しいことが原因しているのだろうか。とまれ、雪さえあればスキーは今後も冬の重要な観光資源と言えるのだろう。

とあった。

昭和49年（1974年）開設とあり、私も何回か滑ったが、結局、たび重なる「雪代（ゆきしろ）＝富士山独特の春先の雪崩」で、何年に撤去・廃止になったか、調べないとハッキリしない。

しかし、ニッ塚下部に一基のリフトが架かっていたことは事実。当時は、今のように写真が手軽でない時代。写真がないのが残念です。

ま、今となってみれば、そんな無粋なものが無くなってよかったですね。



1月24日(火)曇・2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月24日(火)09時55分46秒

[編集済](#)

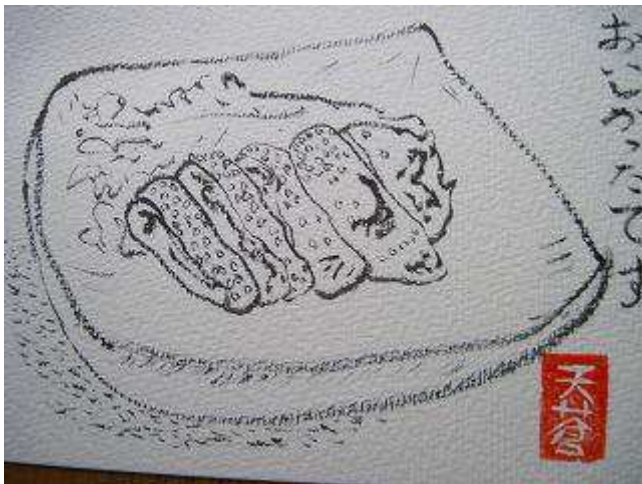
知り合いに

「イルカ」をいただいたので食べた。  
毎年、秋～春になると魚屋に、「イルカ」が出回る。  
ところが、今年は一向に出回らない。

魚屋で確かめると、今まで多くの「イルカ」は、東北から  
入荷したとのこと。  
ところが今年は震災で入らなくなってしまった。

「イルカ」は、川奈??!!とっていたのは違っていた  
訳です。  
ただ、最近の「イルカ」は、あらかじめ「アク」  
を抜いてある。  
だから以前のように、食べると一日中、口  
の回りが臭いなんていうことがなくなってしまった。

あの、モーレツな「イルカ」を食べたいですね～。



1月23日(月)晴・6度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月23日(月)08時37分29秒

[編集済](#)

一昨日

富士山でボーダーに会った。  
ラッセルが二条だったので、聞いたら「スプリット・ボード」  
とのこと。

普通、ボードは、スキーのようにシールを貼って歩行が出来ない。

「スプリット・ボード」は、ボードが左右二つに分割されて  
スキーのようにシール歩行出来るもの。

しかも、そのスプリット・ボードは、「手製」とのこと。  
へ～、の感じでした。板も自分で切断したという。分割用  
の部品が売っているそうです。そんなに若くない感じの方  
でしたが、情熱的な方がいるものだ后感心しました。

仲間がバートンのスプリット・ボードを持っていますが、  
購入するとかなりの高価です。

ただ、一昨日は超悪雪で、その方は歩いて下山でした。  
滑降を見たかったのですが、ちょっと残念でした。



1月22日(日)曇・暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月21日(土)16時48分29秒

[編集済](#)

昨日は

富士山で雪遊びでした。

待望の富士山の雪でしたが、湿雪・重雪・深雪で参りました。

私も長く富士山に通っていますが、久しぶりに「ワカン」を

履きました。

それは勿論、スキーで行く手もあったのですが、どうせ??!!

この時期は雪があってもスキーになりません。

そんな訳で、強いて「ワカン」で上った訳です。

天気は相当悪かったですが、やっぱり好きな方はいますね。

洞門の駐車場それほど混んではいませんでしたが、スキーヤー

1名(?)、ボーダー1名(?)、登山者3名(?)がいて、

ボーダー、登山者と交流しました。

ボーダーの中年のおじさんは、全く滑れない(滑らない)で、

歩いて下山でした。(やっぱり・笑)

でも、まあ、これから富士山は大いに楽しめるでしょう!!

今日、伊豆休日巡礼は雨で延期になりました。







1月21日(土)曇・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月21日(土)06時37分22秒

待望の

大雪です。

明日は休日巡礼なので、今日何処かで雪遊びです。

幸い、通行止めは少ないようです。

スキーも行きたいですね～！！

写真は、昨年の富士山雪遊びです。

イイですね～！！





## 1月20日(金) 雨・4度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月20日(金)09時53分25秒

今朝の

気温は案外高かった。やっと、南岸低気圧が通過するようになり、雪が降るようになった。富士山は期待です。

ウォークで、田子の浦から沼津まで海岸線を歩いた。原あたりの海岸では、ダンプが盛んに土砂を運んでいた。それを、波打ちぎわにおんまけていた。それをクレーン船みたいのが、海にこぼして埋め立て??ていた。

よく見ると長い海岸線でほかの所は普通の自然の海岸。その付近だけ妙に不自然で汚い。海岸を埋め立てて防災措置を計っているのか。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

それにしてもここだけで16Kmある海岸。防災措置としては、  
気が遠くなる話だ。

それよりもっと気になるのが、税金の行方ですね・・・。

ネットを見たら大層な計画がありました。

ご覧ください。

<http://doboku.pref.shizuoka.jp/kawa/seaplan/surugaplan/plan.pdf#search='>



### 1月19日(木) 晴・2度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月19日(木)09時14分44秒

昨日は

1月度・富士山ウォーキングA班でした。

行程は、富士市・実相寺～中央公園～田子の浦港～松陰寺  
～千本公園～乗運寺＝約20Km(車計測)。天気は無風・快晴。

参加は19名でした。

前回、最終の岩本山・実相寺から出発。天気はサイコーで新雪の  
富士山が大きかった。米之宮神社から田子の浦港に向かう。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

田子の浦港では、巨大な製紙用のチップ置き場があり、ダンプが頻繁に行き来している。

田子の浦から駿河湾の堤防を延々と歩く。ここは沼津・千本公園まで約16Kmある。ただ、先般の台風で塩害の松の木が赤茶けて痛々しい。途中、地図上では昭和放水路があるが、海岸に埋設してあるので、分からなかった。

原駅近くの公園で昼食・休憩。無風・快晴で快適昼寝。午後も頑張って結局、千本公園をパスして乗運寺まで歩いた。車計測ですが、実相寺から、丁度20Kmです。この距離は、今回のウォーキングで、最も長い距離でした。

これだけ歩けたのは、ルートが直線的で上りがないことです。



1月18日(水) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月18日(水)05時38分45秒

寒中

[返信・引用](#)

[編集済](#)

お見舞申し上げます。

今年は、ちょっと寒いですね。お体に気を付けご自愛下さい。

今日は、富士山ウオーキング A 班で、富士市～松陰寺です。



1月17日 (火) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 1月17日(火)06時51分1秒

冬山

では、些細なことが命取りになることがある。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

年末の甲斐駒もひとつあった。

頂上直下、モーレツな風の中、ザックを開けようとバックルに手をかけたが、どうにも開かなかった。

通常、冬山の手袋は3枚装備する。一番中は薄いインナー、二番は厚手のもの、アウターは、ナイロンのオーバー手袋。オーバー手袋は、親指と四本指が一緒になった形。四本指が一緒のはやや使い難いが、これでないと指をやられる。

その手袋で開ける訳だが、バックルの引掛けの部分が小さい上、へっ込んでいるので、どうにも指が掛からなく開からない。要するにザックのデザインが、そのような手袋に対応していないのだ。

ただ、いろいろザックを見てみたら、外国製のスキー用ザックはバックルが5倍くらい大きく、引掛けが外に露出していた。これなら大丈夫である。簡単に開けることが出来る。

考えた見たら、ザックは夏・冬用と分けてはいない。本来なら冬装備で対応出来るザックが必要だろう。装備購入の場合は、そこまで吟味する必要がある。

ザックひとつ購入でも、なかなか奥が深いものです。





1月16日(月)晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月16日(月)06時58分19秒

昨日は

寒さもあいまって、先日、話題になった本を読んだ。

独占手記

「ミニヤコンカ奇跡の生還」松田宏也 山と溪谷社 P278

ミニヤコンカ(7556m)は、中国・チベット自治州に聳える世界屈指の難峰。

難しい山で遭難事故が多く、1981年、北海道山岳連盟登山隊は8名が滑落死している。

この時の搜索記述があるが、大腿部が氷河から出ていて、引っ張ったら、胴体はなく足だけスッポリ抜けたとある。

松田氏は19日間、山を彷徨い救出されるが、その代償は大きく、両手の指全部、くるぶしから10cmの所で両足を切断した。結果、第1級重度身体障害者となる。体重は62kgあったのが、32kgだったという。

[返信・引用](#)

[編集済](#)

「たか号」遭難と共通点がいくつかある。

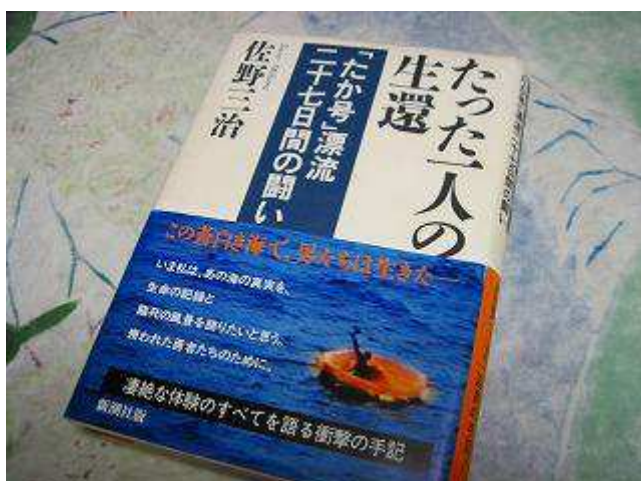
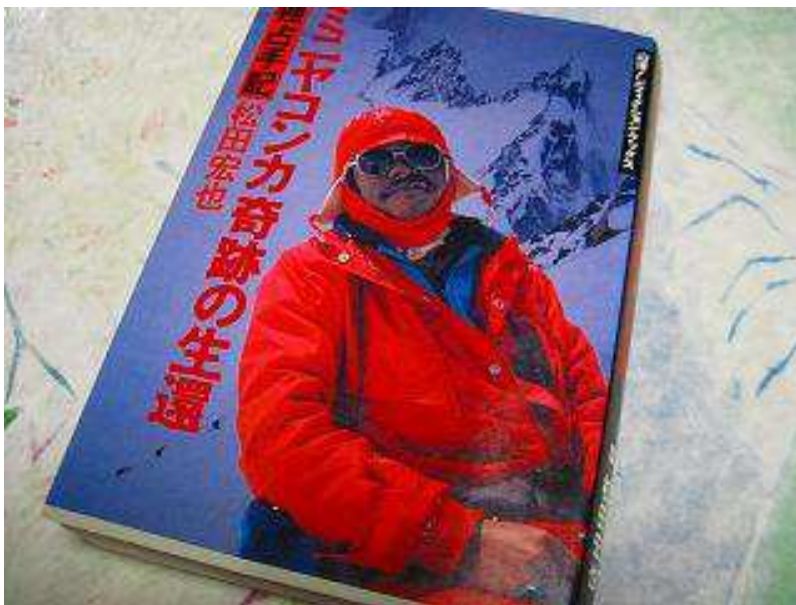
退却・撤退のタイミング。「たか号」も僚友艇のマストが折れたり、2艇が引き返した時点で、天候の重大さを認識して退却すれば遭難はなかった。

「ミニヤコンカ」の場合も、登攀リーダーが降りてしまい、指揮官が不在になった。その中で、「もう少し、もう少し」と突っ込んで行くうちに、進退が極まってしまった。山岳遭難で最も悪い例だ。

ほか、準備段階での様々なトラブル。最初から・出発前から「遭難は示唆されていた」の感はぬぐえない。

いずれにしても、遭難・アクシデントは、一過性・表面的なことではなく、深層的原因・要因があるということだろう。

遭難は、私自身何回か経験していますが、これは、己の問題としても考えていかなければいけないことです。





1月15日(日)晴・寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月15日(日)05時46分27秒

[編集済](#)

所用で

葛城山(452m)に上ったら、パラグライダーのランディング・ポイントがあった。

女性を含む何人かいて、次々と飛んで行った。  
聞けば、遠くは箱根を越えて、相模原まで行くそうです。  
多くは丹那盆地に向かうらしい。

それにしても、葛城山は急峻な山で、スタートを切るのは  
なかなか勇気が必要な感じ。  
山と違って、地球に足がついていないので、怖い感じですね。

とても私には出来ません。(笑い)



1月14日(土)晴・2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月14日(土)06時36分32秒

[編集済](#)

伊豆

巡礼の帰路、河津桜が咲いている情報があったので  
見学に行きました。

咲いていました。満開状態でした。

木の近くに共同温泉があって、その温泉の温度が開花を促進  
しているとのこと。

それにしても1月上旬に咲くは、感動的です。

踊り子会館で入浴でしたが、ここの庭の木も二輪咲いていました。  
やはりここも温泉の影響があるのでしょう。

いずれにしても、春から縁起がいいや～、で嬉しいことですね。



ご無沙汰してます(^-^)/

[返信・引用](#)

投稿者：妹尾博彦☒ 投稿日：2012年1月13日(金)16時18分57秒

後藤さん、ご連絡ありがとうございます。

ホームページ観させていただきました。お元気にご活躍のご様子・・・なによりです。

実は、ここ数年の後藤さんからの賀状がへんに宗教がかってきたので、お体の具合でも（飲みすぎで）悪くされたかと心配していました。

昔作って放置していたホームページだけど見てね！<http://members3.jcom.home.ne.jp/hs3/>

<http://members3.jcom.home.ne.jp/hs3/>

## 1月13日（金）晴・一2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 1月13日(金)10時26分56秒

[編集済](#)

昨日は

1月度・伊豆平日巡礼でした。天気は晴、参加は17名。

伊豆方面は、前夜の雨が雪になって冷川峠付近は一面銀世界でなかなか見ごたえがありました。

来宮神社を見学して28番・大江院から出発。29番・龍豊院を訪ね、30番・自性院で昼食。ここから31番・東泉院を経て、稲取に向かいました。

ここで過去2回は国道135を黒根トンネル手前まで歩きました。しかし、トンネルは歩道がなく狭く、非常に危険なため、数百mバスに乗っていました。

「伊豆完全歩き巡礼」を謳っている我々にとって、ここは言わばノドに引っ掛った骨で、痛しかゆしのところでした。

で、昨日は行程もはかどっているし、2012年初巡礼ということもあり、一念発起し寺裏に伸びる、災害時緊急道路を利用し、新白田トンネルを越えて稲取まで歩きました。

標高差は285m。上り約1時間、下り45分程度で、無事稲取高校脇に降り、国道135に着きました。

これで、6月予定の下田の49番・大梅寺～52番・曹洞院間が歩かれれば、「完全歩き」が実現します。



1月12日(木) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月12日(木)05時50分48秒

[返信・引用](#)

[編集済](#)

昨夜

久しぶりに降雨がありました。

まあ、日記のせいでもないでしょうが・・・。

「たった一人の生還」を再読した。

副題は、「たか号」漂流27日間の闘い

佐野三治著 新潮社 245P

1991年12月26日、油壺～グアム間ヨットレースで7人を乗せ、油壺を出航した、ヨット「たか号」は、29日20時ころ猛烈に荒れる海で転覆した。それから、1992年1月25日に救助されるまで27日間漂流する。

飲料水・食料はほとんどなく、狭く不安定なラフト（救助艇）の27日間の漂流で救助されたのは、たった1人だった。なぜ、一人だけ助かったのかは、ハッキリは分からない。

ただ、恒常性維持機能（ホメオスタシス）が非常にある人だった。  
要するに生き残れるタイプの体質だったようだ。  
文中、ミニヤコンカで生還した松田宏也さんの話が出てくる。

海と山の違いだが、強靱な精神力・生命力は共通するものがある  
ようです。

今日は、1月度伊豆平日巡礼です。



1月11日(水) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 1月 11日(水)06時40分51秒

[編集済](#)

冬山で

雨に降られたことも何回かある。

12月末の冬山でも、しばしば降雨はある。

一度は甲斐駒を釜無川源流から上った時。

12月末の入山日、シトシトと雨が降っていた。当時、冬山用の大型ザックにザックカバーが無かったので、装備はビチャビチャ。

そして、夜から晴れて気温は12月末の本来の冬になった。当然、装備はカチカチに凍ってしまう。最悪なのが登山靴で、当時は今みたいに二重靴でなく、革のシングル靴。翌日の鋸岳では、足指が痛くて堪らなかった。

もう一度は、やっぱり12月末の中崎尾根～槍ヶ岳だと思ったが、ハッキリしない。

とにかく長い冬山登山で、2回は雨に遭っている。冬山で雨に降られる……。ないようで、あることなんですね。





1月10日(火) 晴・やや暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月10日(火)06時26分51秒

冬山

の風は怖い。

冬のマッキンレーで遭難した植村直己は、原因が一説には、「風で飛ばされた」と言われている。

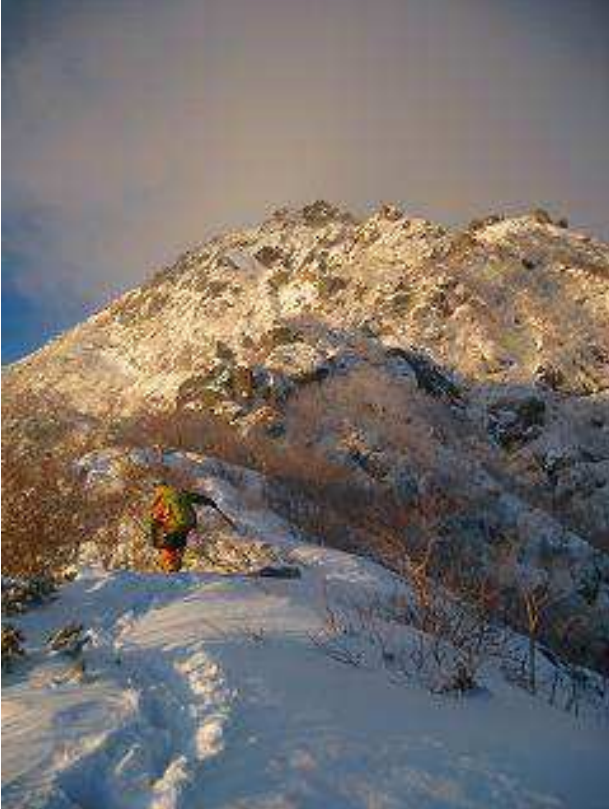
北極圏のマッキンリーは、冬猛烈な風が吹く。  
人間は風速45mで飛ばされてしまうとされる。  
植村は稜線上で枯の葉のように、飛ばされたのだろうか……。

風速45mあるかどうかは分からないが、過去、歩けない風にあったことはある。  
印象的だったのが、乗鞍岳(3026m)で頂上直下のコル(鞍部)は、立って歩けないので、匍匐前進(ほふくぜんしん)で這って上った。  
3000mの独立峰の乗鞍岳はモーレツな風が吹くのだ。

他、富士山頂・槍ヶ岳のコル・八方尾根・先日の甲斐駒など。  
森林限界でなく樹木が少ない所は、歴史的に風が強いと所と思ってよい。八方尾根などはよい例だ。  
富士山などは、強風で小石がパラパラ飛んで来ることがよくある。  
山頂付近で、テントが大空を舞っていたこともある。

下界でも風は怖い。台風の際は注意が必要ですね。

[返信・引用](#)  
[編集済](#)





1月9日(月)晴・2度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月9日(月)10時13分26秒

[編集済](#)

昨日は

さわやかハイキング、初登山で南箱根・岩戸山(734m)でした。天気は晴。参加は9名。

湯河原駅から出発。

千歳川に架かる県境の千歳橋を渡って、東尾根に取りつく。ただ、東尾根と言っても立派な道路が伸びている。

それでも標高300m付近からすこし山道になる。が、また標高400m付近から500m付近は、七尾の別荘地と保養所が多くなる。

本当の山道はこの先で、ようやく山らしくなった。

簡単に頂上に立てば、やや雲は多いものの相模湾・天城連峰・箱根・沼津ALPS・駿河湾が見えた。

昼食は日金山・東光寺分岐の笹の広場で摂った。

ちょっと寒かったが、暖かいカップ・ラーメンと焼いたお餅・目刺しが美味しかった。

下山は熱海駅に降りる。時間のある方は駅前の田原温泉に入った。泉質は少ししょっぱく無色・透明で源泉は80度だそうだ。500円と安価で小さな休憩場があった。

16時前に沼津駅に戻り、華の舞で新年会でした。ひどく酔っ払い、下土狩駅から家まで(約200m)タクシーでした??!!(笑い)





1月8日(日) 晴・やや暖

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月8日(日)05時47分12秒

冬山

の風については、今朝は時間がないので明日書きます。

今日は、

初登山で、熱海・岩戸山です。電車で行く山です。





1月7日(土) 晴・-2度

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月7日(土)04時59分39秒

冬山

で怖いのは低温と風。

低温は日本の高山で経験できるのは、風を考慮しない場合、

[返信・引用](#)

マイナス20度くらいだろうか。

だろうと言うのは、ほとんど寒暖計を持参していないので正確な気温は分からない。

ただ、経験的に言えるのは、目出帽（あの強盗みたいな・・・）を被って、顔がヒリヒリするくらいの温度はマイナス15度くらい。

冬山経験は長いが、マイナス20度はなかなか経験出来ないのではないか？。

最も冬山と言っても幅広く、11～12月は新雪期、1～2月が厳冬期、3～4月は残雪期。

我々が上っているALPSは、12月が多い。最も厳しい2月にのぼれば、マイナス20度は経験出来ると思う。

最も厳しい季節の2月にALPSに上る・・・。

なかなか出来ないことですね。





1月6日(金) 晴・寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月6日(金)06時15分30秒

冬期

[返信・引用](#)

[編集済](#)

上っているALPSで一番回数が多いのは甲斐駒ヶ岳。  
そもそも甲斐駒は、富士山を除いた3000m近いALPS  
で、長泉町から一番近い山なのだ。

初めて甲斐駒に上ったのは、1967年11月、  
戸台～角兵衛沢～鋸岳～六合石室(泊)～甲斐駒～黒戸尾根  
だった。

冬は1969年12月30日～1月5日で、摩利支天壁中央壁と  
水晶沢、仙丈岳を上った。ALPSの冬としても初めてだった。  
水晶沢は当時としては、今ほど盛んではない氷瀑登攀だった。

以前は長野側の戸台から上ることが多かったが、最近は山梨側  
からが多い。

山梨側は、坊主尾根・日向八丁尾根・そして黒戸尾根と印象的な  
ルートが多い。

ちなみに忘れていましたが、去年は冬、2回甲斐駒でした。  
すなわち、2011年1月2日～4日・・・・・・戸台～北沢峠～甲斐駒  
2011年12月29日～30日・・・・・・黒戸尾根～甲斐駒  
甲斐駒は近くて、まだまだ楽しめる山ですね。

写真は、最近のほぼ同じ場所での冬の黒戸尾根。

上＝2008年12月31日

中＝2010年1月3日

下＝2011年12月30日



1月5日(木) 晴・-1度

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月5日(木)06時39分50秒

[編集済](#)

冬山で

一番大変なのがトイレ。

山小屋に宿泊すれば、囲いがあるって何とかはなる。

大変なのがテント泊。

場所は不安定で風はまともに受ける。短時間で済ませるのがコツだが、なかなかそうはいかない。

北鎌尾根の時など、場所が狭く急なガリー（岩溝）しかなく随分苦勞したが、誰かがテントの近くで済ませ、それを踏んでしまった仲間がいて、大騒ぎになったものだ。

また、白根三山を間ノ岳弘法小屋尾根から上った時など、プレッシャーからか、入山して4日くらい一回もやらない仲間がいたりした。

ヨーロッパ・アルプスのトイレも大変。

何百メートルの崖にチョココンと建っていて、全てのものは空中を飛翔して氷河に落ちる。

時々、落ちて怪我をする人もいると言うから恐ろしい。

今回の七丈小屋は、狭いながら洋式で快適だった。

もちろん、そのために多くの方の努力・奮闘（ふん闘??!!）があると思うが、感謝・感謝です。山小屋も随分変わったものです。

写真は、七丈小屋のトイレ。





1月4日(水) 晴・やや寒

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月4日(水)08時59分49秒

年末年始

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

の山岳遭難、今回は少ないと思っていた矢先、2～3の遭難が報じられた。

遭難が起きた、槍ヶ岳北鎌尾根・奥穂高岳は、かつて私も冬上ったところ。

北鎌尾根パーティーの計画は、28日に入山、2日下山予定だった。

ここは厳しいルートだが、まあ普通5日あれば抜けられる所。

2日下山予定(普通はは新穂高温泉)が、まだ槍ヶ岳にいた訳だからかなり遅れていた。

北鎌尾根の難しいところは、突っ込んだら、退却できないことだ。

入ったら絶対抜けなければならない。要するに「エスケープルート」がない。

槍に抜けて新穂高に下山が、唯一の「エスケープルート」なのだ。だから入山した以上、相当の覚悟はある。



今年は厳しい冬で、北アルプスの積雪・寒気は相当だったと思う。  
剣・後立山で遭難が無かったのは、厳しい冬故、無理をしなかった  
ことだろう。

ただ、槍遭難が新聞報道の「食料・燃料が尽きて身動きが取れなくなった」が  
事実で救助依頼としたら、山屋としては、ちょっと如何かなと思う。  
せめて槍ヶ岳山荘まで踏ん張り、進路を探って欲しかったと思います。

大菩薩の遭難？に至っては、コメントしようがありません。



1月3日(火) 晴・やや寒

[返信・引用](#)

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月3日(火)06時58分56秒

[編集済](#)

山では

食事が一番の楽しみ。

美味しいものを食べて、ビア・ワインがイイ。

メニューは、たいたいいつも同じ。

夕食は、ガーリック・ステーキ。ニンニクを満載し、バターを入れ、コップフェルの蓋で焼く。山小屋全体に刺激的な匂いが充満する。ニンニクは、貴重なスタミナ源。

それにフレッシュ・サラダがつく。畑のレタス・タマネギを使い、ミニ・トマトを添えて、ユズ液をタップリかける。これはタッパーに入れて持参する。

ご飯は、ワンタッチ・ライス。これはお湯で温めていただく。このご飯は美味しい。重さは同じなので、ケチらないで、少々高いものがよい。

朝はご飯にカレー。カレーも安いものは止めた方がイイ。高いものは、大きなジャガイモがシッカリ入っている。これにポタージュ・スープが加わる。

冬山は厳しい寒気・激しい運動が当たり前。高たんぱく・高カロリーの食事をシッカリ摂って、臨みたいものです。





1月2日(月)晴・暖

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年1月2日(月)13時31分58秒

甲斐駒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

黒戸尾根は、3000m近いALPSで最も短時間で上れる山だろう。

長泉町を5時に出発して、7時30分には上り出せる。しかも、七丈小屋は寝具があるし、暖房も完璧である。こんな山は探しても他にはありません。

なおかつ南ALPSで雪は少ない。少々吹雪いても、多少の無理は利く。そんな意味では、まことに有り難い山と言える。

4年連続で上っているのは、それなりの理由がある訳で、力が落ちたオジサンには、丁度よい山でしょう。(笑)



**1月1日（日）晴・やや寒**

投稿者：たかチャン 投稿日：2012年 1月 1日(日)07時 03分 50秒

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

あけまして  
おめでとうございます。  
本年もよろしくお願ひ致します。

甲斐駒ヶ岳、4年連続の年末年始登山でした。  
毎年、ゼイゼイハーハーで厳しい登山です。  
七丈小屋宿泊者では、一番のジジイでした。（笑い）

今年も安全で楽しく、また学習しながらやって  
行きたいですね。

写真は30日、甲斐駒から富士山です。



おわり